

国府中学校トイレ改修工事

図 面 リ ス ト					
図番	図 名	縮 尺	図番	図 名	縮 尺
0 1	特記仕様書(1)	N/S	1 9	特別教室棟2階トイレ平面詳細図	1/50
0 2	特記仕様書(2)	N/S	2 0	特別教室棟3階トイレ平面詳細図	1/50
0 3	配置図・付近見取図	1/500	2 1	特別教室棟トイレ展開図・天井伏図	1/100
0 4	仮設計画図	1/100	2 2	特別教室棟トイレ建具表・部分詳細図	1/50・1/10
0 5	普通教室棟1階平面図・仕上表	1/100	2 3	屋内運動場1階平面図・仕上表	1/100
0 6	普通教室棟2階平面図・仕上表	1/100	2 4	屋内運動場1階トイレ平面詳細図	1/50
0 7	普通教室棟3階平面図・仕上表	1/100	2 5	屋内運動場トイレ展開図・天井伏図	1/100
0 8	普通教室棟1階トイレ平面詳細図	1/50	2 6	屋内運動場トイレ建具表・部分詳細図	1/50・1/10
0 9	普通教室棟2階トイレ平面詳細図	1/50			
1 0	普通教室棟3階トイレ平面詳細図	1/50	2 7	電気設備工事仕様書	N/S
1 1	普通教室棟トイレ展開図・天井伏図	1/100	2 8	盤類結線図	N/S
1 2	普通教室棟トイレ建具表・部分詳細図	1/50・1/10	2 9	普通教室棟1階照明・コンセント設備図	1/100
1 3	管理棟2階平面図・仕上表	1/100	3 0	普通教室棟2階照明・コンセント設備図	1/100
1 4	管理棟2階トイレ平面詳細図	1/50	3 1	普通教室棟3階照明・コンセント設備図	1/100
1 5	管理棟トイレ展開図・天井伏図	1/100	3 2	管理棟2階照明・コンセント設備図	1/100
1 6	管理棟トイレ建具表・部分詳細図	1/50・1/10	3 3	特別教室棟2階照明・コンセント設備図	1/100
1 7	特別教室棟2階平面図・仕上表	1/100	3 4	特別教室棟3階照明・コンセント設備図	1/100
1 8	特別教室棟3階平面図・仕上表	1/100	3 5	屋内運動場1階照明・コンセント設備図	1/100

改修工事特記仕様書

01

一般事項

A

工事概要

01

工事名称

国府中学校トイレ改修工事

02

建築主

高山市長 田中 明

03

工事場所

岐阜県高山市国府町三日町地内

04

地域指定

用途地域

都市計画区域内

無指定地域

建ぺい率

(60%)

・緩和 ()

容積率

(200%)

・緩和 ()

その他地域

敷地概要

敷地面積

06

工事項目

工事項目	工事種別	構造	階数	床面積
中学校(校舎)	改修工事	RC造	4階建	5046.28㎡
中学校(屋内運動場)	改修工事	RC造	2階建	2046.75㎡

その他

B

共通事項

01

適用基準

この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書）に記載の事項以外は下記に準拠する。

工事請負契約書

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）令和4年版（以下「標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）

02

特記仕様の表示

項目は番号及び符号に ○ 印をつけたものを適用する。

特記事項は ○ 印をつけたものを適用する。

03

優先順位

設計図書間に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。

1）質疑応答書 2）現場説明書 3）特記仕様書 4）標準特記仕様書（添付された場合）5）設計図書 6）改修標準仕様書 7）標準仕様書

C

留意事項

01

使用資材

本工事で使用する木材は、岐阜証明材推進制度実施要項（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知。以下「要領」という。）第12条により証明された木材を使用すること。

ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱第8条による認証を受けたものについては要領第12条により証明されたものとみなす。

使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意して資材の選定を行うこと。

02

ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物

厚生労働省における「厚生労働省指針」に従いホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の基準値を定める。

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m³）以下
トルエン	0.07ppm（260μg/m³）以下
キシレン	0.05ppm（200μg/m³）以下
エチルベンゼン	0.88ppm（3800μg/m³）以下
ステレン	0.05ppm（220μg/m³）以下
パラジクロロベンゼン	0.04ppm（240μg/m³）以下

03

発生材処理

受注者は産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類を提出及び確認する。また、処理施設の現地確認及び建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。なお、廃棄物マニフェストE票の写しを監督員に提出すること。

処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理をすること。

04

再生資源の利用計画

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了後には同計画書の実施報告書を監督員に提出すること。

05

再資源化施設への搬出

工事に伴い発生する建設廃棄物の内で次のものは再資源化施設へ搬出すること。

コンクリート塊

・アスファルトコンクリート塊

○木屑

○石膏ボード屑

○鉄・アルミ・ステンレス屑

・ガラス・陶磁器屑

・繊維屑

○プラスチック屑類

06

再生資材の利用

下記の資材については再生資材を使用すること。

資材名	規格	使用場所	備考

07

その他

材料については、グリーン購入法適合品及びリサイクル再生品等を優先し監督員の承諾を得ること。

D

一般事項

01

工事着手前協議

受注者は契約後2週間以内に設計書内容等について監督員と工事着手前協議を行うこと。

協議にあたっては、施工打合せ記録簿に協議事項を記入し打合せに持参すること。尚、協議日の設定については、受注者が事前に監督員と連絡をとり設定すること。

協議には、発注者側より監督員及び係長又は課長が、受注者側より現場代理人及び主任技術者が出席する。

協議時において施工打合せ記録簿の回答欄は監督員が記入し、最後に監督員及び係長又は課長の確認印を押印する。また、その写しは現場代理人（主任技術者）が受け取ること。

02

設計図書との差異

本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り及び取合いの変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議しその指示に従うこと。

03

変更

工事内容に変更が生じる時は、協議書予め提出して承認を受けた後に変更工事に着手すること。尚、この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工すること。

04

工事監理者等

受注者は監督員から建築士事務所等に委託した工事監理者等が通知された場合には下記に従う。
1）工事監理者等が現場で立会い等の臨場をする場合にはその業務に協力する。又、書類（工事関係図書、施工図等）の提出に関し説明を求められた場合にはこれに応じる。
2）監督員から受注者に対する指示又は通知等を工事監理者等を通じて行う場合があるため、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等として取扱う。
3）監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知等は工事監理者等を通じて行うことができるものとする。

05

立会検査

下記の項目については監督員の立会検査を受ける。尚、検査立会記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。

各種製品検査

○各種仕上検査

○段階確認

○完成前検査

06

電子メールの利用

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は電子メールを利用することができる。

07

工事書類の簡素化

工事書類の簡素化にあたっては「工事書類簡素化要領」に基づいて実施すること。

08

提出書類

書式・部数・時期等は高山市ホームページ上に記載された内容とし、遅滞なく監督員に提出し承認を受けること。尚、監督員との協議により一部を省略することが出来る。

09

施工計画書等

各種工事に別機器・機材・工法等を具体的に定めた施工計画書を提出して監督員の承認を得ること。尚、施工計画書に基づいた作業方法等を記載した施工要領書（検査方法も含む）を添付すること。

10

指定材料の承認

各種見本品及び製作図・製品図は、工事進行に支障のないよう事前に提出し監督員の承認を得ること。尚、見本品については監督員が指示するサイズや形状のものとする。

11

材料試験

JIS・JAS規格を有する材料は全てJIS・JAS規格品を使用すること。

12

施工図

本工事に使用する材料の内で監督員より指示があるものに関してはその成績表を提出し承認を受けること。尚、試験に要する費用については受注者の負担とする。

13

施工図

各種工事に先立ち施工図及び承認図を提出して監督員の承認を得てから当該工事に着手すること。尚、完成時にはのり入れ製本の上で監督員に提出すること。

14

完工図

完成図及び監督員の指示する図面を作成してのり入れ製本2部を監督員に提出すること。

15

工事写真

各種工事についての要点を撮影して内容説明を記入の上で監督員に提出すること。

16

完成時

外観部分（2ヶ所）内観指示部分（5ヶ所以上）をキャビネ版（カラー）にてファイルにまとめて監督員に提出すること。

17

手続

工事施工完成に必要な諸官庁等へ手続は全て受注者の責任とする。尚、手続費用については受注者の負担とする。

18

建設工事保険

受注者は工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを加入後ただちに監督員に提出すること。加入期間は工事着手日より工事完成日の15日後までの期間を満足すること。

19

工事保証

契約約款に定めるところによる。

工事完成引渡後1年が経過した時点において監督員立会のもとで1年検査を行い、工事不良の為に生じたと認められる損害等については、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。

20

工事実績データ

工事請負代金額500万円以上の工事については「CORINS」に登録、申請を行うこと。

21

下請負契約

本工事において下請負契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年第100号）に規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。

下請負者は高山市入札参加資格停止の処置がされていない者を選定すること。

本工事において工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料についても高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては岐阜県産品）を選定するよう努めること。

22

重点監督対象工事

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いに従うこと。

23

実施状況の提出

受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに実施状況を提出することができる。

24

適正燃料の使用

ディーゼルエンジンで動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。

25

ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

26

週休二日制工事の実施

本工事は、完全週休二日制工事（現場閉所）とする。詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。

27

その他

E

指定検査

01

室内環境測定

完成時には、留意事項の項目にある「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の濃度が基準値以下であることを指定検査センターにて検査確認しなければならない。分析の結果が基準値以上だった場合は、受注者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要する費用については受注者の負担とする。

分析方法

・拡散方式

・吸引方式

分析項目

・ホルムアルデヒド

・トルエン

・キシレン

・エチルベンゼン

・ステレン

・パラジクロロベンゼン

検査箇所

・検査箇所は次の室とする。

02

工事完了検査

工事完了時には、建築基準法による「完了検査」を受けなければならない。

完了検査申請書の作成を含む申請手続きが代理業務は工事監理者が行うが、申請に必要な工事写真及び書類は受注者が整理すること。その工事写真及び書類の概要については工事監理者の指示に従う。

03

その他

01

仮設工事

01

仮設計画

設計図書中の仮設計画図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。

建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法及び敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を提出して監督員の承認を得ること。

工事車両の搬出入経路は、近隣の状況を把握して迷惑を掛けないように配慮すること。又、必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。

仮囲いは外側に夜間の安全確保のため外部照明を設置すること。又、第三者の侵入を防ぐ為に足元には隙間のないよう設置すること。

02

現場事務所

規模

・1号

・2号

・3号

・4号

・5号

○指定なし

設備・備品

○机、椅子、書棚、黒板、電話、FAX、その他監督員の指示による。

03

工事用水

構内既存の施設

○利用できる（○有償

・無償）

・利用できない

04

工事用電力

構内既存の施設

○利用できる（○有償

・無償）

・利用できない

05

工事看板

本工事現場に掲示する看板は大きさ（1800×900程度）とし、書体・仕上・取付位置等はあらかじめ監督員と協議すること。確認済表示板等の工事に関する表示板は工事現場の見易い場所に掲示すること。

08

保護設備

本工事の施工に当たり、隣地建物・工作物及び通行人に対して損害等を与えないよう必要な保護設備を計画して監督員及び関係者の承認を得てから完全な実施を期さなくてはならない。

万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事を行うこと。尚、これに要した費用については受注者の負担とする。

09

ベンチマーク

ベンチマークは監督員の現場指示による。

ベンチマークは木杭・コンクリート杭等を用いて移動しないように設置する。ただし、移動の恐れがない固定物を代用することができる。

10

現地調査

施工に先立ち敷地境界線を係員に確認の上でトランシット測量による敷地図を複製して建物及び周辺工作物の位置を明記し監督員に提出する。

既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。

11

遣方

建物位置及び水平の基準は監督員の現場指示による。綱張り後に遣方を建築物等の隅々その他の要所に設けて工事の支障のない場所に逃げ芯を設けること。

12

足場等

足場・桟橋・仮囲い等は、適切な材料及び構造とすること。定置する足場及び桟橋類は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。

外部足場は「手すり先行工法による足場設置基準」に基づいたくさび緊結式足場とする。

13

安全点検

作業開始前・終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。

14

掃除復旧

工事完了後建物引渡し前に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧を行い、維持管理等の費用について受注者が負担する。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。

工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は受注者の責任において原形復旧を行う。

15

検査・試験

立会

・報告

・位置確認

・建物位置、ベンチマーク指示

立会

・報告

・遣方検査

・基準通り芯の位置、設計GLの高さ

16

その他

工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・埃・運搬等により施設付近の住民に迷惑を及ぼさないよう対策を充分に講ずること。

設計図書に記載がなく、工術上必要な仮設・撤去・移設・養生等が発生した場合は監督員のもと速やかに対処すること。

高山市

工事名

国府中学校トイレ改修工事(建築)

図名

特記仕様書(1)

縮尺

N/S

番号

35枚の内 01号

設計年月日

令和7年 3月

設計

有限会社アプデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀

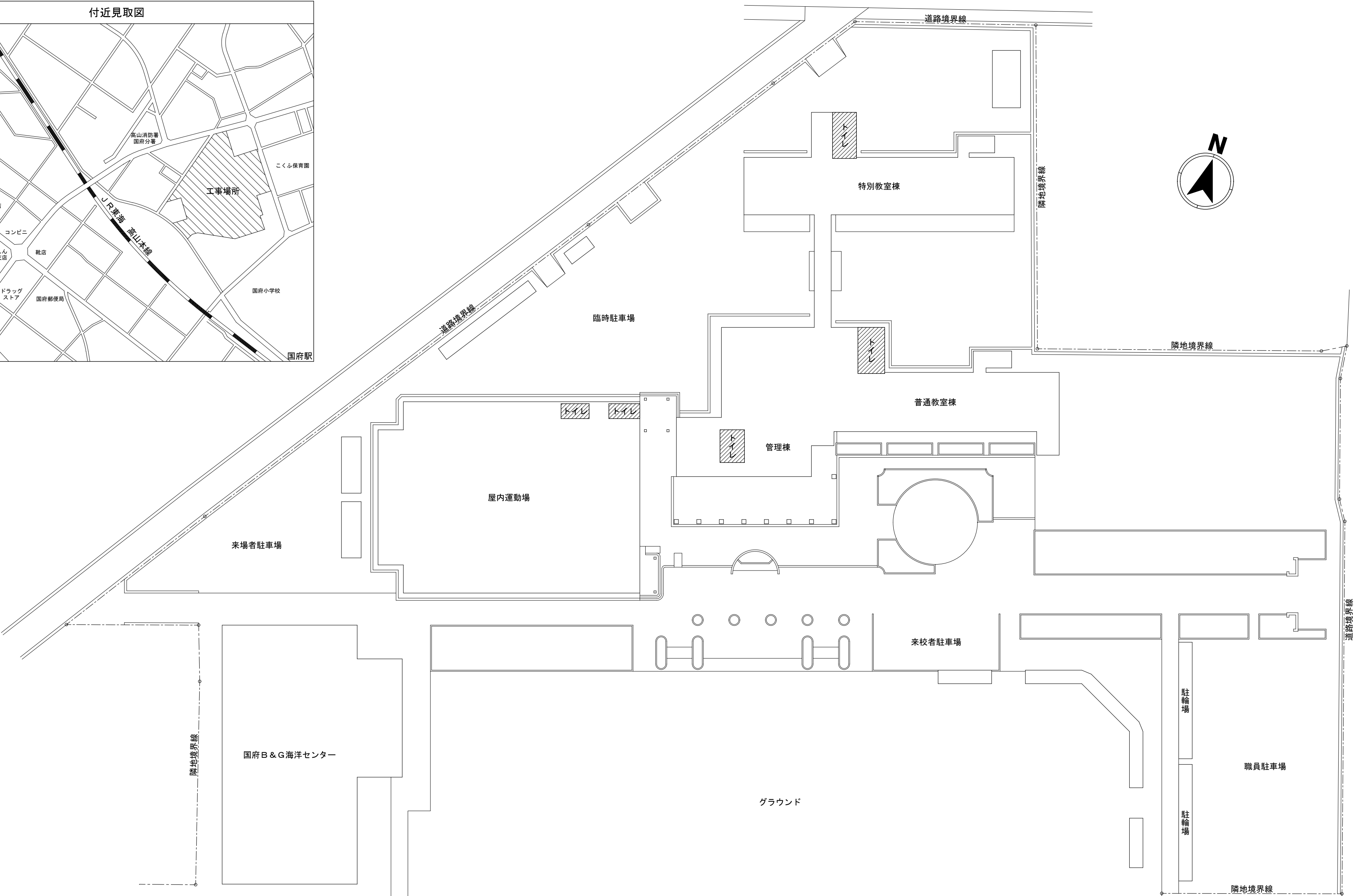
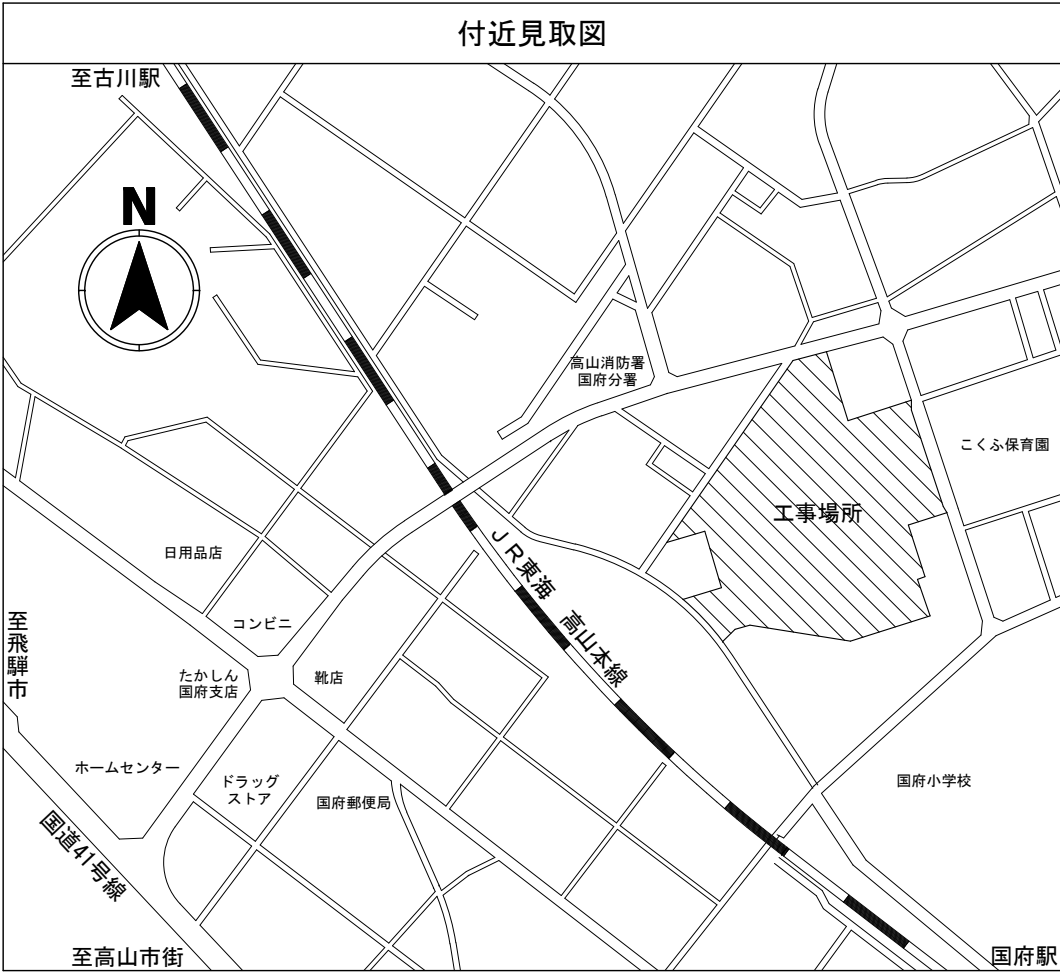
②2	土 間 ・ ス ラ ブ エ 事		
①1 02	砂 利 地 業 断 熱 材 敷	○ 材 料 ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 ○ 再生碎石	
③3	防 湿 シ ー ト 敷	・ スラブ・土間コンクリートの部分には、押出法ポリスチレンフォーム（３種b）t５０mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリスチレンフォームは隙間のないよう敷詰める。	
④4	鉄 筋 の 種 類	○ スラブ・土間コンクリートの部分には、基礎地業完了後荒砂を厚さ１０mm程度に敷均しの上でポリエチレンフィルムt０．１５mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリエチレンフィルムの重ね幅は３００mm以上とする。	
⑤5	規 格 品 証 明	○ 異形鉄筋（JISG3112） ○ 2種 SD295A ※規格相当品（寸法・強度保証）	
⑥6 07	継 接 手 溶 接 金 網	○ JIS規格品は認定工場が発行する規格品証明書のあるものを用いる。 ○ 規格品証明書のあるものは原則として原本を提出し監督員の承認を得て材料試験を省くことができる。	
⑧8	後 施 エ ン カ ー	○ 種 類・・・重ね継手（D10～D16） ※定着の長さは「標準仕様書」による。	
⑨9	設 計 基 準 強 度	○ 溶接金網はJISG3551によるものとし、網目の形状、寸法及び鉄線の径は設計図書中の特記による。	
⑩10	コンクリートの種類	○ 金属拡張アンカー ・ カプセル型接着系樹脂アンカー ○ 施工に当ってはメーカー仕様書を提出して監督員の承認を得ること。	
⑪11	セ メ ン ト	○ コンクリートの設計基準強度（Fc）は材齢28日の圧縮強度によるものとする。 ○ 土間コンクリート Fc（N/mm ² ）・・・（ ・ 21 ○ 18 ・ 16） スランプ（cm）・・・（○ 18 ・ 15） ○ スラブコンクリート Fc（N/mm ² ）・・・（ ・ 24 ・ 21 ○ 18） スランプ（cm）・・・（○ 18 ・ 15）	
⑫12	配 合 表	○ コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、その種別はⅠ類（JIS表示許可工場で製造されたコンクリート）とする。	
⑬13	温 度 補 正	○ セメントの種類は下記による。 ○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・ その他（ ）	
⑭14	混 和 剤	○ 施工に先立ちコンクリート製造工場の配合表を提出して監督員の承認を得ること。	
⑮15	塩 化 物 量	○ コンクリート打設後の平均気温が16℃未満の期間は3N/mm ² 、8℃未満の期間は6N/mm ² の強度補正を行う。また平均気温が25℃を超える期間も6N/mm ² の強度補正を行う。	
⑯16	アルカリ総量	○ 混和剤の種類はJISA6204（コンクリート用化学混和剤）によるA剤、A減水剤及び高性能A減水剤とする。	
⑰17	打込み時間の限度	○ 塩化物量・・・0．30kg/m ³ 以下とする。	
18	合 板 型 枠	○ アルカリ総量・・・3．0kg/m ³ 以下とする。	
⑱19	検 査 ・ 試 験	○ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、外気温が25℃以下の場合は120分、25℃を超える場合は90分とする。	
20	そ の 他	・ 材 料 ・ 枠組パネル ・ t12mmのコンクリート型枠用合板	
		・ 立会 ○ 報告 ○ 配筋検査・・・組立鉄筋の径、本数、かぶり、間隔、継手	
		・ 立会 ・ 報告 ・ コンクリート強度試験（28日）	
		・ ・	

03	木 工 事																							
01	含 水 率	・ 木材の含水率は下記の表による。																						
		<table><tr><td></td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td colspan="3">備 考</td></tr><tr><td>構造材・下地材</td><td>1 5 %以下</td><td>2 0 %以下</td><td colspan="3">工事現場搬入時の 全断面の平均推定値とする</td></tr><tr><td>造 作 材</td><td>1 5 %以下</td><td>1 8 %以下</td><td colspan="3">〃</td></tr></table>		・ A 種	・ B 種	備 考			構造材・下地材	1 5 %以下	2 0 %以下	工事現場搬入時の 全断面の平均推定値とする			造 作 材	1 5 %以下	1 8 %以下	〃						
	・ A 種	・ B 種	備 考																					
構造材・下地材	1 5 %以下	2 0 %以下	工事現場搬入時の 全断面の平均推定値とする																					
造 作 材	1 5 %以下	1 8 %以下	〃																					
02	材 種 ・ 等 級 ・ 材 質	・ 木材の仕様は下記の表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。																						
		<table><tr><th rowspan="2">種 別</th><th rowspan="2">施 工 箇 所</th><th rowspan="2">材 種</th><th colspan="5">等 級</th></tr><tr><th>無節</th><th>上小節</th><th>小節</th><th>特一等</th><th>一等</th></tr><tr><td>下地材</td><td>木下地（ </td></tr></table>	種 別	施 工 箇 所	材 種	等 級					無節	上小節	小節	特一等	一等	下地材	木下地（							
種 別	施 工 箇 所	材 種				等 級																		
			無節	上小節	小節	特一等	一等																	
下地材	木下地（																							

04	防 水 工 事																							
01	シーリング材	<table><tr><td>種 類</td><td>記 号</td><td colspan="2">施 工 箇 所</td></tr><tr><td>・ 変成シリコーン系</td><td>MS-2</td><td colspan="2">金属ー金属、金属ーコンクリート</td></tr><tr><td>○ シ リ コ ー ン 系</td><td>SR-1</td><td colspan="2">金属ーガラス、水回り</td></tr></table>			種 類	記 号	施 工 箇 所		・ 変成シリコーン系	MS-2	金属ー金属、金属ーコンクリート		○ シ リ コ ー ン 系	SR-1	金属ーガラス、水回り									
種 類		記 号	施 工 箇 所																					
・ 変成シリコーン系		MS-2	金属ー金属、金属ーコンクリート																					
○ シ リ コ ー ン 系	SR-1	金属ーガラス、水回り																						
02	そ の 他	・ ・																						
05	金 属 工 事																							
01	軽量鋼製壁下地	<table><tr><td>記 号</td><td>ス タ ッ ド</td><td>ラ ン ナ ー</td><td>振 止 め</td></tr><tr><td>○ LGS 50</td><td>50×45×0.8</td><td>52×40×0.8</td><td>25×10×1.2</td></tr><tr><td>・ LGS 65</td><td>65×45×0.8</td><td>67×40×0.8</td><td>25×10×1.2</td></tr><tr><td>・ LGS 90</td><td>90×45×0.8</td><td>92×40×0.8</td><td>25×10×1.2</td></tr><tr><td>・ LGS100</td><td>100×45×0.8</td><td>102×40×0.8</td><td>25×10×1.2</td></tr></table>			記 号	ス タ ッ ド	ラ ン ナ ー	振 止 め	○ LGS 50	50×45×0.8	52×40×0.8	25×10×1.2	・ LGS 65	65×45×0.8	67×40×0.8	25×10×1.2	・ LGS 90	90×45×0.8	92×40×0.8	25×10×1.2	・ LGS100	100×45×0.8	102×40×0.8	25×10×1.2
記 号		ス タ ッ ド	ラ ン ナ ー	振 止 め																				
○ LGS 50		50×45×0.8	52×40×0.8	25×10×1.2																				
・ LGS 65	65×45×0.8	67×40×0.8	25×10×1.2																					
・ LGS 90	90×45×0.8	92×40×0.8	25×10×1.2																					
・ LGS100	100×45×0.8	102×40×0.8	25×10×1.2																					
02	軽量鋼製天井下地	○ スタッダの間隔は、仕上材直貼及び壁紙・塗装下地材直貼の場合は300mmとし、その他は450mmとする。 ○ 振れ止めは床面ランナー下端から約1.2mごとに設ける。 開口部の縦枠補強材は上下共にあと施工アンカー等で固定した金物に溶接又はボルト留めずる。 ・ 外壁胴縁に面する部分の軽量鉄骨壁下地は（ ・ LGS50 ・ LGS65）とする。																						
		<table><tr><td>記 号</td><td>シングル野縁</td><td>ダブル野縁</td><td>野 縁 受 材</td></tr><tr><td>○ LGS 19</td><td>25×19×0.5</td><td>50×19×0.5</td><td>38×12×1.2</td></tr><tr><td>・ LGS 25</td><td>25×25×0.5</td><td>50×25×0.5</td><td>38×12×1.6</td></tr></table>			記 号	シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材	○ LGS 19	25×19×0.5	50×19×0.5	38×12×1.2	・ LGS 25	25×25×0.5	50×25×0.5	38×12×1.6								
		記 号	シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材																			
○ LGS 19	25×19×0.5	50×19×0.5	38×12×1.2																					
・ LGS 25	25×25×0.5	50×25×0.5	38×12×1.6																					
○ 野縁受材、吊ボルトの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。 ・ 天井のふところが1.5m以上の部分は縦横間隔1.8m程度に振れ止めを設ける。																								
03	建 築 金 物	・ 材 料 名 称…… 仕 様…… ・ 材 料 名 称…… 仕 様……																						
04	そ の 他	・ 製作品は部分詳細図に準ずる。 ・																						
06	左 官 工 事																							
01	モ ル タ ル 塗	○ 普通モルタル……セメントはJIS規格品による普通ポルトランドセメントによる。 ・ 防水モルタル……防水剤はJISA6101（建築用セメント防水剤）の規定による。																						
02	不 陸 調 整 材	・ 不陸調整は下地面の清掃を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタル下地調整塗材により平滑に塗り付ける。																						
03	セルフレベリング材	・ 種 類 ・ セメント系 ・ 石膏系																						
04	左官塗床材・塗壁材	・ 材 料 名 称…… 仕 様…… ・ 材 料 名 称…… 仕 様……																						
05	そ の 他	・ サンプル提出……仕上塗材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・																						
07	建 具 ・ 家 具 工 事																							
A	金 属 製 建 具																							
01	鋼 製 建 具	・ 鋼板の種類 ・ 普通鋼板 ・ ボンデ鋼板 ・ ボンデ亜鉛鋼板 ・ その他（ ） ・ 防 錆 処 理 ・ ジンクロメート錆止めペイント1回塗 ・ 溶融亜鉛メッキ処理																						
02	アルミニウム製建具	・ 種 類 ・ レディーメイド製品 ・ オーダーメイド製品 ・ 表 面 処 理 ・ 着色陽極酸化皮膜処理 ・ 無着色陽極酸化皮膜処理 ・ 焼付塗装																						
03	建 具 金 物	・ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。																						
04	そ の 他	・ ・																						
B	木製建具・家具																							
01	木 材 材 料	○ 材 種……建具表及び家具表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。 ○ 含 水 率……加工及び組立時の含水率は天然乾燥18％以下、人工乾燥15％以下とする。																						
02	合 板	○ 表面材及び下地材の合板のホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆以上とする。																						
03	建 具 家 具 金 物	○ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。																						
04	V O C 対 策	○ 特に合板・仕上塗装・接着剤については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ○ 上記が含まれる合板等を使用する場合は製品安全データシート（SDS）を提出の上で監督員と協議し指定濃度以下となるよう枯らし期間を充分取り現場搬入を行うこと。																						
05	そ の 他	○ サンプル提出……表面材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・																						

⑧8	塗 装 工 事										
①1	材 料	○ 防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 ○ 塗料は原則として製造所において指定された色及び艶に調合する。									
②2	木 部 の 素 地	○ 木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し、油類は溶剤等で拭き取る。 ○ ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きの上で溶剤等で拭き取る。 ○ カンナ目、逆目、けば等は研磨紙 P 1 2 0 ～ 2 2 0 を使用し研磨する。 ○ 着色剤を用いて着色する場合は色むらが出ないように乾いた布で拭き取って色が均一になるようにする。									
03	鉄 鋼 面 の 素 地	・ 鉄鋼面の汚れ・付着物はスクレーパー・ワイヤーブラシ等で除去し、油類は溶剤等で拭き取る。 ・ 錆はディスクサンダー・スクレーパー・ワイヤーブラシ又は研磨紙 P 1 2 0 ～ 2 2 0 で除去し、放置せずに次の工程に移る。									
④4	コ ン ク リ ー ト 面 モ ル タ ル 面 の 素 地	○ 素地を充分に乾燥（含水率 1 0 %以下）させ、汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し吸込止シーラーを塗る。 ○ 合成樹脂エマルジョンパテにて穴・ひび割れを埋め、パテ乾燥後に研磨紙 P 1 2 0 ～ 2 2 0 を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。									
⑤5	ボ ー ド 面 の 素 地	○ 釘頭・タタキ跡・傷等はパテ処理の上で研磨紙 P 1 2 0 ～ 2 2 0 を使用し研磨する。 ○ 石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし、不陸を調整する。 ○ 吸込止シーラーを塗り合成樹脂エマルジョンパテをしごき取り平滑にし、パテ乾燥後に研磨紙 P 1 2 0 ～ 2 2 0 を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。									
⑥6	塗 料	○ 材 料 名 称・・・SOP（木面、鉄鋼面）：合成樹脂調合ペイント（2回塗） 仕 様・・・J I S K 5 5 1 6（1種） 弱溶剤系、F☆☆☆☆品 ○ 材 料 名 称・・・EP（ボード面）：合成樹脂エマルジョン塗料（2回塗） 仕 様・・・J I S K 5 6 6 3（1種） 低VOC、艶消仕上、F☆☆☆☆品									
⑦7	そ の 他	○ サンプル提出・・・監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ○ 内部使用塗料のホルムアルデヒド放散量は F ☆ ☆ ☆ ☆ 以上とする。 ○ 使用塗料については製品安全データシート（SDS）を監督員に提出すること。									
⑨9	内 装 工 事										
①1	床 材	○ 材 料 名 称・・・ビニル床シート t 2 . 0 仕 様・・・重歩行用、VOC対策品 ・ 材 料 名 称・・・ 仕 様・・・ ・ 材 料 名 称・・・ 仕 様・・・									
②2	壁 材	○ 材 料 名 称・・・化粧珪酸カルシウム板 t 6 . 0 仕 様・・・不燃材料認定品（国交大臣認定）、目透張（目地シール） ○ 材 料 名 称・・・石膏ボード t 1 2 . 5 仕 様・・・不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称・・・シーリング石膏ボード t 1 2 . 5 仕 様・・・準不燃材料認定品（国交大臣認定）、防水処理									
③3	天 井 材	○ 材 料 名 称・・・化粧石膏ボード（ジブトーン） t 9 . 5 仕 様・・・準不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称・・・有孔石膏ボード t 9 . 5 仕 様・・・準不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称・・・岩綿吸音板 t 1 2 . 0 仕 様・・・不燃材料認定品（国交大臣認定）、リブ付									
04	巾 木	・ 材 料 名 称・・・ 仕 様・・・									
⑤5	廻 り 縁	○ 材 料 名 称・・・塩ビ廻り縁（突付型） 仕 様・・・9 . 5 mm用									
06	断 熱 材	・ 高性能グラスウール ・ 形状（ ・ マット ・ ロール） ・ 密度（24kg／m ³ ） ・ ポリスチレンフォーム ・ 形状（ ・ 板状 ） ・ 密度（25kg／m ³ 以上） ・ 硬質ウレタンフォーム ・ 形状（ ・ 板状 ・ 現場発泡） ・ 密度（30kg／m ³ 以上）									
⑦7	そ の 他 建 材	○ 材 料 名 称・・・面台：ポストフォーム t 2 0 × W 2 1 0 ・ 1 5 0 仕 様・・・メラミン化粧板、耐水MDF芯									
⑧8	そ の 他	○ サンプル提出・・・監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・									
⑩10	ユ ニ ッ ト 工 事										
①1	材 料	○ ユニット材の仕様は下記の表による。									
		<table><tr><th>材 料 名 称</th><th>仕 様</th></tr><tr><td>案内サイン(突出型)</td><td>プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照</td></tr><tr><td>案内サイン(平付型)</td><td>プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	材 料 名 称	仕 様	案内サイン(突出型)	プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照	案内サイン(平付型)	プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照			
材 料 名 称	仕 様										
案内サイン(突出型)	プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照										
案内サイン(平付型)	プレート：アクリル板製 UV印刷 ※部分詳細図参照										

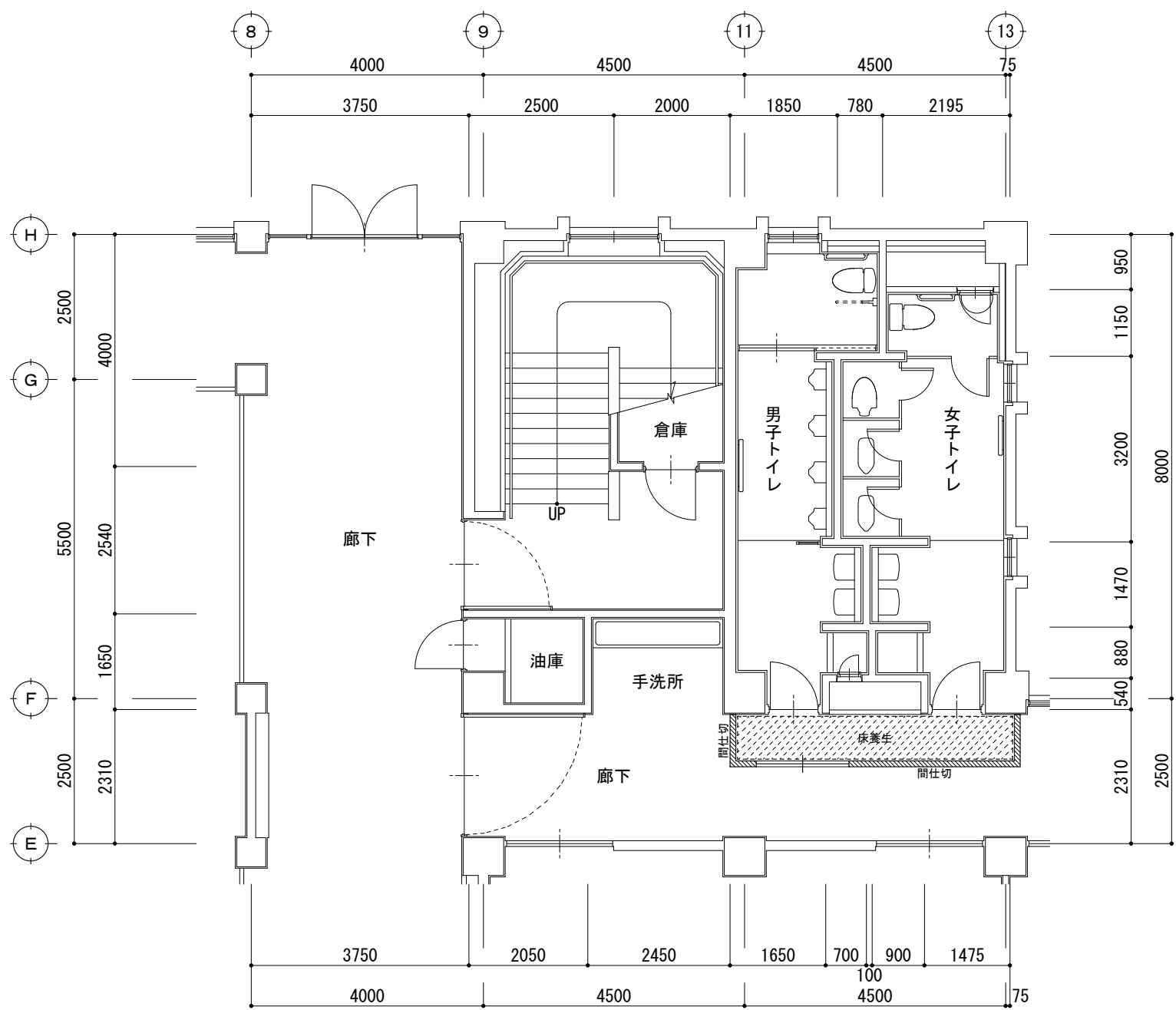
工事名	国府中学校トイレ改修工事（建築）		
図 名	特記仕様書（2）		
縮 尺	N/S	番 号	3 5 枚の内 0 2 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



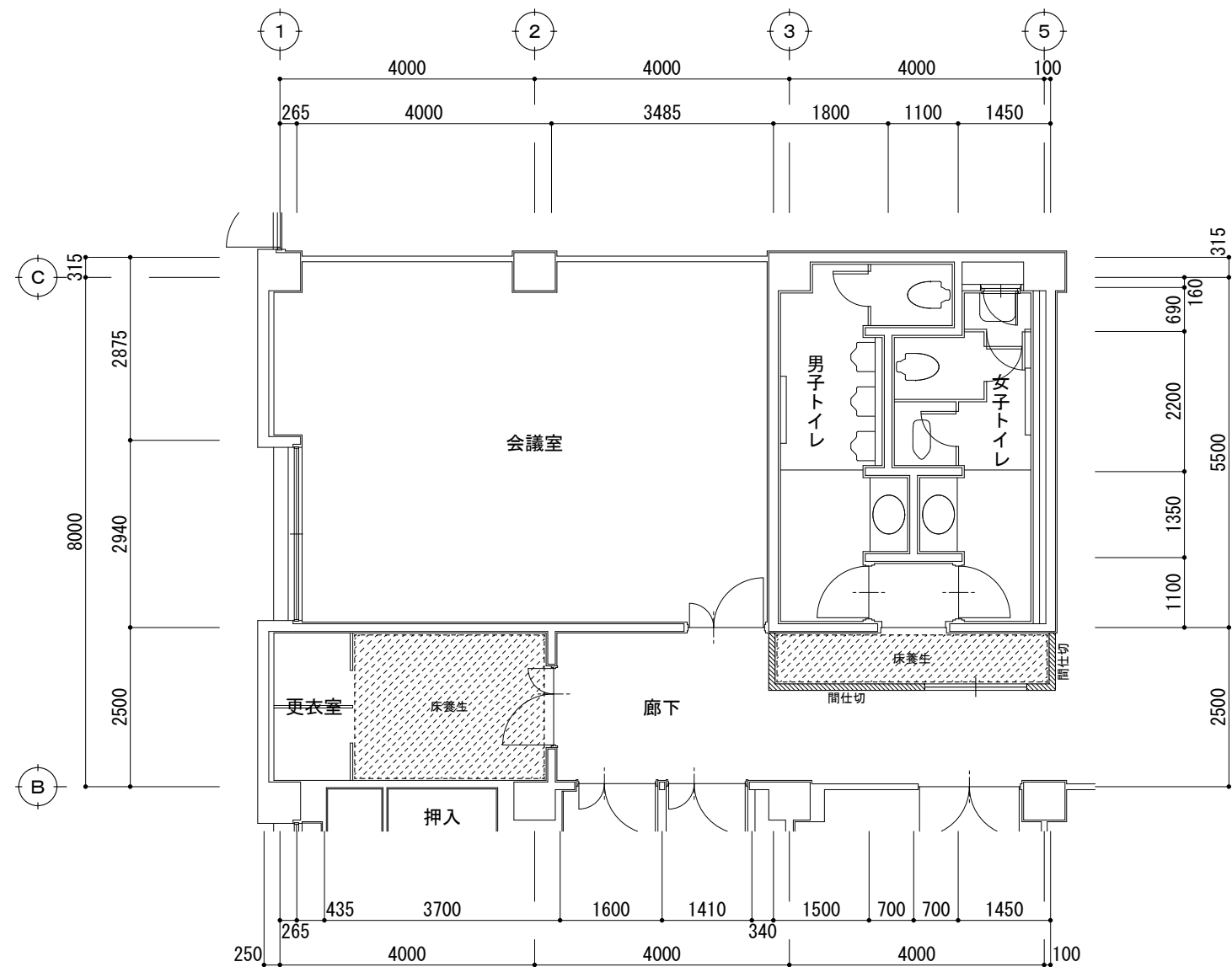
配置図 1/500

 工事部分を示す。

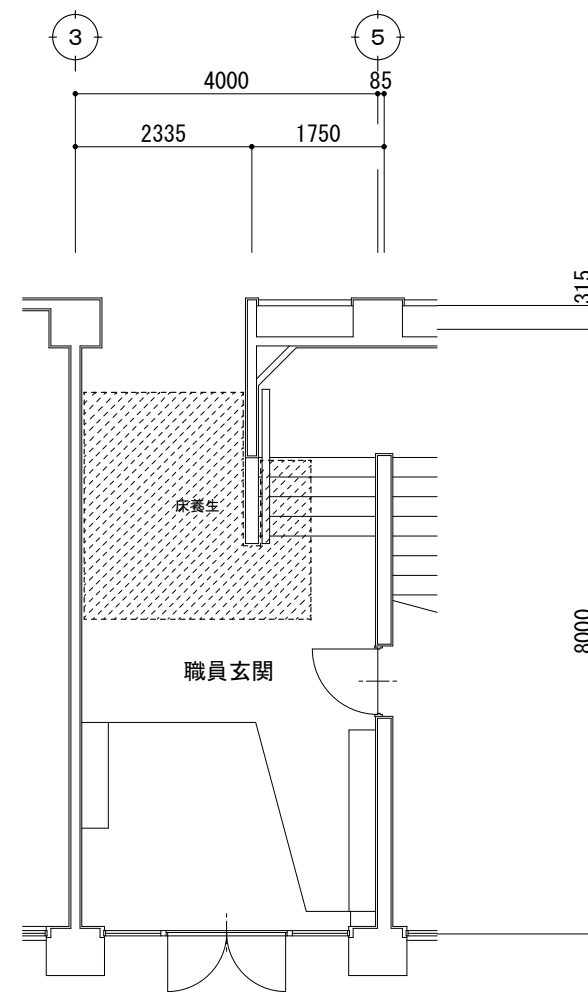
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	配置図・付近見取図		
縮 尺	1/500	番 号	3 5 枚の内 〇 3 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



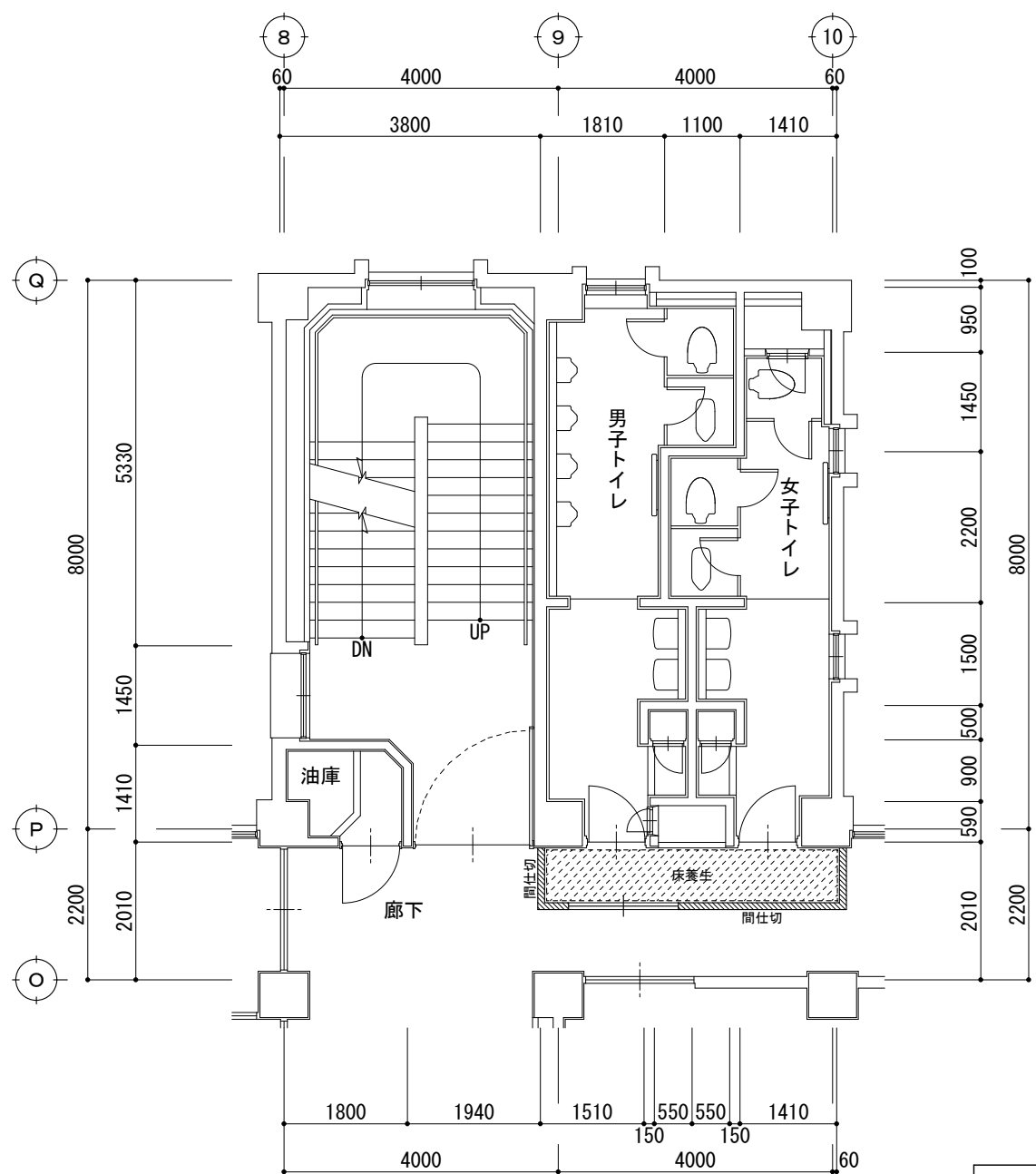
普通教室棟 仮設計画図 1/100



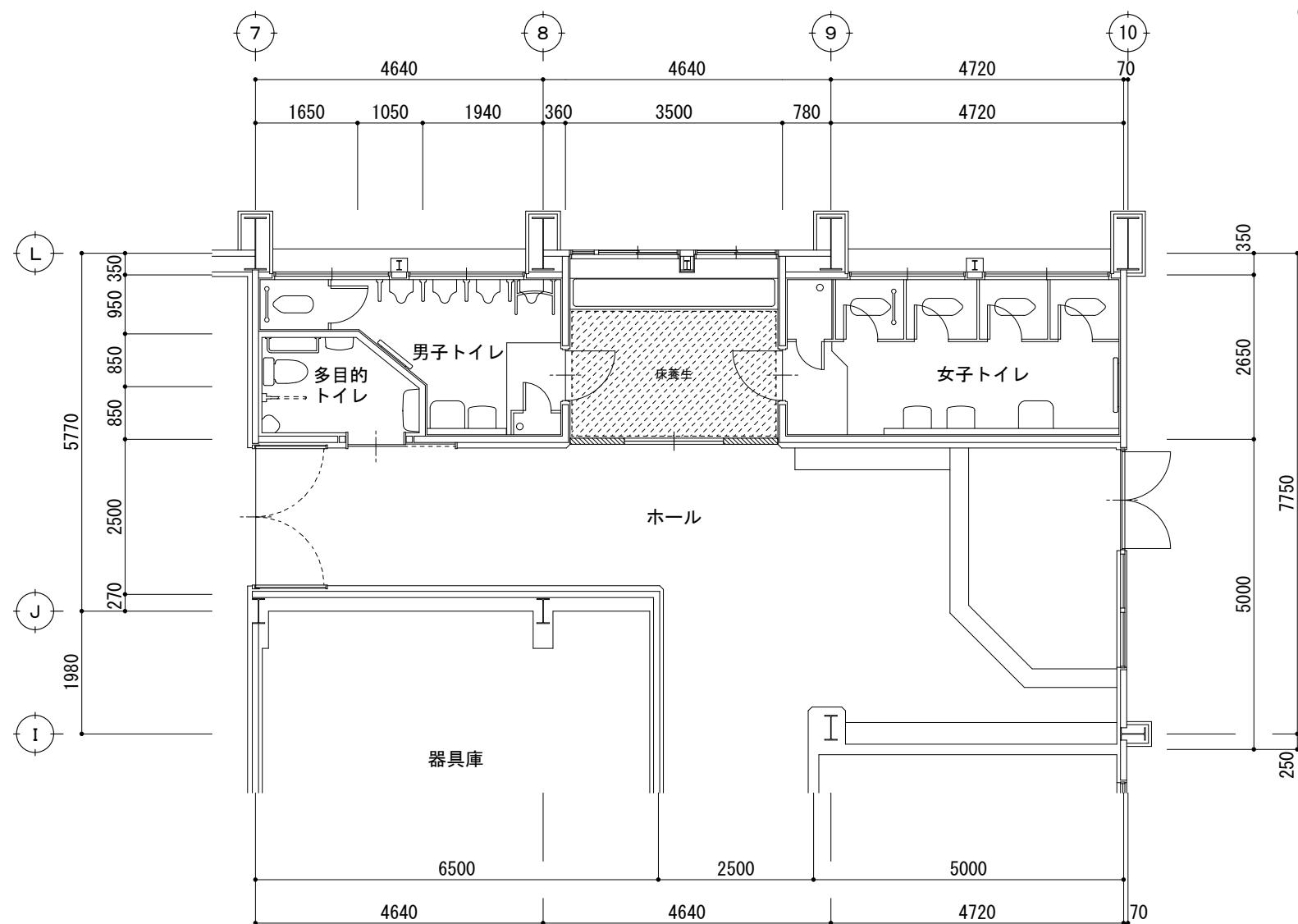
管理棟 2階 仮設計画図 1/100



管理棟 1階 仮設計画図 1/100



特別教室棟 仮設計画図 1/100



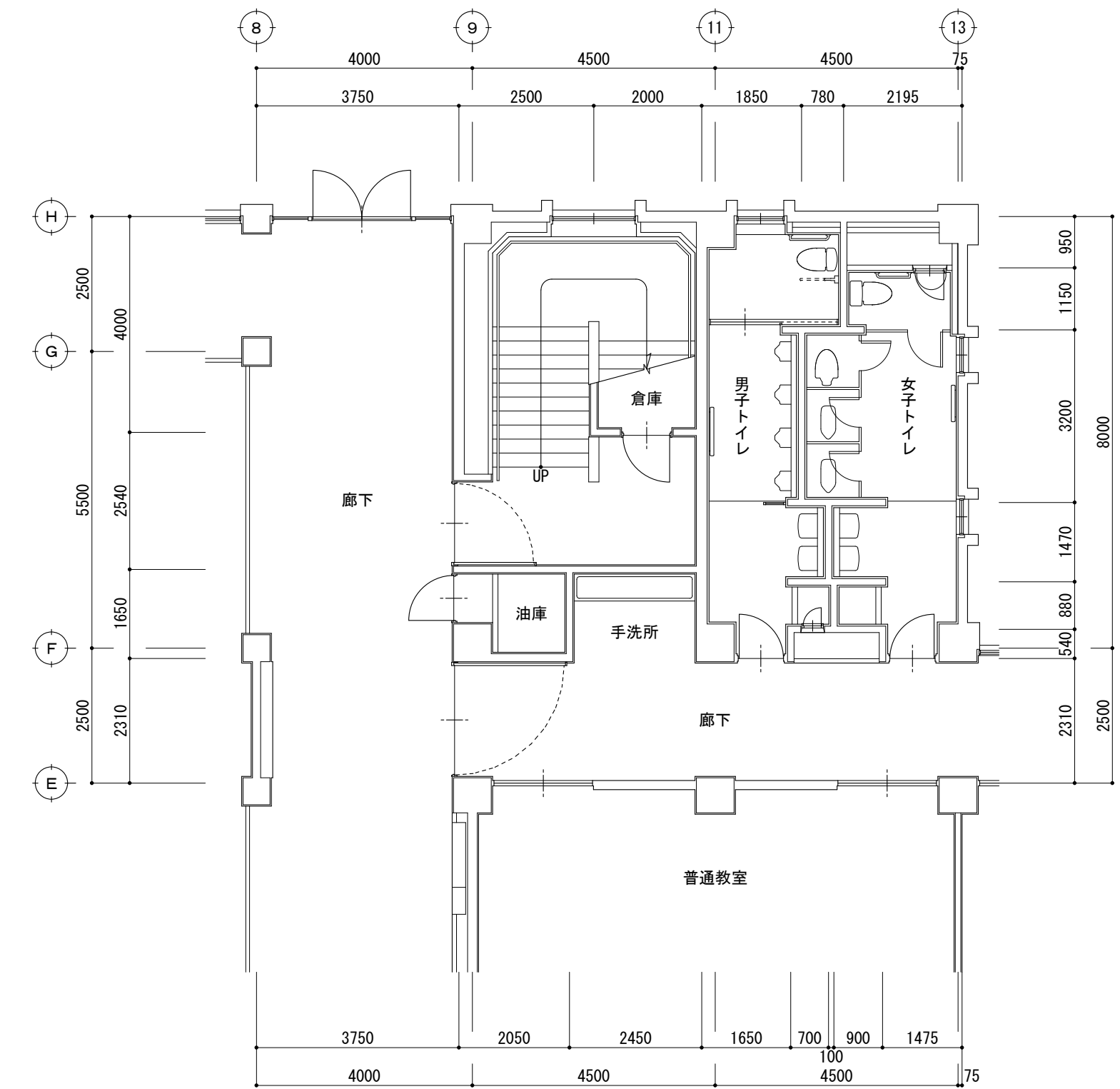
屋内運動場 仮設計画図 1/100

仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
床養生	床養生	養生シート敷、ベニヤ下地
間仕切	仮設間仕切壁	石膏ボード + 軽量鋼製壁下地 ※防塵養生
出入口	出入口	引違い戸 または 片開き戸

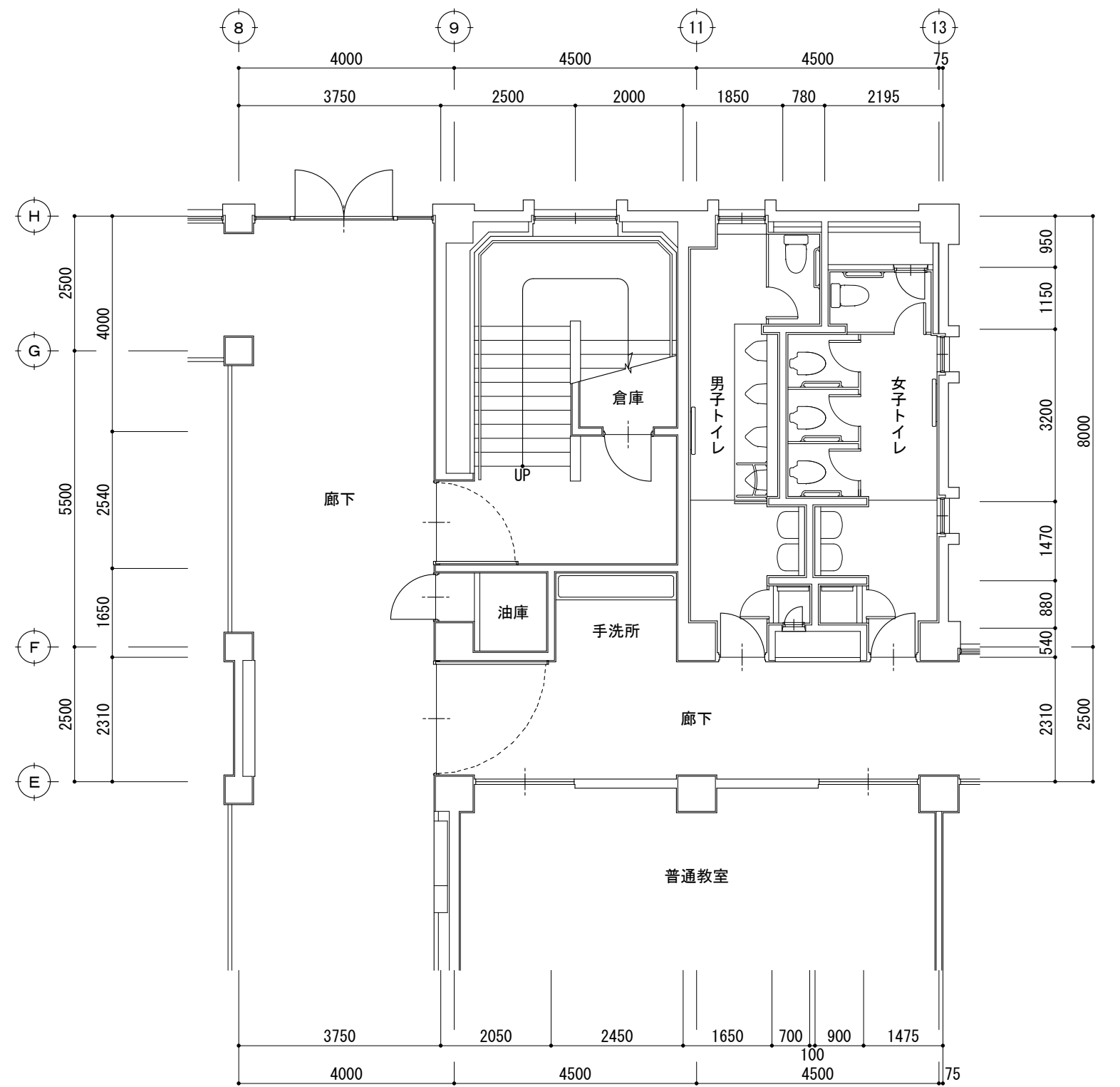
- 仮設について
- 仮設間仕切壁は床面や天井面へ留付けてもよいが、既設仕上部分に損傷を与えた場合は原形復旧すること。
 - 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	仮設計画図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 0 4 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
普通教室棟	1 階	改修前	男子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース・アルミ製建具・アルミ製スクリーン撤去
			女子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2470		木製扉撤去(枠残し) 木製棚板撤去
		改修後	男子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + GB-St12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
			女子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品)
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470	SOP塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)



改修前 1 階平面図 1/100



改修後 1 階平面図 1/100

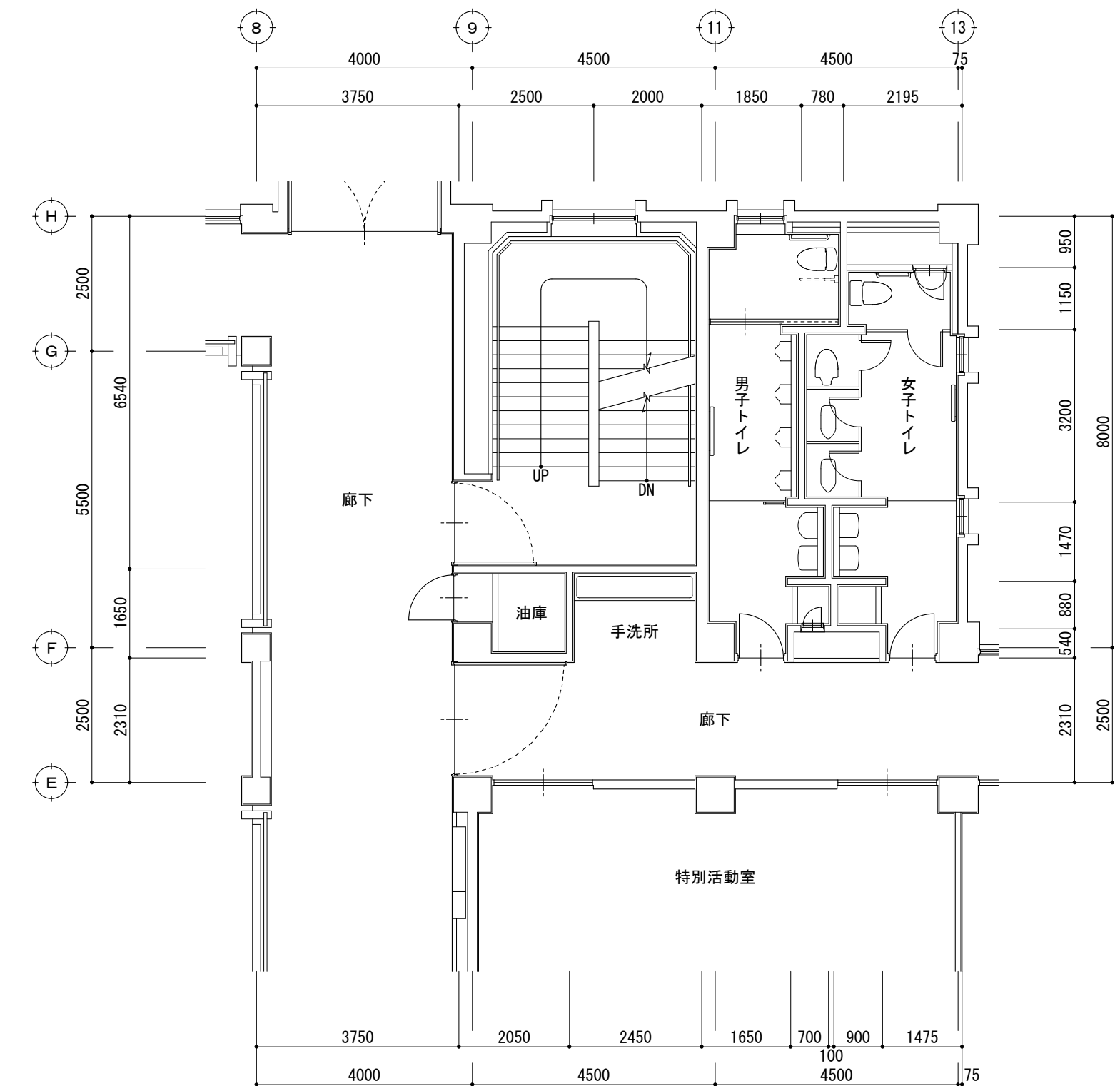
凡 例	
GB-S	: シーシング(防水)石膏ボード
GB-D	: 化粧石膏ボード
SUS	: ステンレス SUS304 (HL)
CB	: コンクリートブロック (C種)
SOP	: 合成樹脂ペイント(2回塗)
EP	: 艶消合成樹脂エマルジョンペイント(2回塗)

特記事項
(1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
(2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
(3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

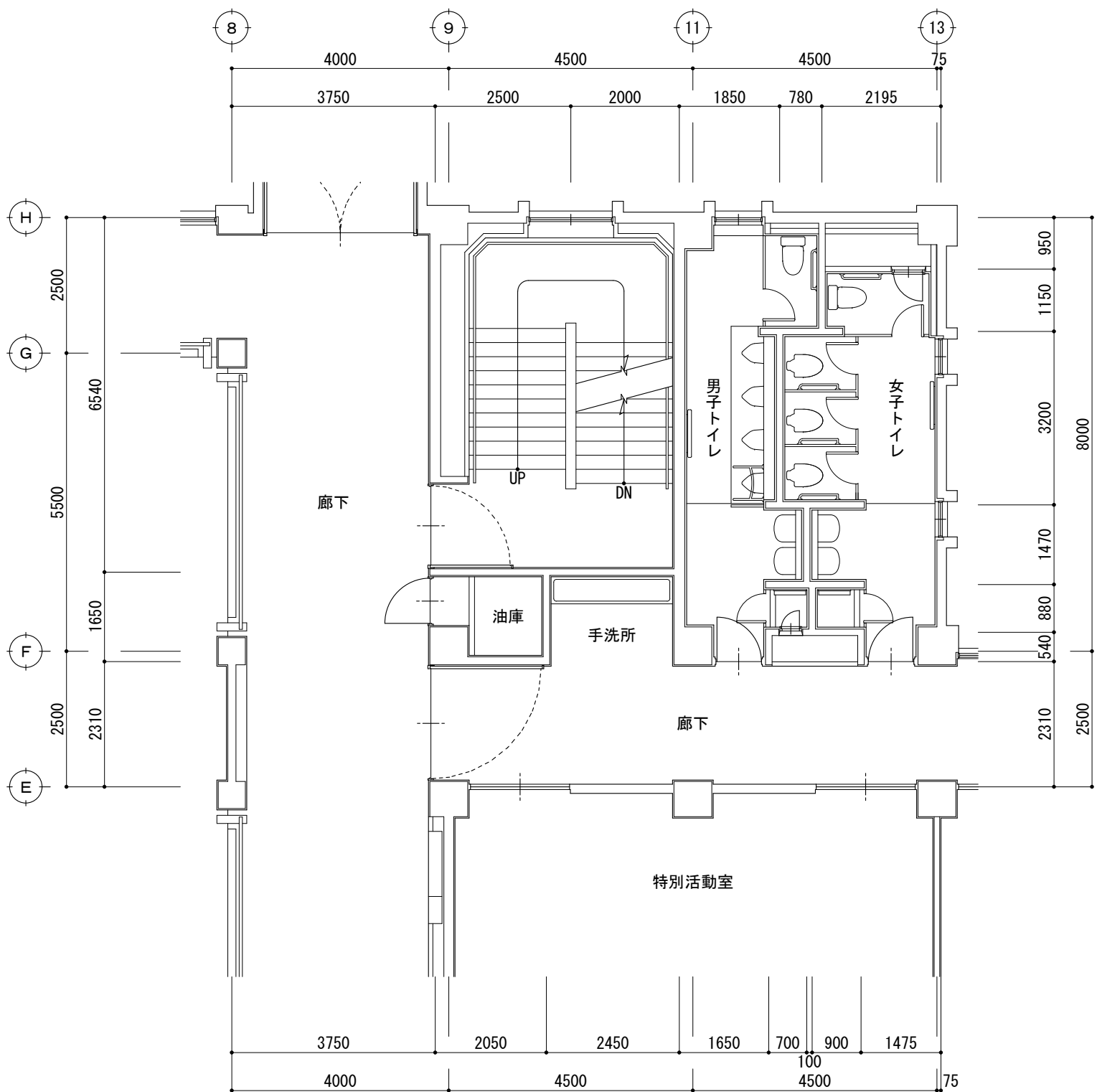
表中凡例
(※1) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。
(※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟 1 階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 0 5 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
普通教室棟	2 階	改修前	男子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース・アルミ製建具・アルミ製スクリーン撤去
			女子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2470		木製扉撤去(枠残し) 木製棚板撤去
		改修後	男子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + GB-St12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
			女子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品)
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470	SOP塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)



改修前 2階平面図 1/100



改修後 2階平面図 1/100

凡 例	
GB-S	: シーリング(防水)石膏ボード
GB-D	: 化粧石膏ボード
SUS	: ステンレス SUS304 (HL)
CB	: コンクリートブロック (C種)
SOP	: 合成樹脂ペイント(2回塗)
EP	: 艶消合成樹脂エマルジョンペイント(2回塗)

特記事項
(1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
(2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
(3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

表中凡例
(※1) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。
(※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

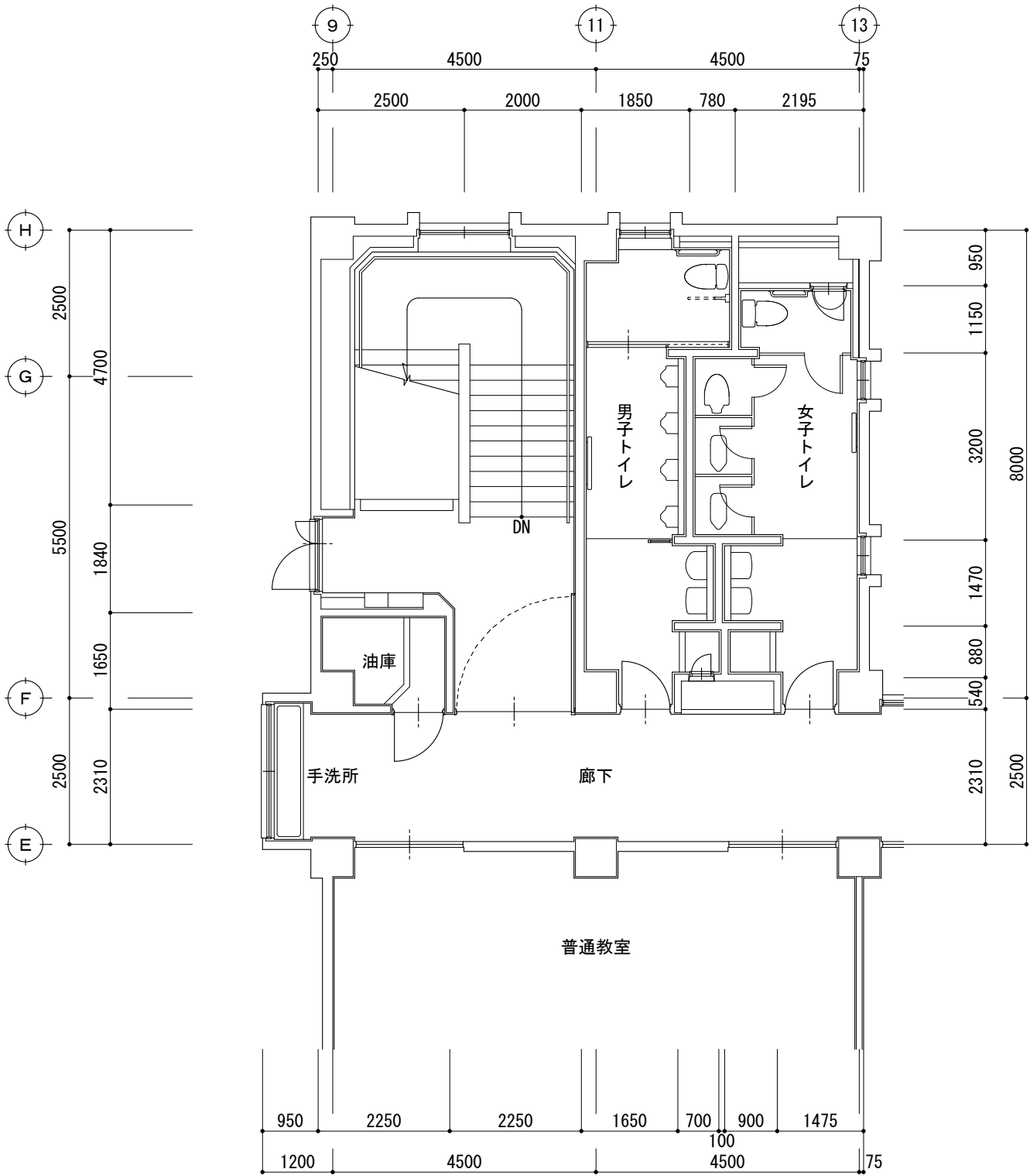
工 事 名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟2階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 0 6 号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
普通教室棟	3 階	改修前	男子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース・アルミ製建具・アルミ製スクリーン撤去
			女子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2470		木製扉撤去(枠残し) 木製棚板撤去
		改修後	男子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + G B - S t12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
			女子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470		木製トイレブース(製作品)
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2470	S O P 塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)

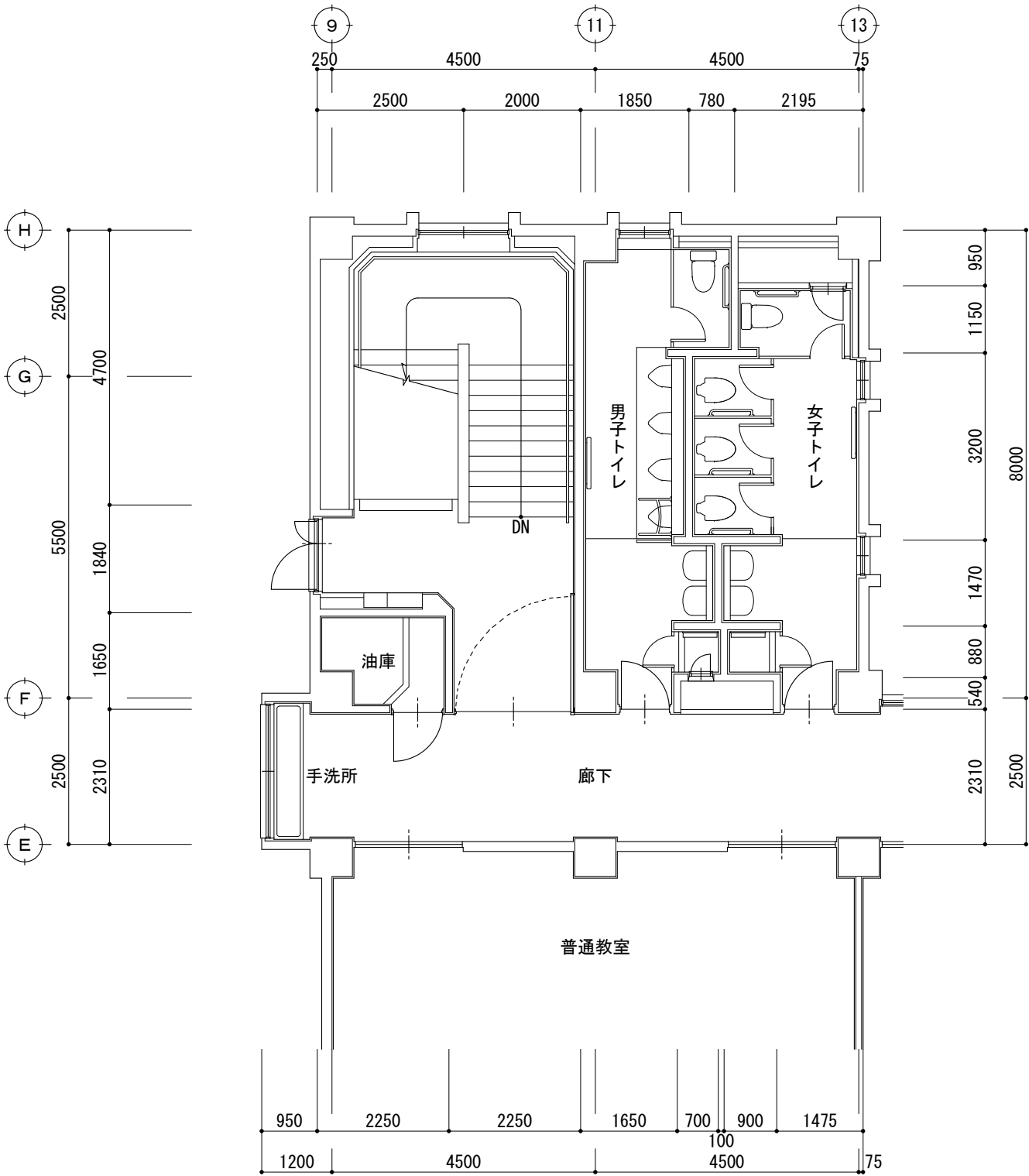
凡 例	
GB-S	：シーリング(防水)石膏ボード
GB-D	：化粧石膏ボード
SUS	：ステンレス SUS304(HL)
CB	：コンクリートブロック(C種)
SOP	：合成樹脂ペイント(2回塗)
EP	：艶消合成樹脂エマルションペイント(2回塗)

特記事項
(1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
(2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
・非破碎除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
(3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

表中凡例
(※1) 非破碎除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。
(※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

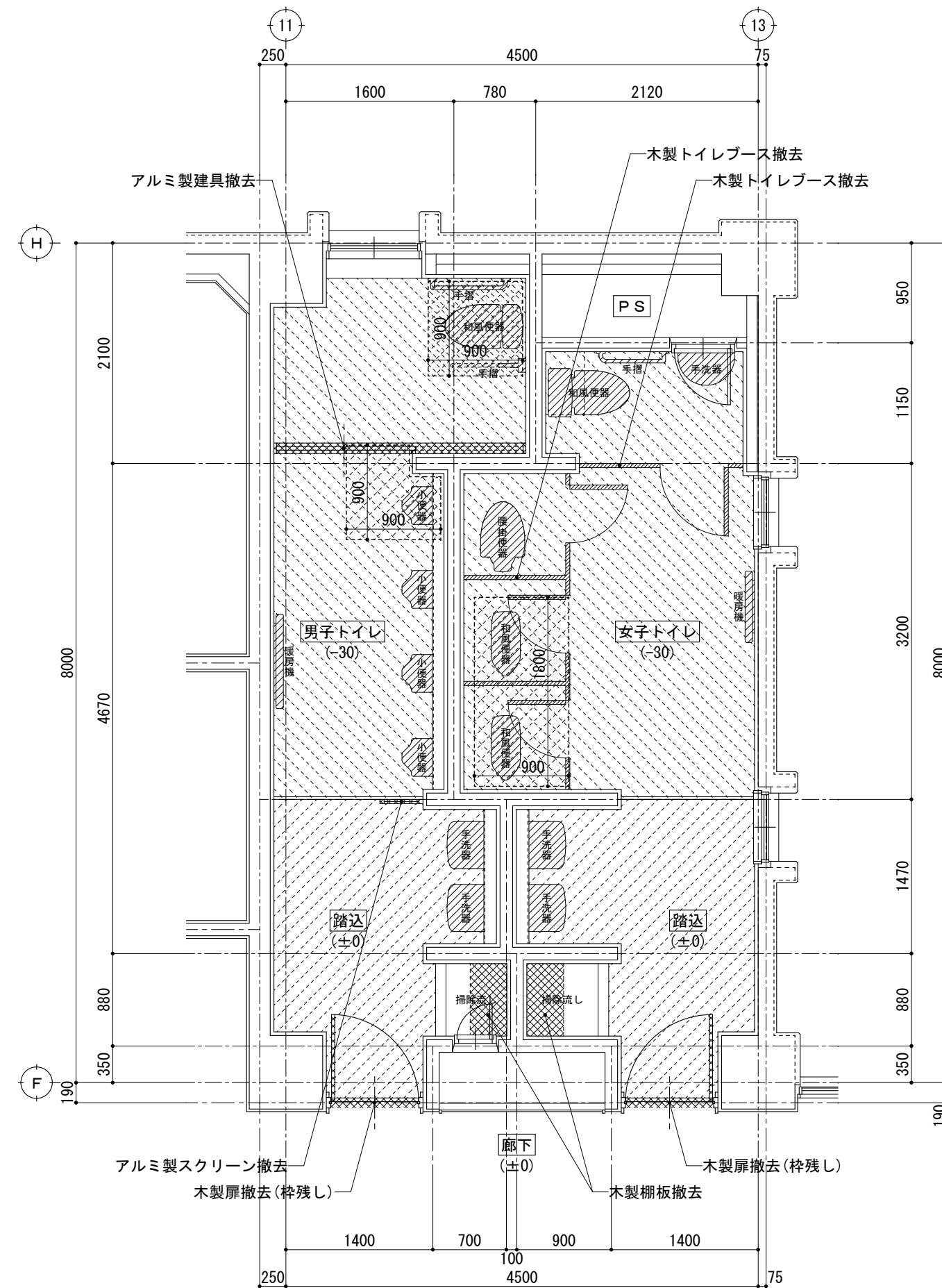


改修前 3階平面図 1/100



改修後 3階平面図 1/100

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟3階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	35枚の内 07号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			




()内は廊下F Lを±0とした床仕上面までの高さを示す。

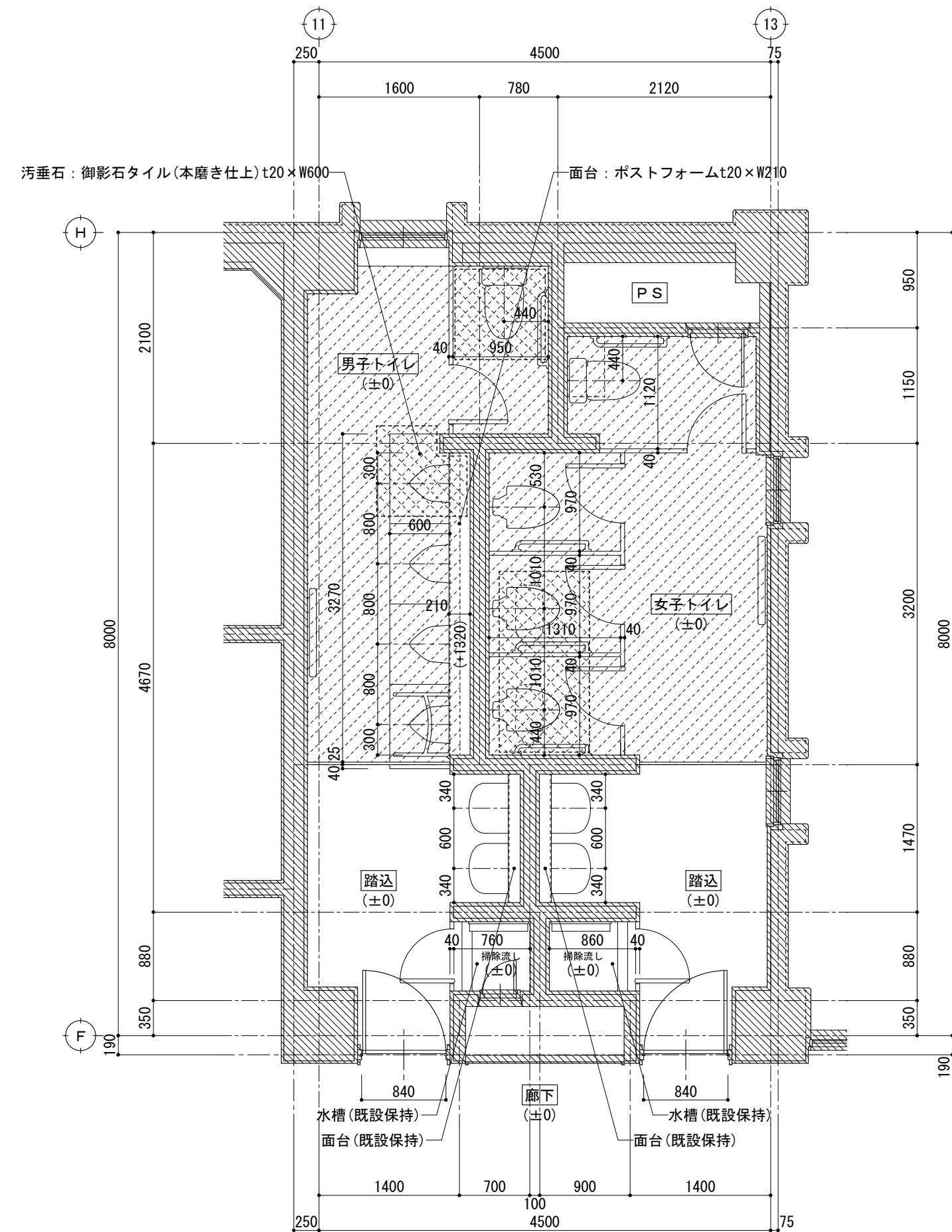
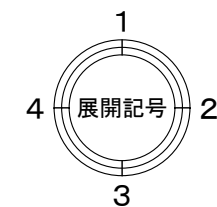
凡 例

 床仕上撤去(床用タイル)

床仕上撤去(ビニル床シート)


土間コンクリート撤去
※周囲カッター入れ


 分離発注工事(機械設備)
衛生器具等撤去(付属品・配管撤去を含む)



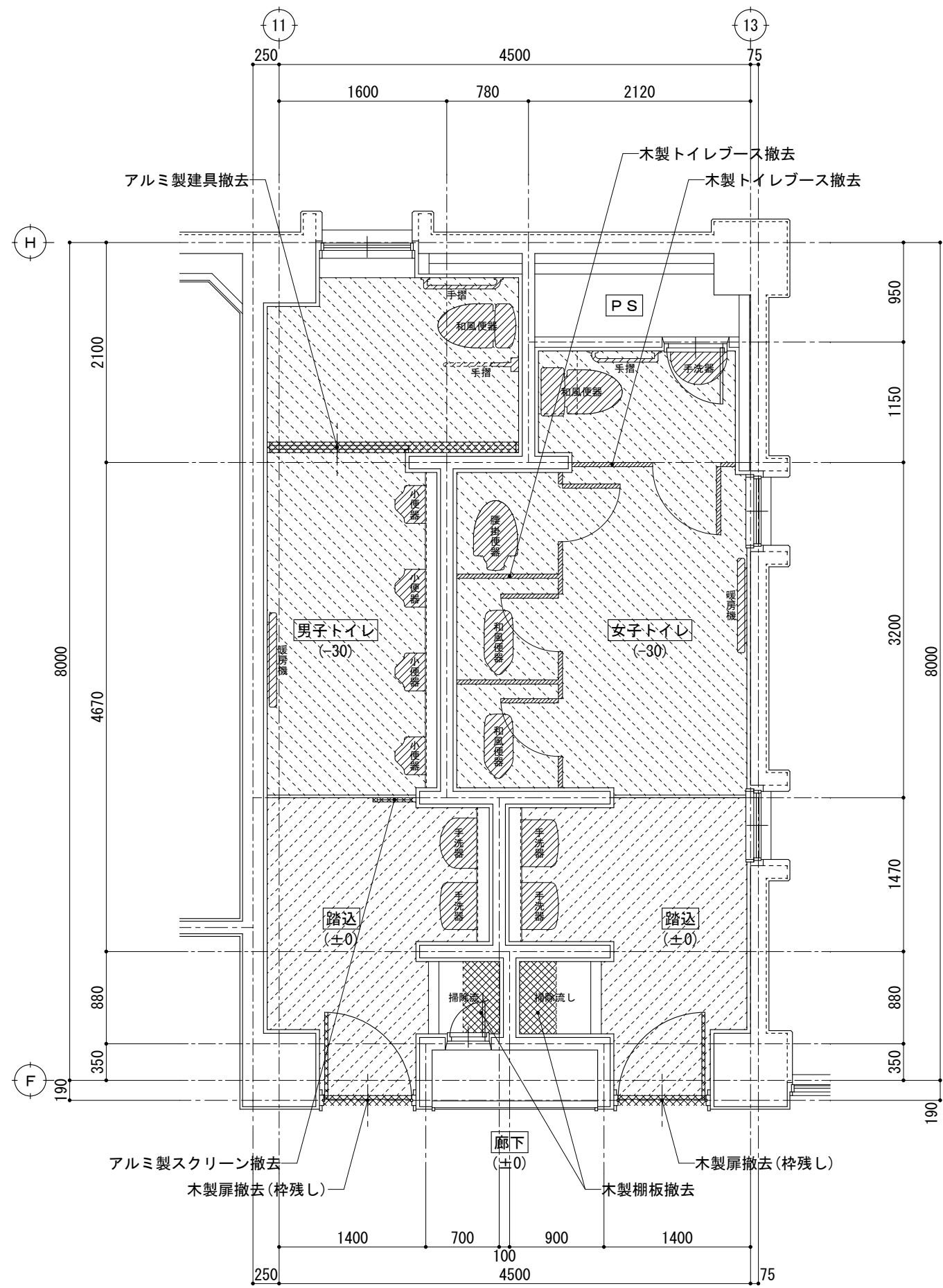
()内は廊下F Lを±0とした床仕上面までの高さを示す。

凡 例

 床嵩上げ部分を示す。
増打コンクリートt40~50


 土間コンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
 鉄筋D10@200S (差筋アンカー-D10@200)
 防湿シートt0.15
 砕石t150 (RC-40)

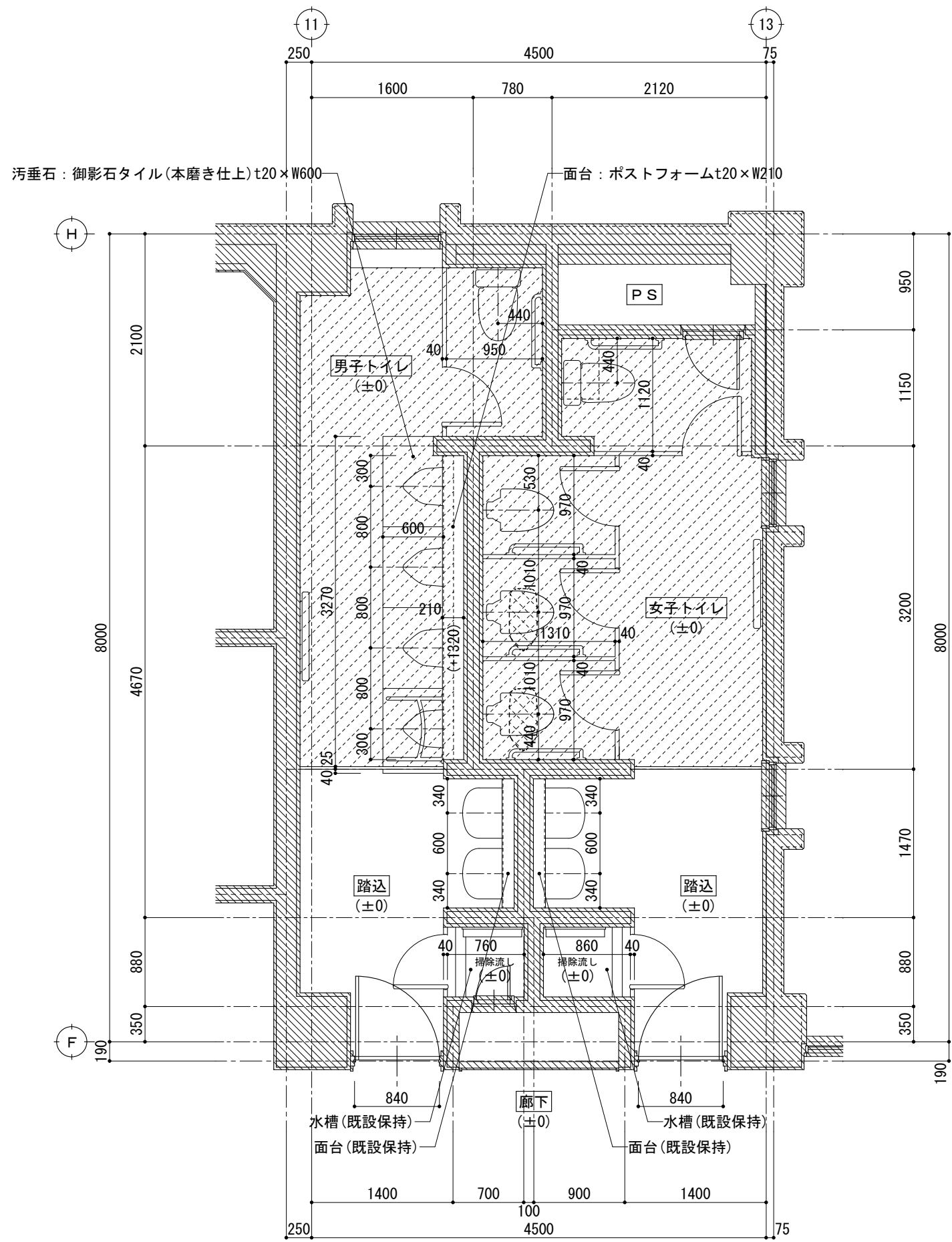
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟1階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	35枚の内 08号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床仕上撤去 (床用タイル)
 - 床仕上撤去 (ビニル床シート)
 - 分離発注工事 (機械設備)
 - 衛生器具等撤去 (付属品・配管撤去を含む)

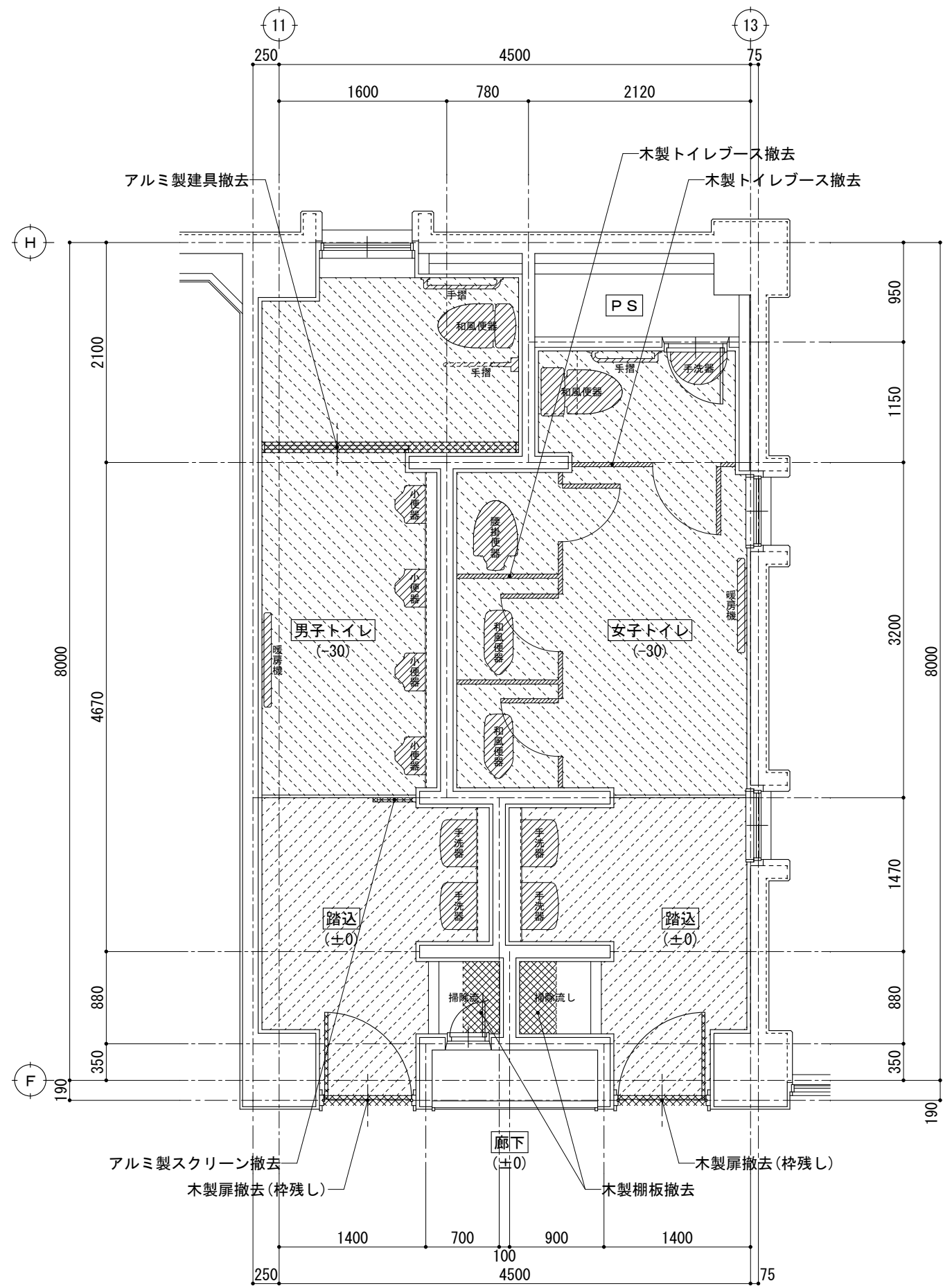


改修後 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床嵩上げ部分を示す。
増打コンクリートt40~50
 - 和風便器撤去部分
スラブコンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
鉄筋D10@200S (差筋アンカーD10@200)

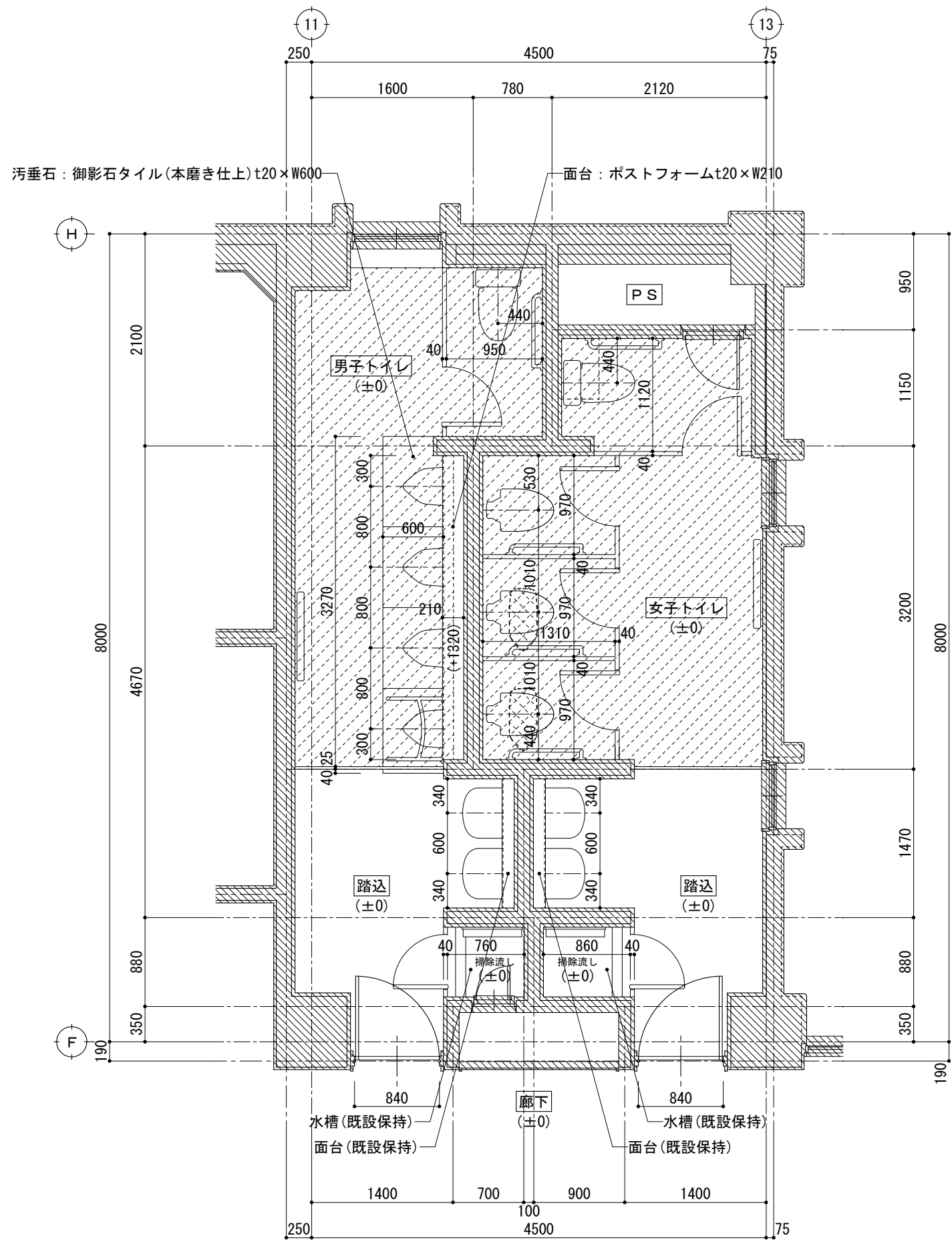
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟2階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	35枚の内 09号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床仕上撤去(床用タイル)
 - 床仕上撤去(ビニル床シート)
 - 分離発注工事(機械設備)
 - 衛生器具等撤去(付属品・配管撤去を含む)

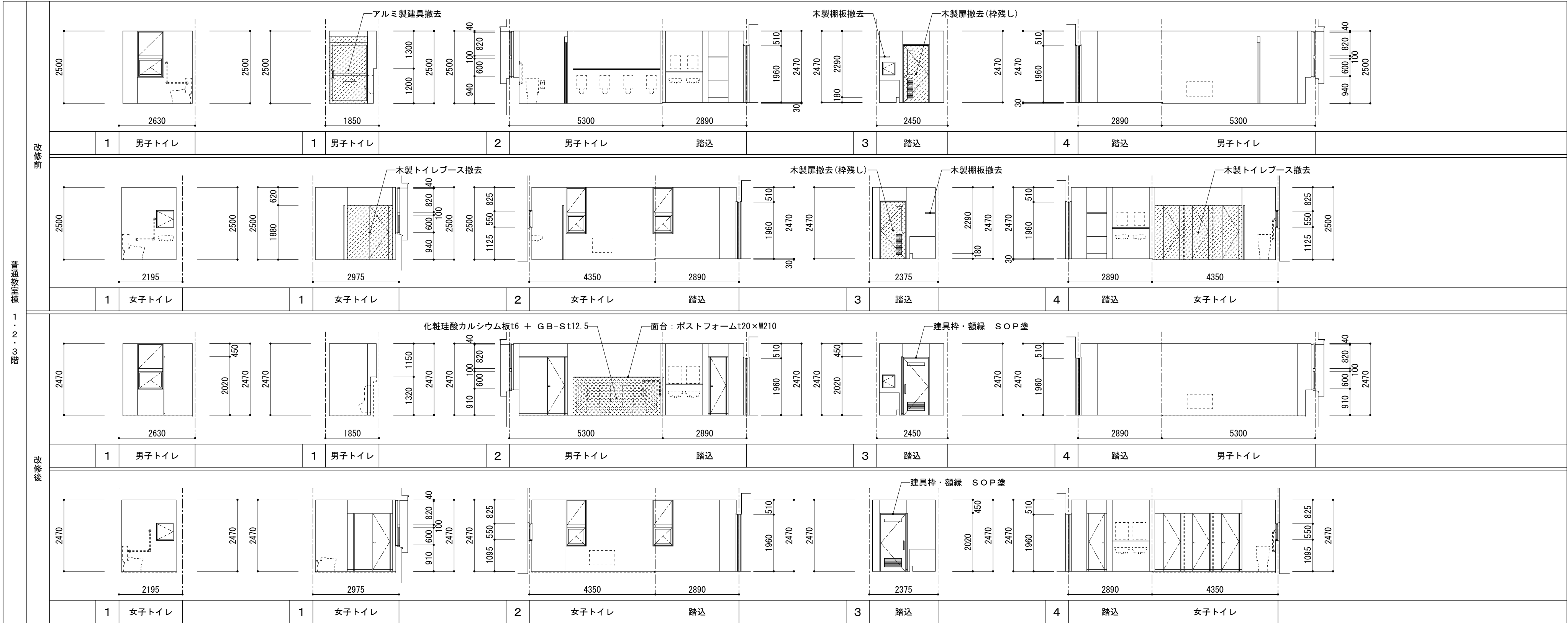


改修後 平面詳細図 1/50

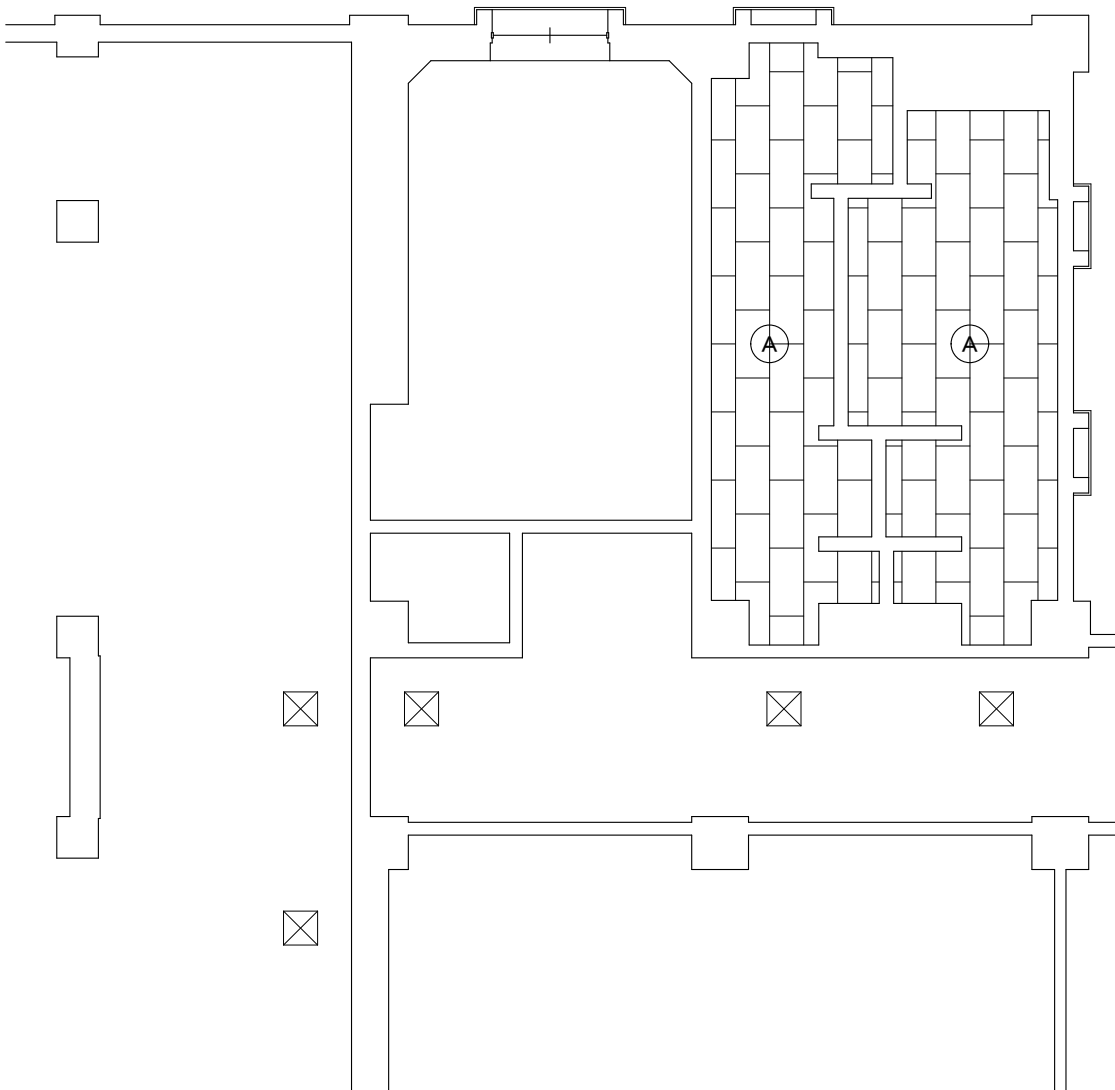
()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床嵩上げ部分を示す。
増打コンクリートt40～50
 - 和風便器撤去部分
スラブコンクリートt120 (Fc18-18-25(N))
鉄筋D10@200S(差筋アンカーD10@200)

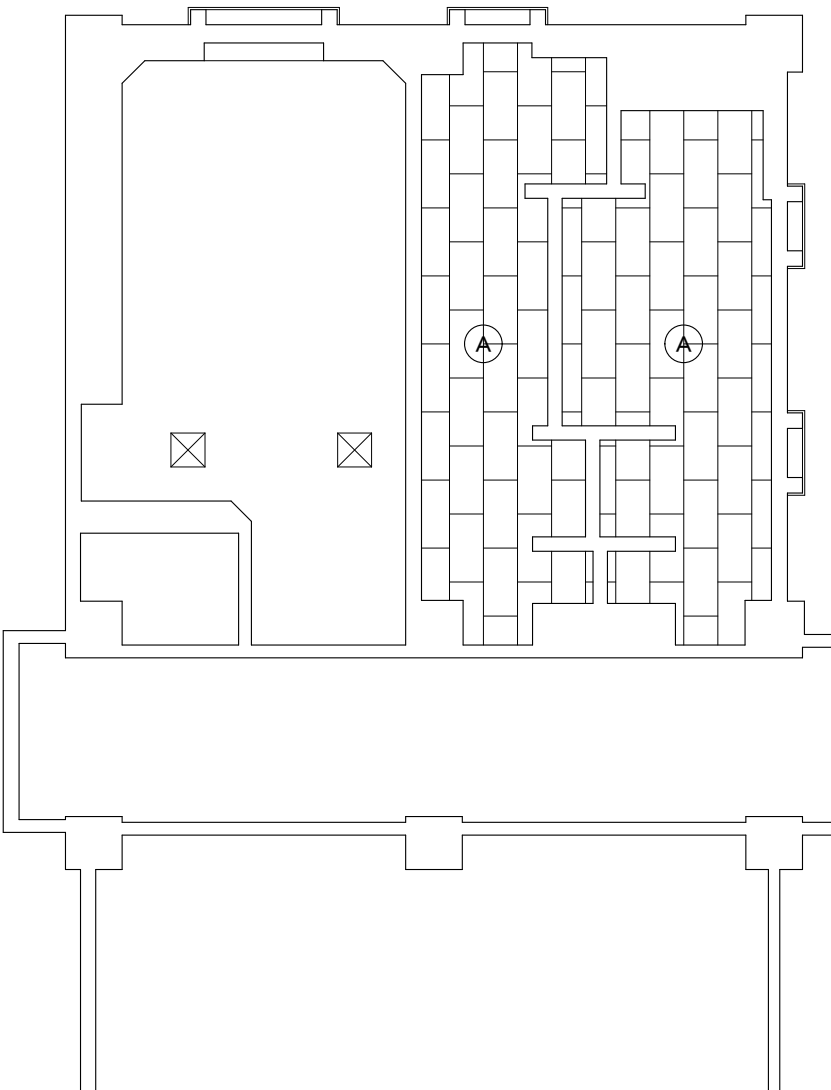
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟3階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	35枚の内 10号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



既設壁タイルについて
・既設衛生器具等の撤去により損傷が残るタイルは全て撤去新設とする。
・壁タイル撤去新設を行う面積は各トイレにつき1.0㎡程度とする。



1・2階天井伏図 1/100



3階天井伏図 1/100

天井仕上一覧表			
Ⓐ	改修前	珪酸カルシウム板t6(撤去) パーライト吹付(撤去)	
	改修後	軽量鋼製天井下地(撤去) GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	
ⓧ	改修後	天井点検口：アルミ製450角(天井仕上同材質)	

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟トイレ展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 1 1 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	WP－１ １	片開き戸ブース	WP－１ ２	３連片開き戸ブース	WP－１ ３	片開き戸ブース	WP－１ ４	片開き戸ブース	WP－１ ５	目隠しパネル	
数量・室名	３台	男子トイレ	３台	女子トイレ	３台	女子トイレ	右勝手：３台 左勝手：３台	踏込(用具入)	３台	男子トイレ	
姿 図											
	見込40		見込40		見込40		見込40		見込40		
	仕 上		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯、巾木：SUS製H60		
	ガ ラ ス		－		－		－		－		
	金 物		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		グレビティヒンジ、取手		
備 考		常時開放式		常時開放式 ※手摺下地は建具工事とする。		常時開放式		常時閉鎖式		建築壁面・床面に固定する。	

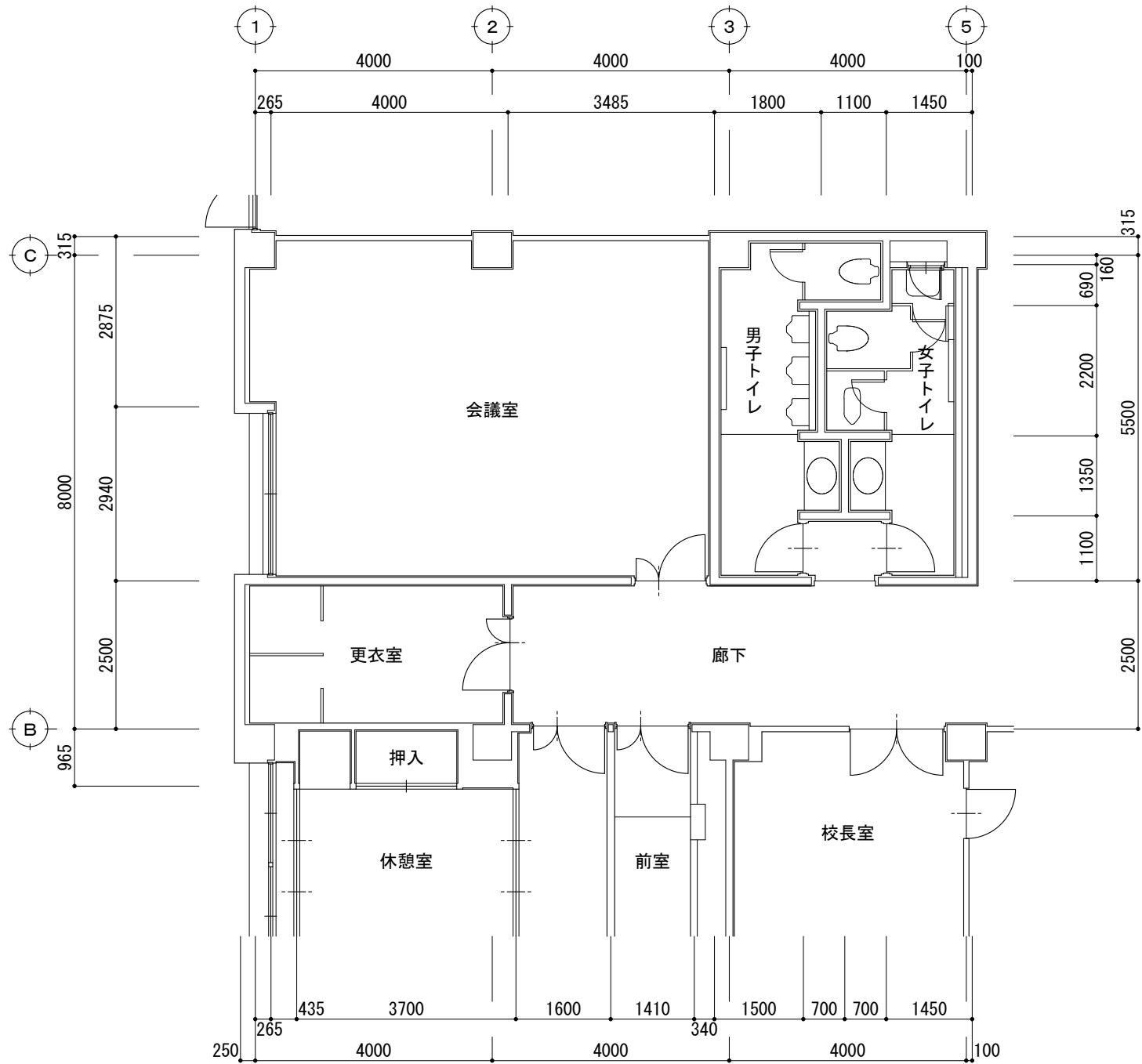
符号・名称	WD－１ １	片開き戸
数量・室名	右勝手：３台 左勝手：３台	踏込
姿 図		
	見込36	
	仕 上	
	ポリ合板t2.5フラッシュ 小口・ガラス縁：ムク材t5 SOP塗	
	ガ ラ ス	
型板ガラスt4		
金 物		
ドアハンドル：SUS製H300、押板：SUS製 丁番、ドアチェック、ドアガラリ：アルミ製W600×H200		
備 考		
既設ラッチ穴埋め		

普通教室棟トイレ キープラン

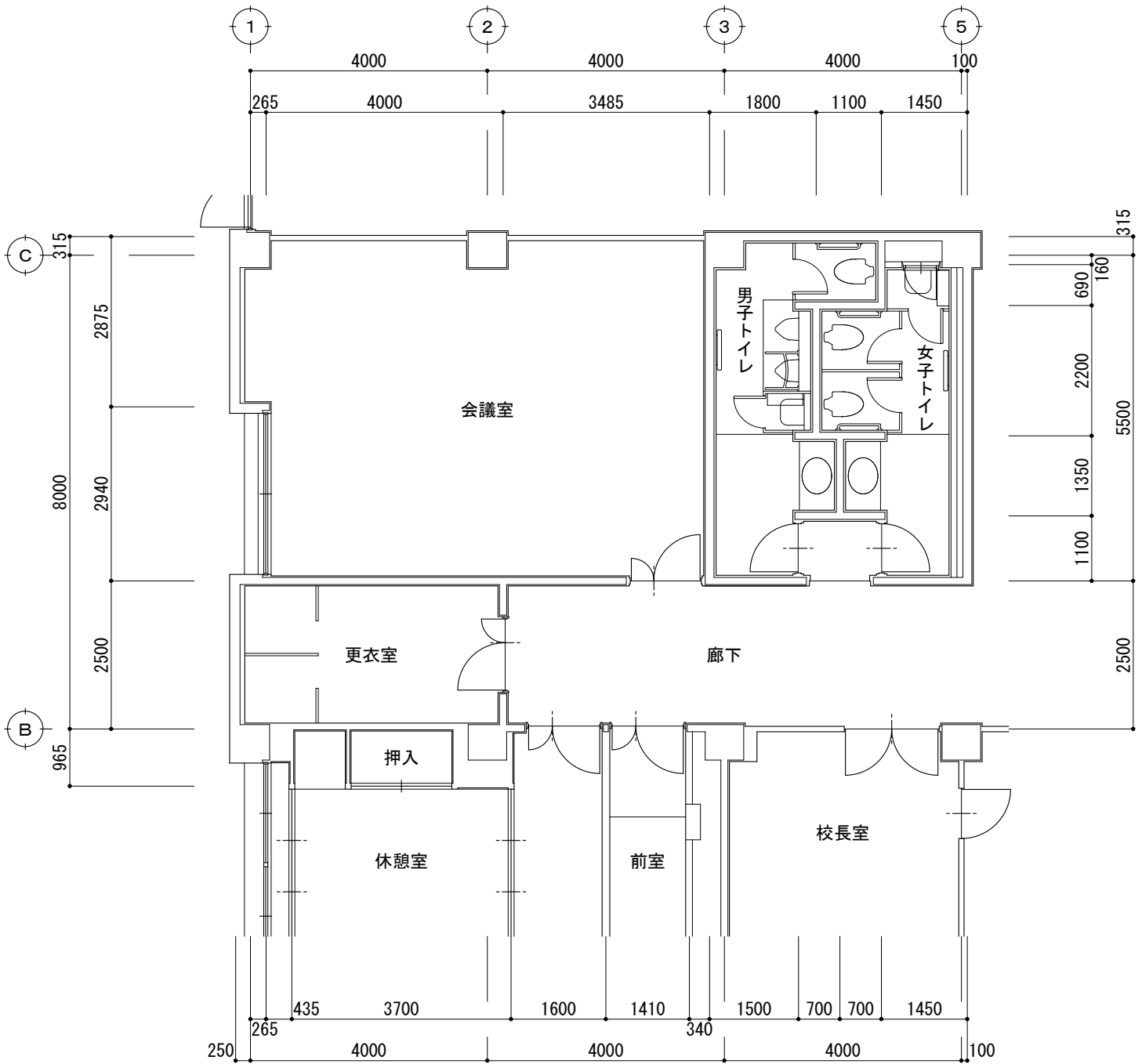
名 称	面台詳細図 1/10		汚垂石詳細図 1/10	
姿 図				
	仕 様		汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600	
	符号・名称	S－１	案内サイン(突出型)	
	数量・室名	６台	廊下(トイレ前)	
	姿 図			
仕 様		プレート：アクリル板製 UV印刷 枠：SUS製 壁面ビス留め		

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟トイレ建具表・部分詳細図		
縮 尺	1/50・1/10	番 号	３５枚の内 １２号
設 計 年月日	令和７年 ３月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
管 理 棟	2 階	改 修 前	男 子 ト イ レ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(既設撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2590		木製トイレブース撤去
			女 子 ト イ レ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(既設撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2590		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(既設撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2500		木製扉撤去(枠残し)
			更 衣 室	ビニル床シート(既設保持) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	木製巾木H100(既設保持)	モルタル金ゴテ仕上(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	有孔石膏ボードt9.5(部分撤去※1) 軽量鋼製天井下地(部分撤去)	塩ビ廻り縁(既設保持)	CH2500		
		改 修 後	男 子 ト イ レ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt100～110金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + GB-St12.5 100角屋内壁用タイル(既設新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2500		木製トイレブース・木製用具入ブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600 木製トイレブース(製作品)
			女 子 ト イ レ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt100～110金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(既設新設)	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2500		
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(既設新設) 入口手前路込：EP塗	GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2500	SOP塗 (建具枠)	木製出入口扉(製作品)
			更 衣 室				有孔石膏ボードt9.5(部分新設) EP塗 軽量鋼製天井下地(LGS19)(部分新設)		CH2500		
	1 階	改 修 前	職 員 玄 関	フローリングブロック(既設保持) 張物下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	木製巾木H100(既設保持)	ウォールコート吹付(既設保持) モルタル金ゴテ仕上(既設保持)	岩綿吸音板t12(部分撤去※1) GB-Rt9.5(部分撤去) 軽量鋼製天井下地(部分撤去)	塩ビ廻り縁(既設保持)	CH2900		
		改 修 後	職 員 玄 関				岩綿吸音板t12(部分新設) GB-Rt9.5(部分新設) 軽量鋼製天井下地(LGS19)(部分新設)		CH2900		



改修前 2階平面図 1/100



改修後 2階平面図 1/100

凡 例	
GB-S	: シーリング(防水)石膏ボード
GB-D	: 化粧石膏ボード
SUS	: ステンレス SUS304(HL)
CB	: コンクリートブロック(C種)
SOP	: 合成樹脂ペイント(2回塗)
EP	: 艶消合成樹脂エマルションペイント(2回塗)

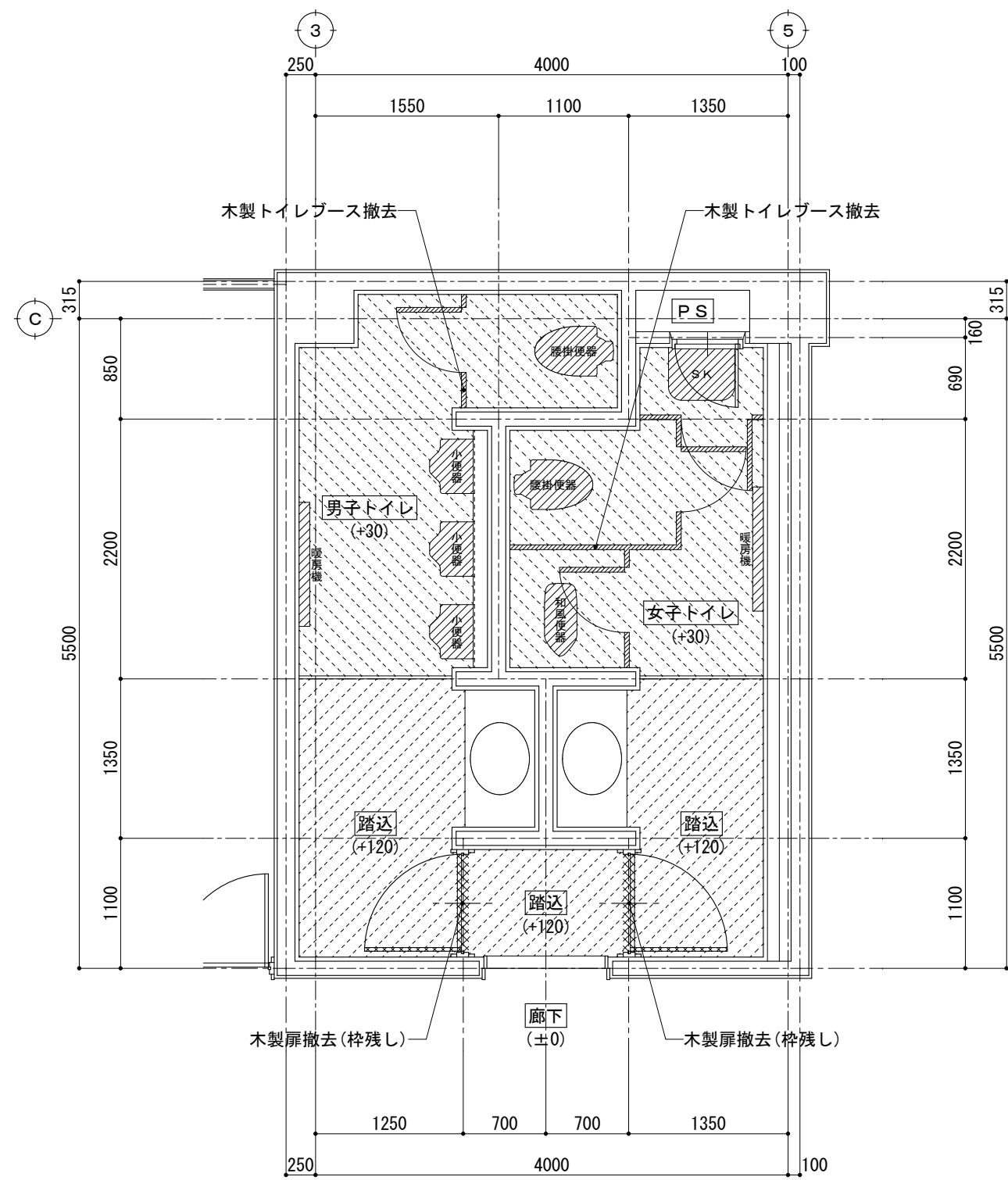
- 特記事項
- (1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
 - ・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
 - ・内装天井仕上材(石膏ボード板) ※見なし判定
 - ・内装天井仕上材(岩綿吸音板) ※見なし判定
 - (2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
 - ・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
 - (3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

表中凡例

(※1) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。

(※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

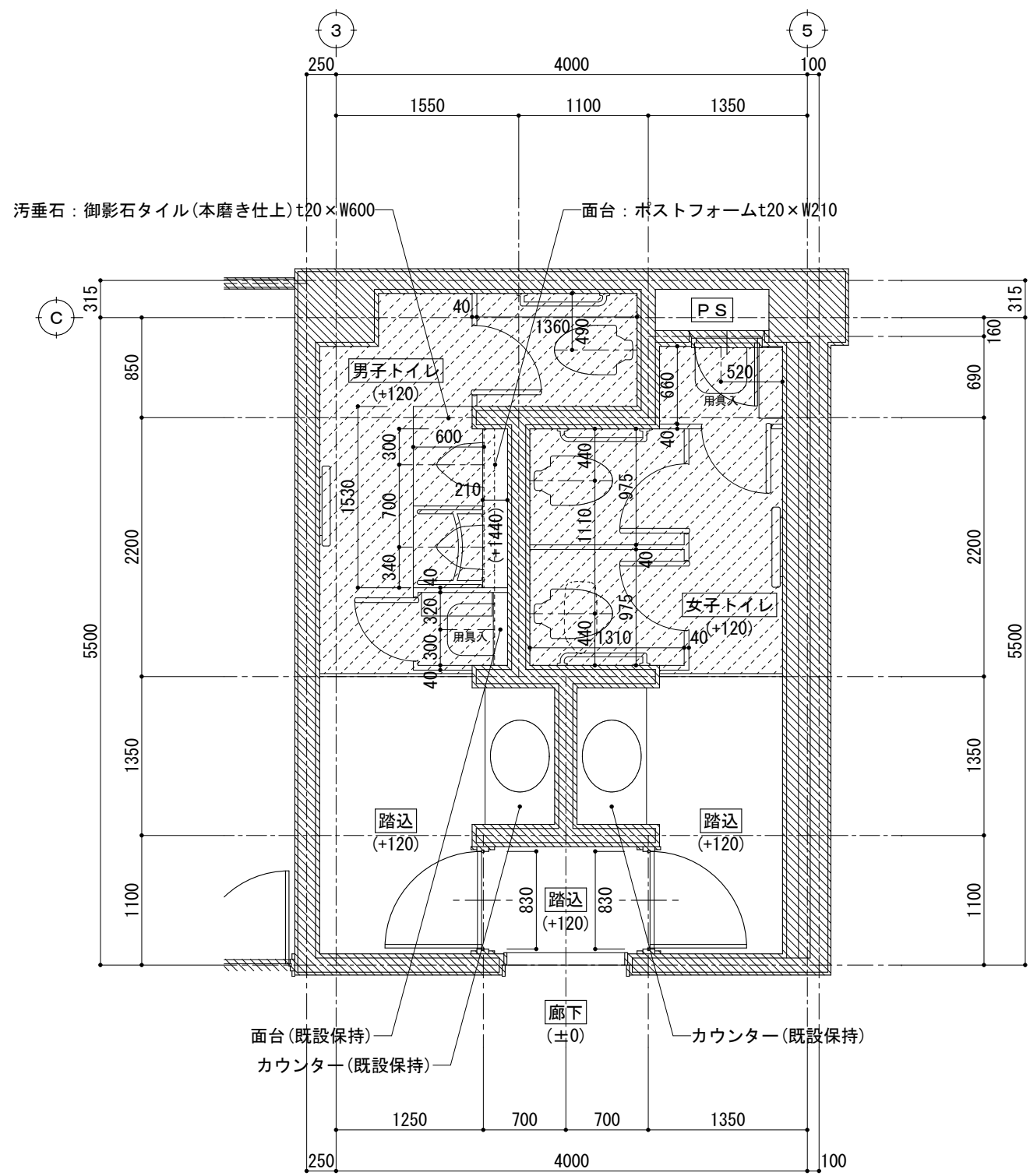
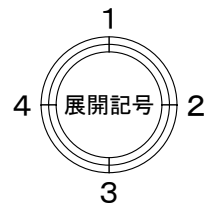
工事名	国府中学校トイレ改修工事（建築）		
図 名	管理棟２階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	３５枚の内　１３号
設 計 年月日	令和７年　３月		
設 計	有限会社アブ・デザイン　一級建築士　大臣登録　第284116号　栗本智秀		
高　　山　　市			



改修前 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床仕上撤去 (床用タイル)
 - 床仕上撤去 (ビニル床シート)
 - 分離発注工事 (機械設備)
 - 衛生器具等撤去 (付属品・配管撤去を含む)

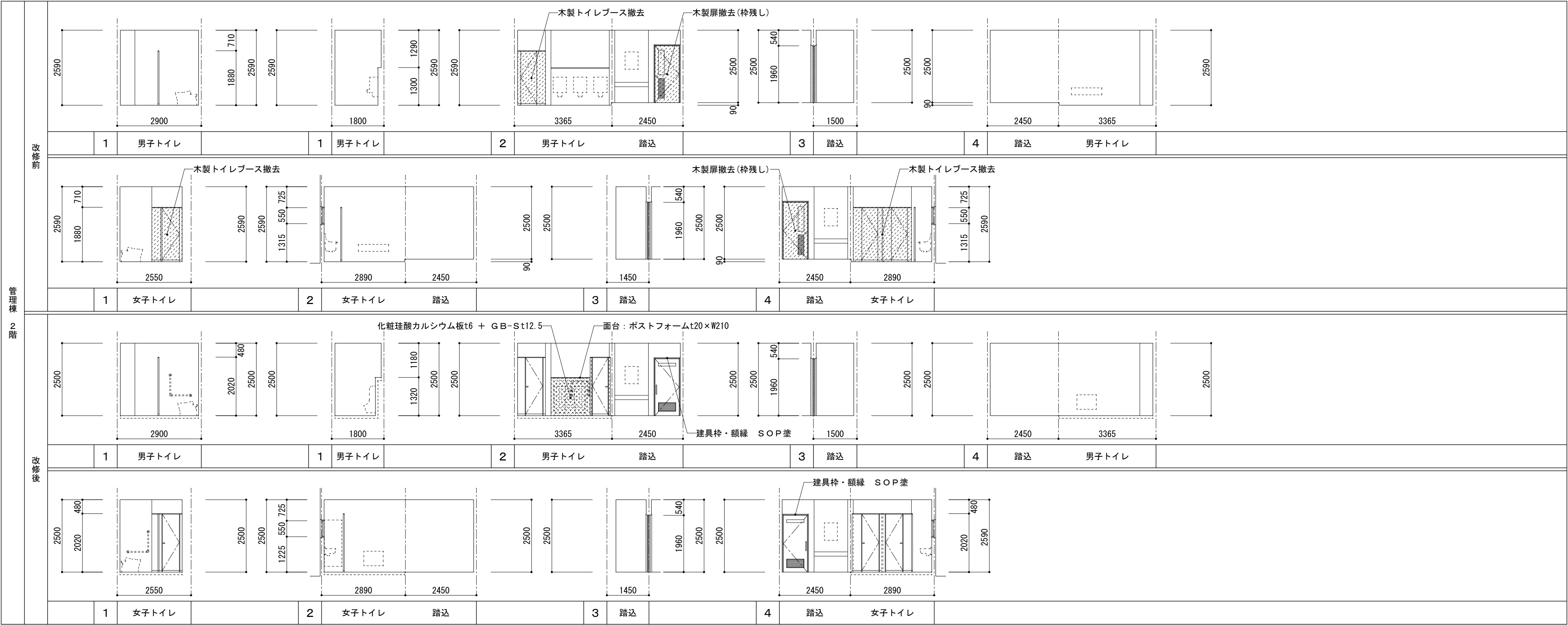


改修後 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

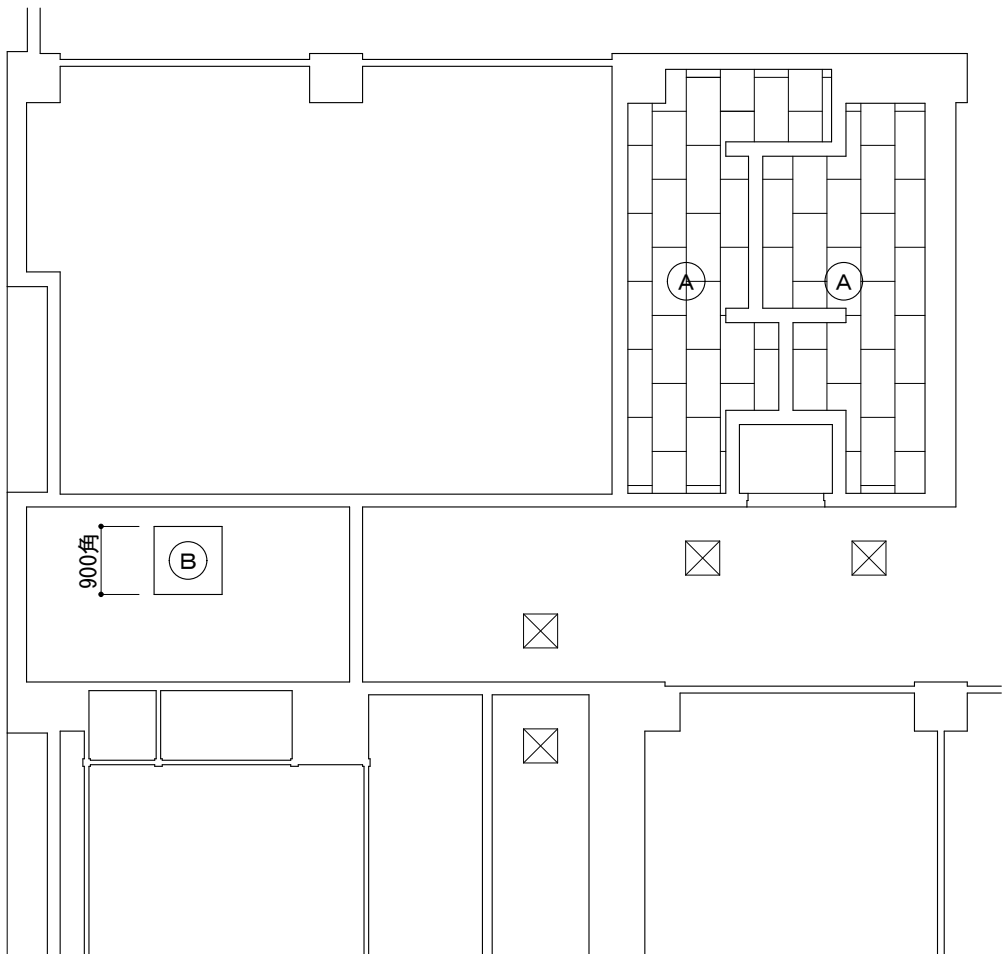
- 凡 例
- 床嵩上げ部分を示す。
増打コンクリートt100~110
 - 和風便器撤去部分
スラブコンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
鉄筋D10@200S (差筋アンカーD10@200)

工事名	国府中学校トイレ改修工事 (建築)		
図 名	管理棟 2階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 5 枚の内 1 4 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

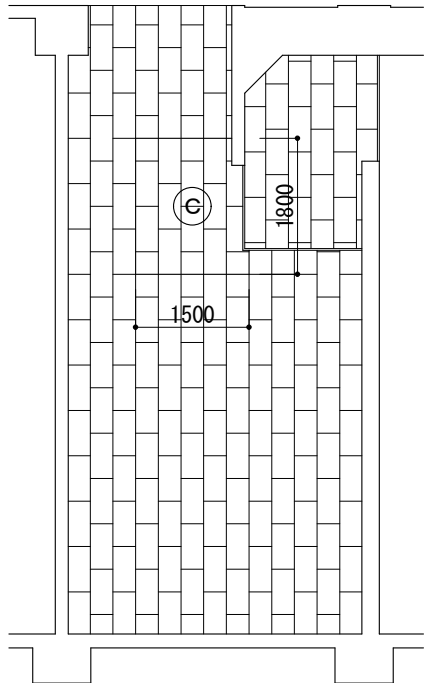


既設壁タイルについて

- ・既設衛生器具等の撤去により損傷が残るタイルは全て撤去新設とする。
- ・壁タイル撤去新設を行う面積は各トイレにつき1.0㎡程度とする。



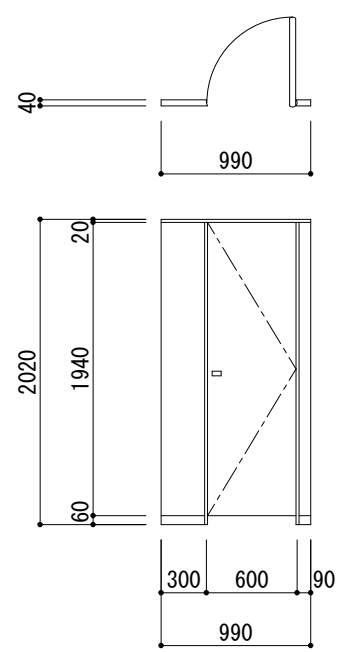
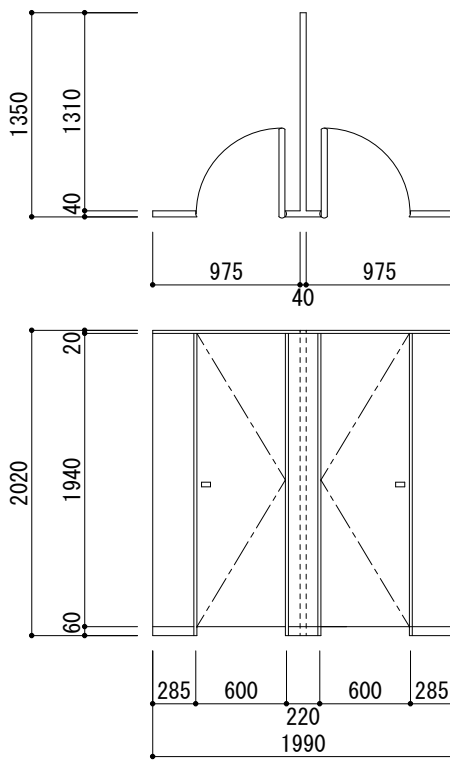
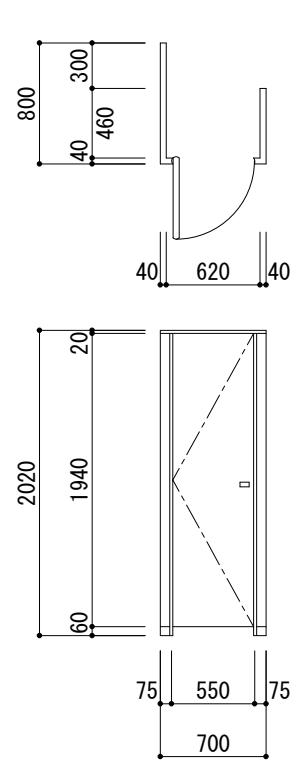
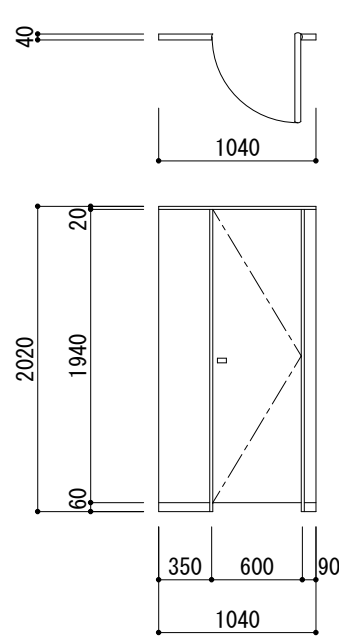
2階天井伏図 1/100

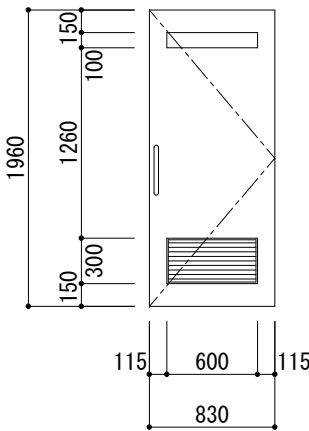


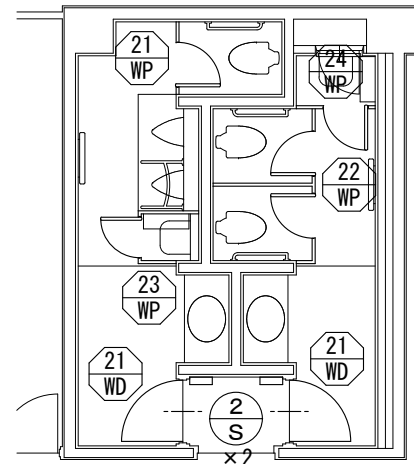
1階天井伏図 1/100

天井仕上一覧表			
Ⓐ	改修前	珪酸カルシウム板t6(撤去) パーライト吹付(撤去)	
	改修後	軽量鋼製天井下地(撤去) GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	
Ⓑ	改修前	有孔石膏ボードt9.5(部分撤去) 軽量鋼製天井下地(部分撤去)	
	改修後	有孔石膏ボードt9.5(部分新設) EP塗 軽量鋼製天井下地(LGS19)(部分新設)	
Ⓒ	改修前	岩綿吸音板t12(部分撤去)+GB-Rt9.5(部分撤去) 軽量鋼製天井下地(部分撤去)	
	改修後	岩綿吸音板t12(部分新設)+GB-Rt9.5(部分新設) 軽量鋼製天井下地(LGS19)(部分新設)	
ⓧ	改修後	天井点検口: アルミ製450角(天井仕上同材質)	

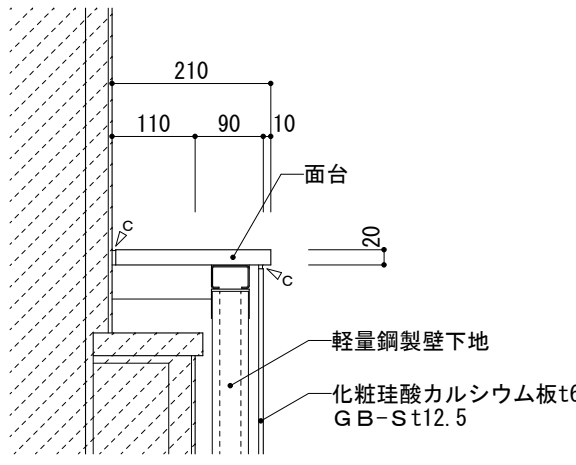
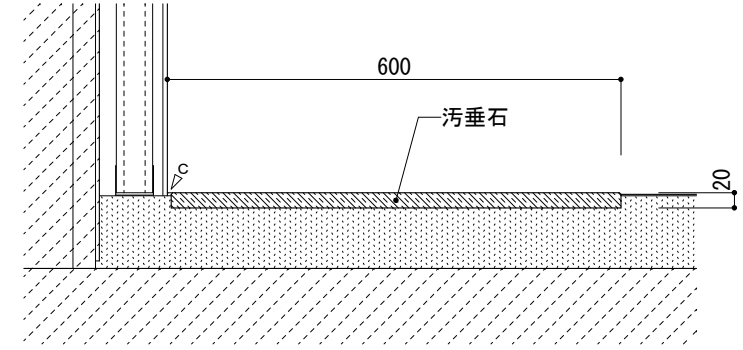
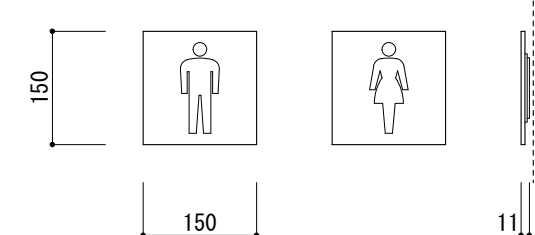
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	管理棟トイレ展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 1 5 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	WP－2 1	片開き戸ブース	WP－2 2	2連片開き戸ブース	WP－2 3	片開き戸ブース	WP－2 4	片開き戸ブース		
数量・室名	1 台	男子トイレ	1 台	女子トイレ	1 台	男子トイレ(用具入)	1 台	女子トイレ(用具入)		
姿 図										
仕 上	メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60			
ガ ラ ス	－		－		－		－			
金 物	スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		グレビティヒンジ、取手		グレビティヒンジ、取手			
備 考	常時開放式		常時開放式		常時閉鎖式		常時閉鎖式			

符号・名称	WD－2 1	片開き戸
数量・室名	右勝手：1 台 左勝手：1 台	踏込
姿 図		
仕 上	ポリ合板t2.5フラッシュ 小口・ガラス縁：ムク材t5 S O P 塗	
ガ ラ ス	型板ガラスt4	
金 物	ドアハンドル：SUS製H300、押板：SUS製 丁番、ドアチェック、ドアガラリ：アルミ製W600×H200	
備 考	既設ラッチ穴埋め	

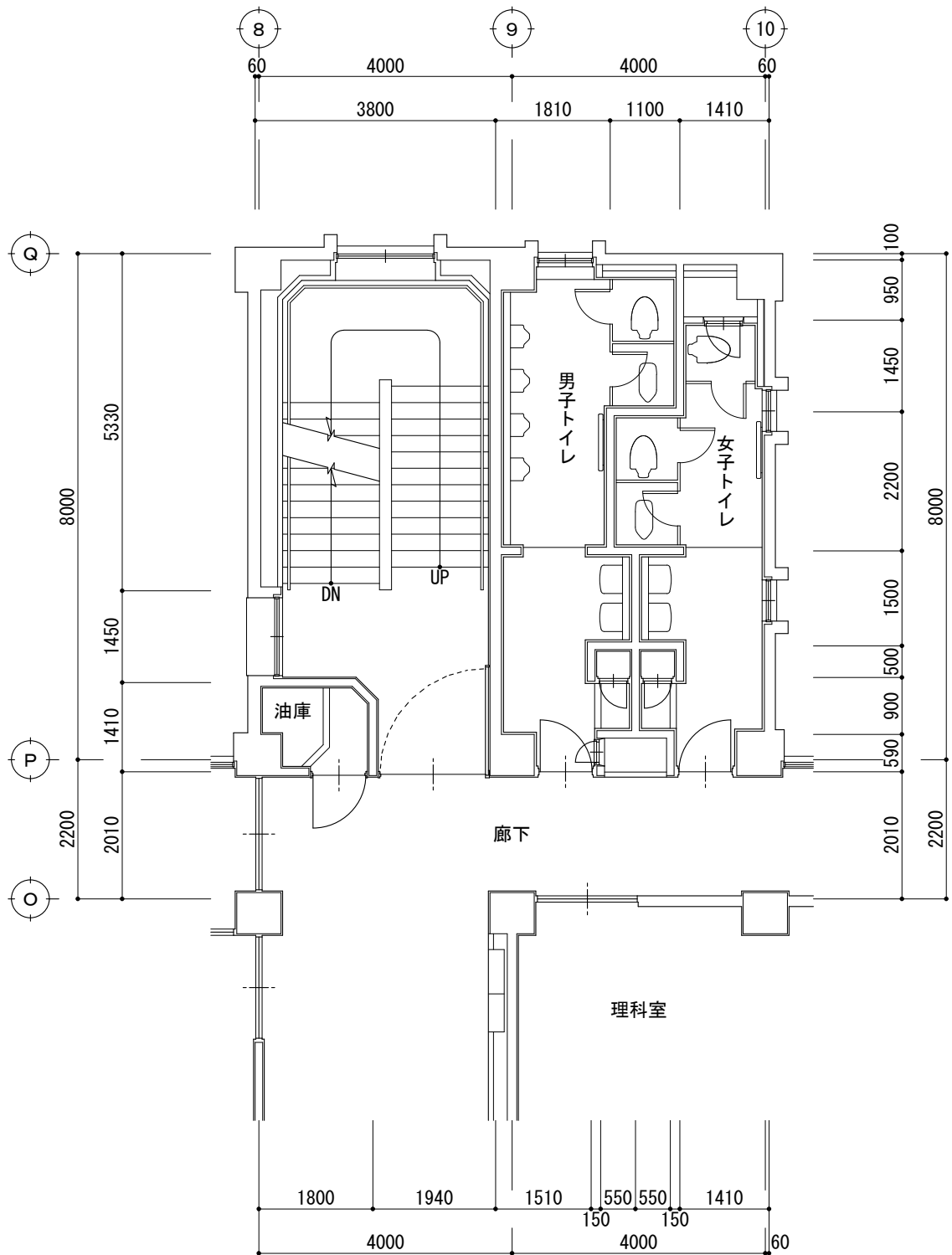


管理棟トイレ キープラン

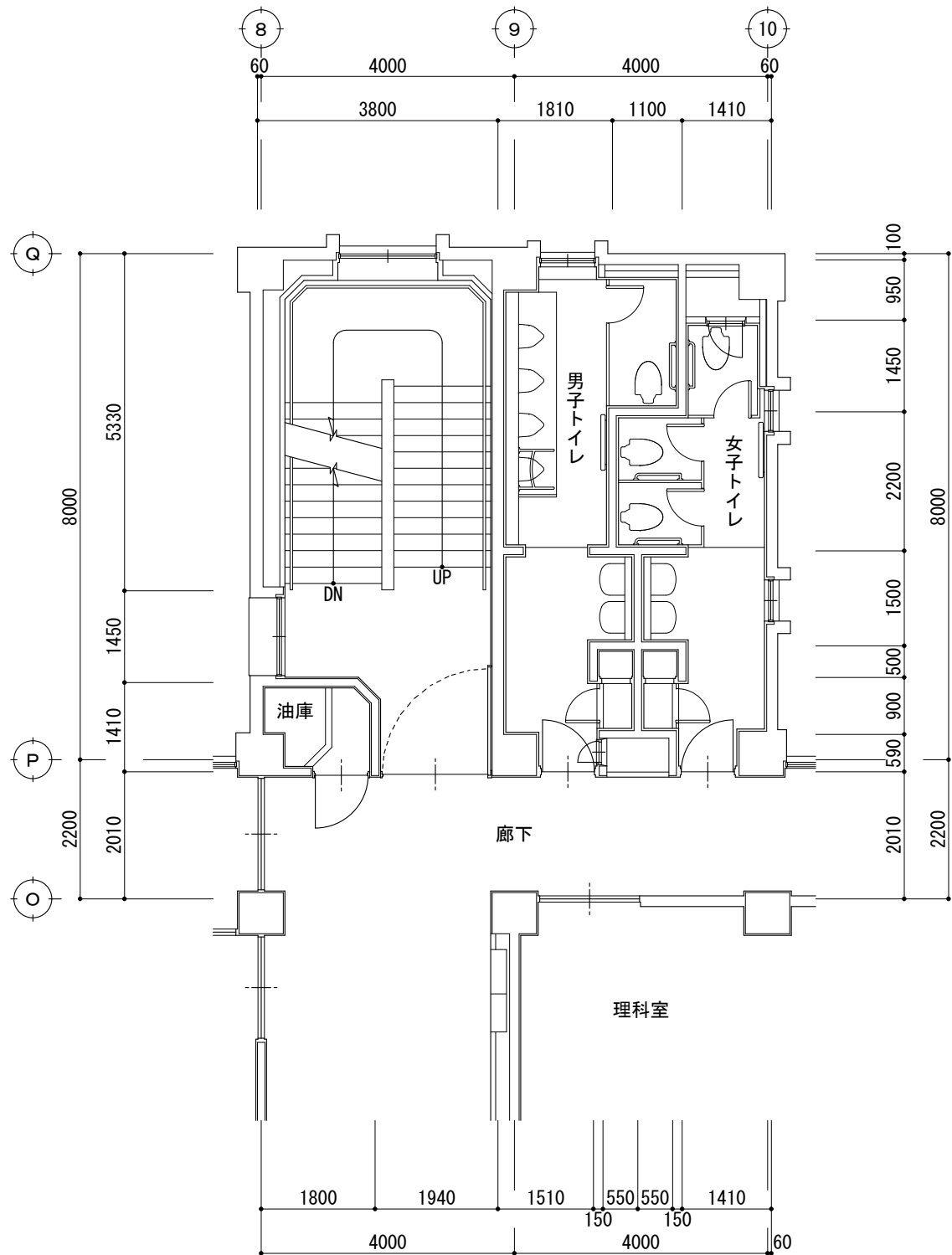
名 称	面台詳細図 1/10		汚垂石詳細図 1/10	
姿 図				
仕 様	面台：ポスツォーム(耐水MDF芯)t20×W210 軽量鋼製壁下地(LGS50)		汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600	
符号・名称	S－2	案内サイン(平付型)		
数量・室名	2 台	踏込(トイレ前)		
姿 図				
仕 様	プレート：アクリル板製 UV印刷 下地ベース：アクリル板製 壁面ビス留め			

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	普通教室棟トイレ建具表・部分詳細図		
縮 尺	1/50・1/10	番 号	3 5 枚の内 1 6 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
特別教室棟	2 階	改修前	男子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2480		木製トイレブース撤去
			女子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2480		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2450		木製扉撤去(枠残し)
		改修後	男子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + G B - S t12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450		木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
			女子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450		木製トイレブース(製作品)
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450	S O P 塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)



改修前 2階平面図 1/100



改修後 2階平面図 1/100

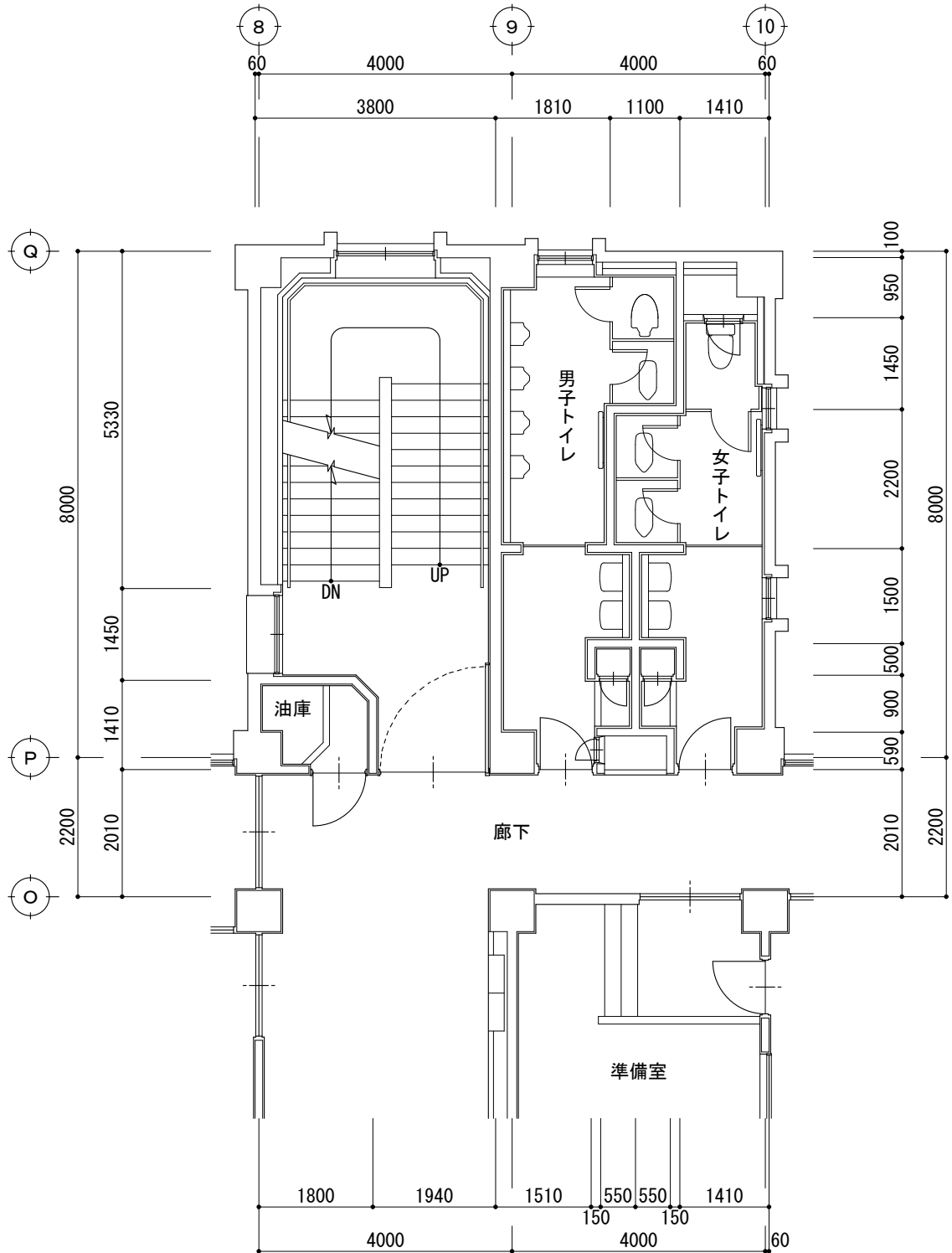
凡 例	
GB-S	: シーシング(防水)石膏ボード
GB-D	: 化粧石膏ボード
SUS	: ステンレス SUS304(HL)
CB	: コンクリートブロック(C種)
SOP	: 合成樹脂ペイント(2回塗)
EP	: 艶消合成樹脂エマルジョンペイント(2回塗)

特記事項
(1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
(2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
(3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

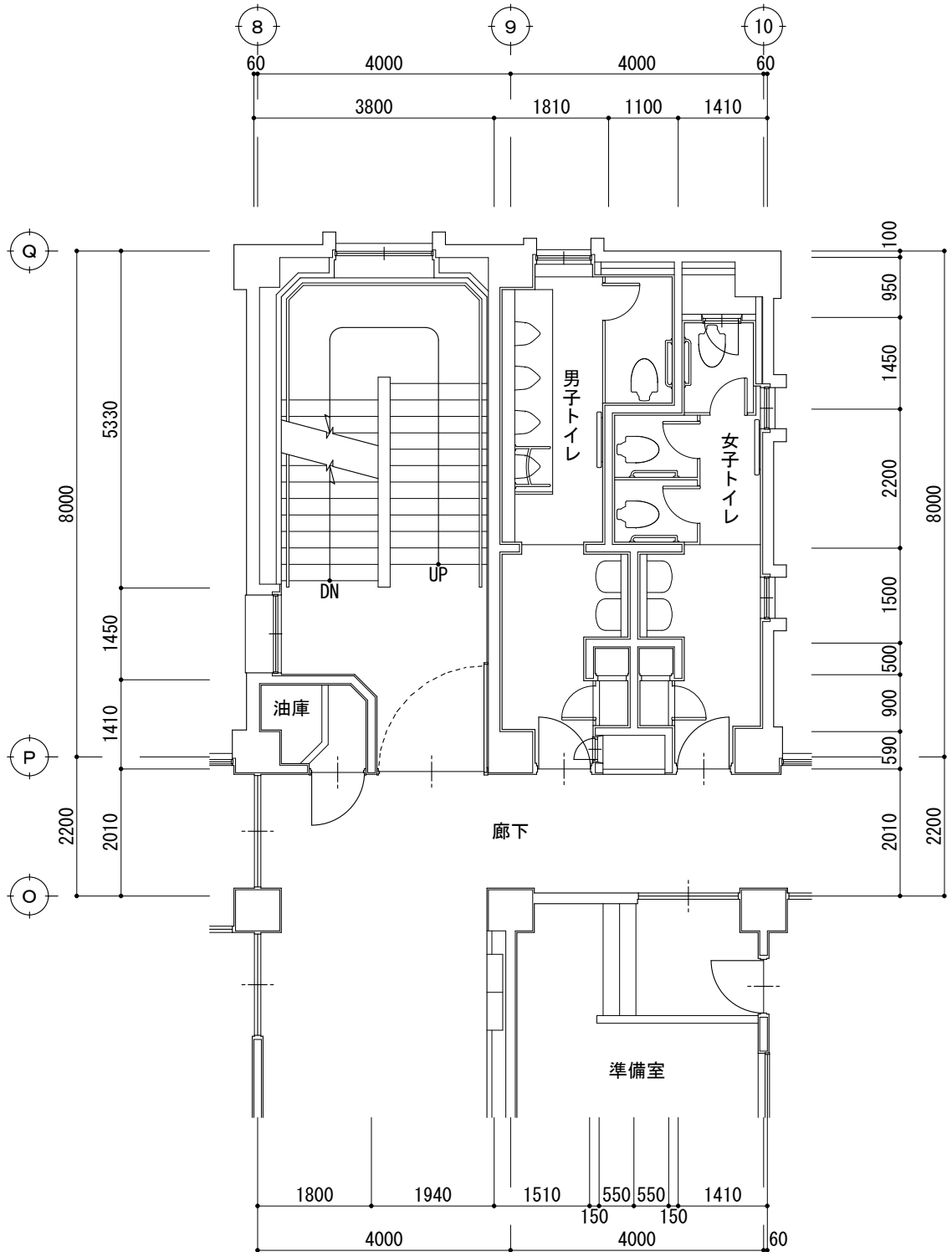
表中凡例
(※1) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。
(※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	特別教室棟2階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 1 7 号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
特別教室棟	3 階	改修前	男子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2480		木製トイレブース撤去
			女子 トイレ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2480		木製トイレブース撤去
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) スラブコンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※1) パーライト吹付(※2) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2450		木製扉撤去(枠残し)
		男子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 + G B - S t12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450		木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W210 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600	
		女子 トイレ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt40～50金ゴテ仕上	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450		木製トイレブース(製作品)	
		踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	G B - D (ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2450	S O P塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)	



改修前 3階平面図 1/100

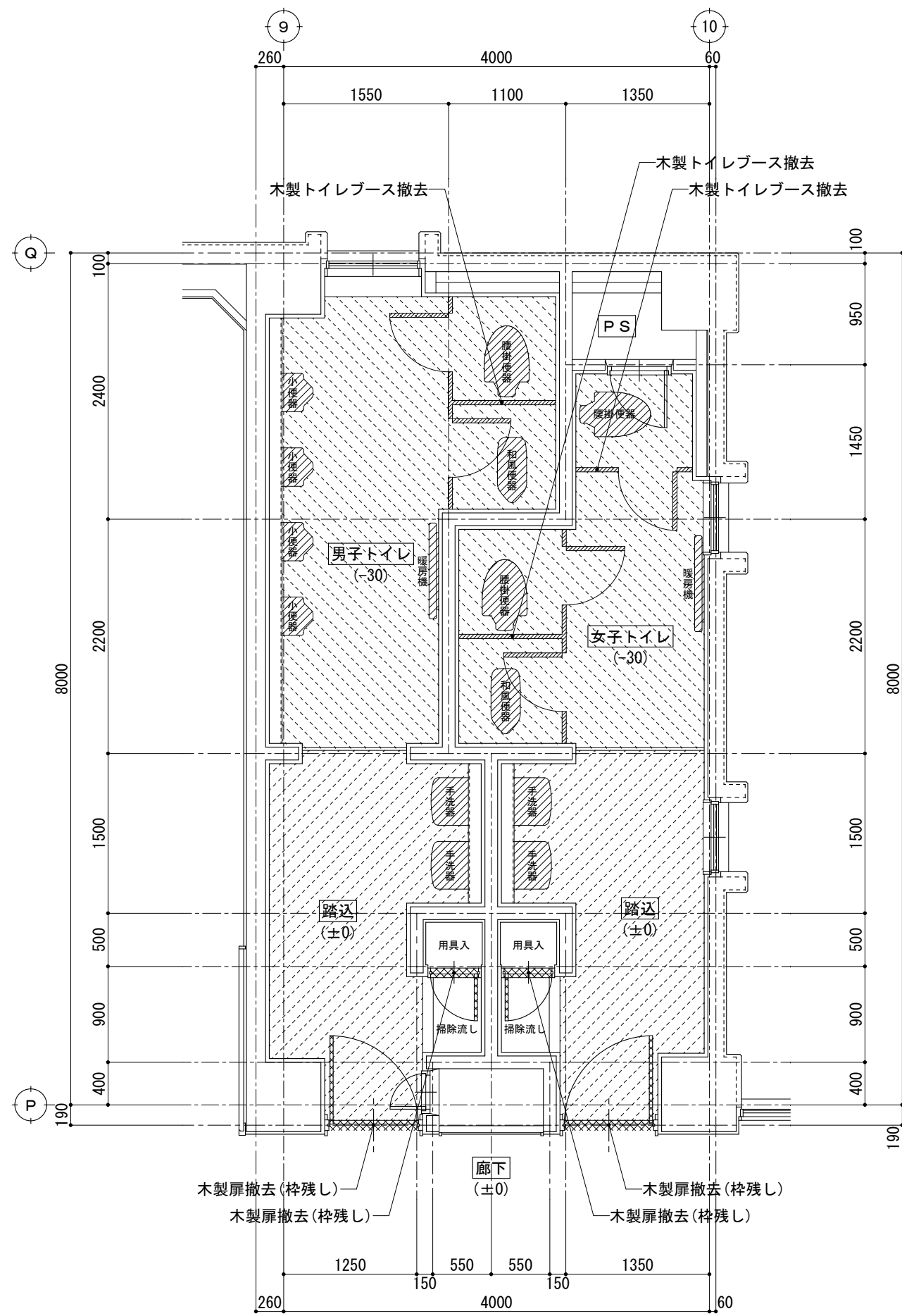


改修後 3階平面図 1/100

凡 例	
GB-S	: シージング(防水)石膏ボード
GB-D	: 化粧石膏ボード
SUS	: ステンレス SUS304 (HL)
CB	: コンクリートブロック (C種)
SOP	: 合成樹脂ペイント (2回塗)
EP	: 艶消合成樹脂エマルションペイント (2回塗)

- 特記事項
- (1) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
 - ・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
 - (2) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
 - ・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル3
 - (3) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。
- 表中凡例
- (※1) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。
 - (※2) 事前調査によりアスベストは含まれていない建材を示す。

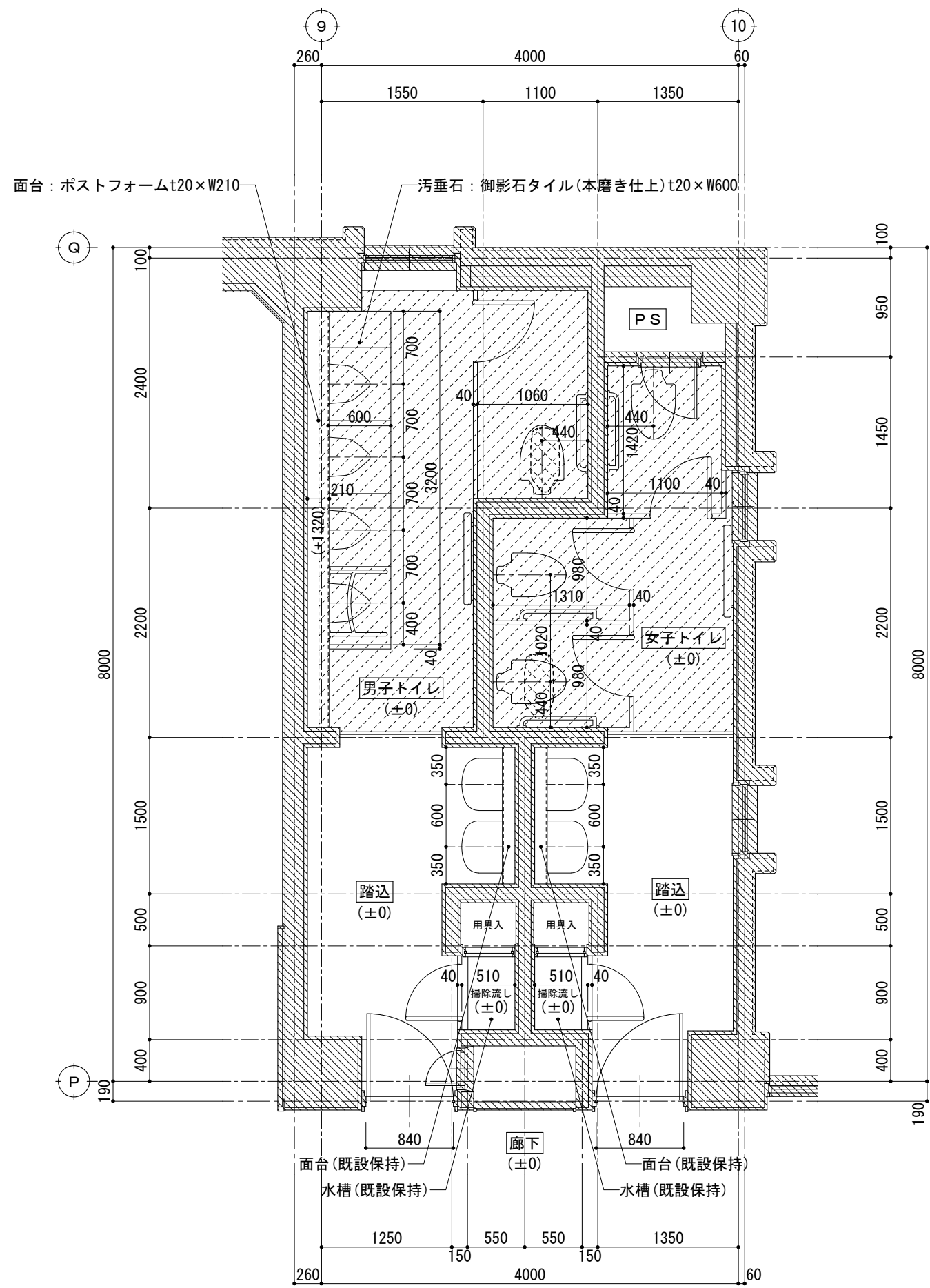
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	特別教室棟3階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 1 8 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床仕上撤去 (床用タイル)
 - 床仕上撤去 (ビニル床シート)
 - 分離発注工事 (機械設備)
 - 衛生器具等撤去 (付属品・配管撤去を含む)

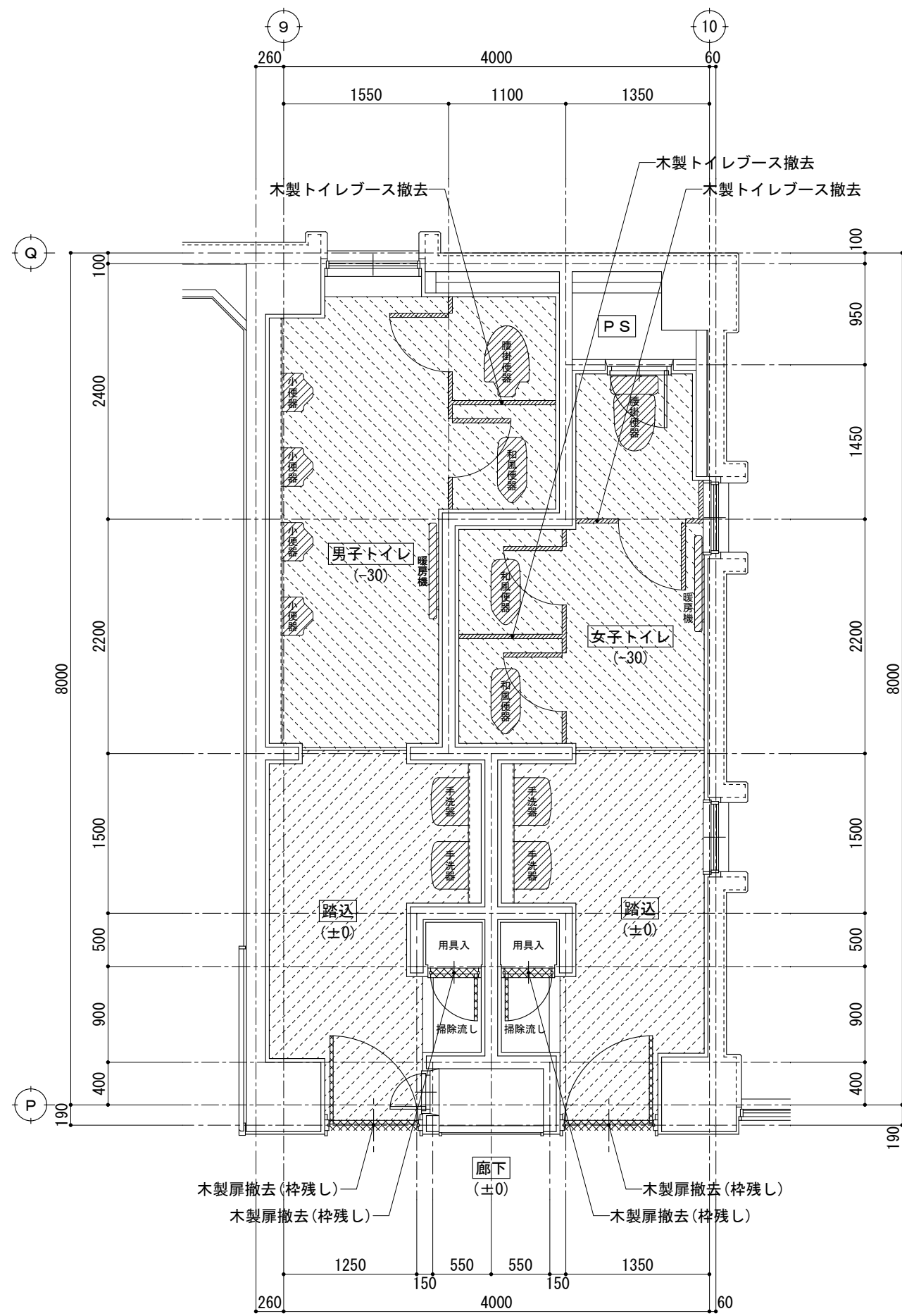


改修後 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床端上げ部分を示す。
増打コンクリートt40~50
 - 和風便器撤去部分
スラブコンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
鉄筋D10@200S (差筋アンカーD10@200)

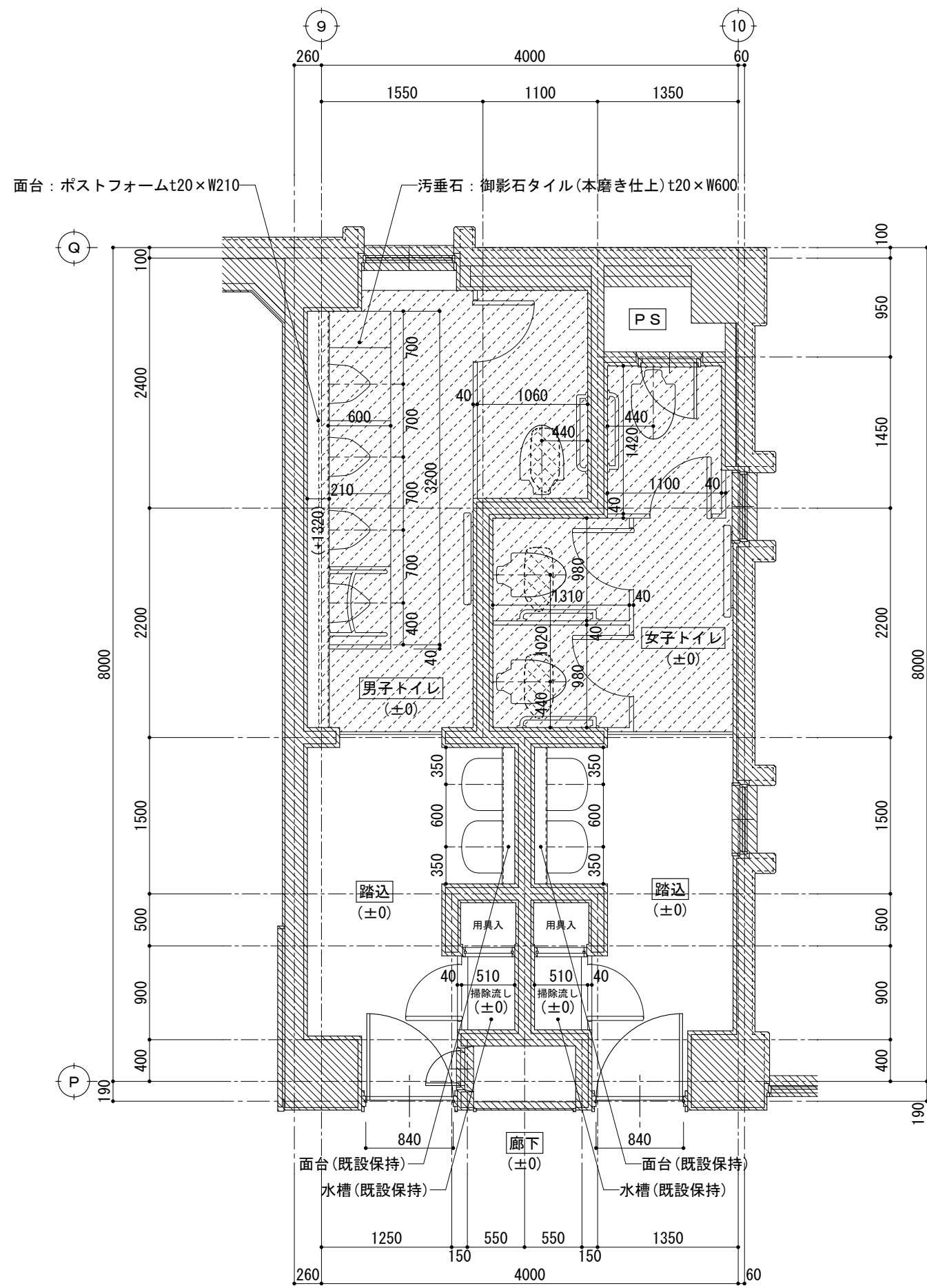
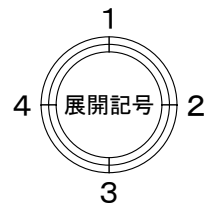
工 事 名	国府中学校トイレ改修工事 (建築)		
図 名	特別教室棟 2 階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 5 枚の内 1 9 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 平面詳細図 1/50

()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床仕上撤去 (床用タイル)
 - 床仕上撤去 (ビニル床シート)
 - 分離発注工事 (機械設備)
 - 衛生器具等撤去 (付属品・配管撤去を含む)

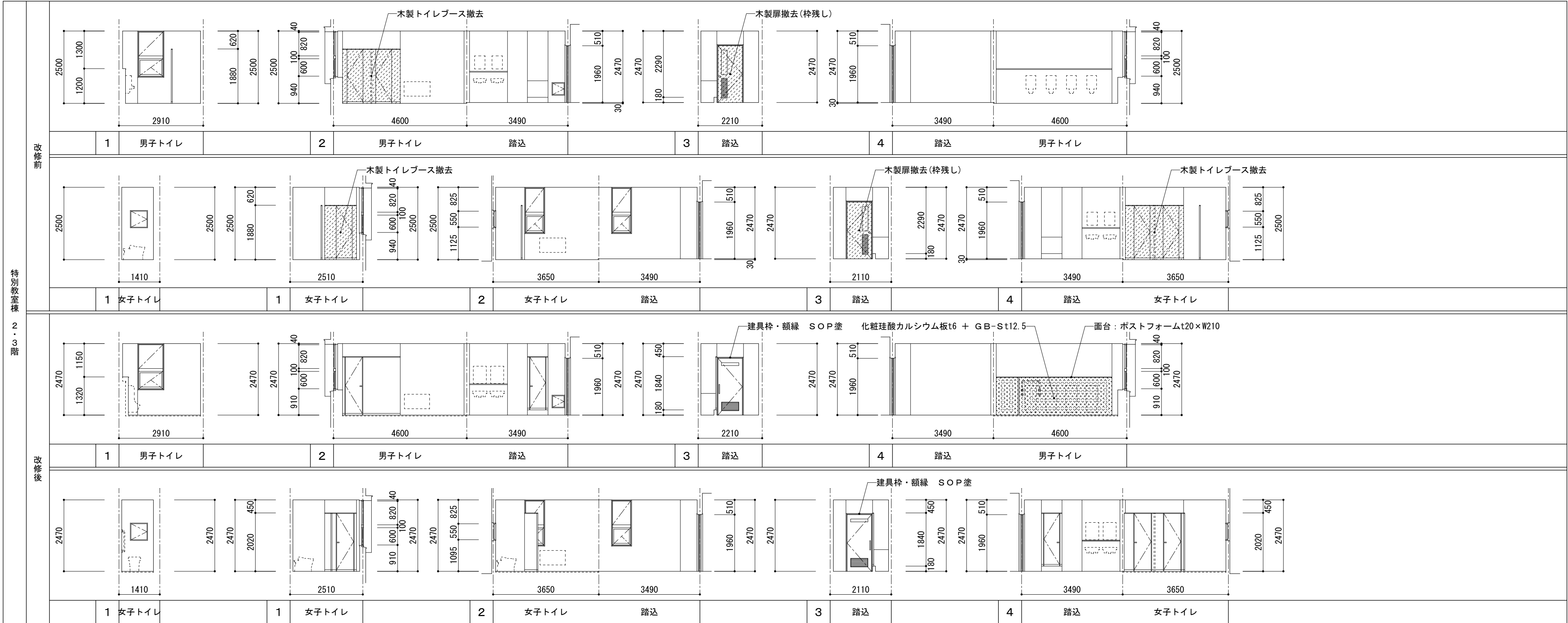


改修後 平面詳細図 1/50

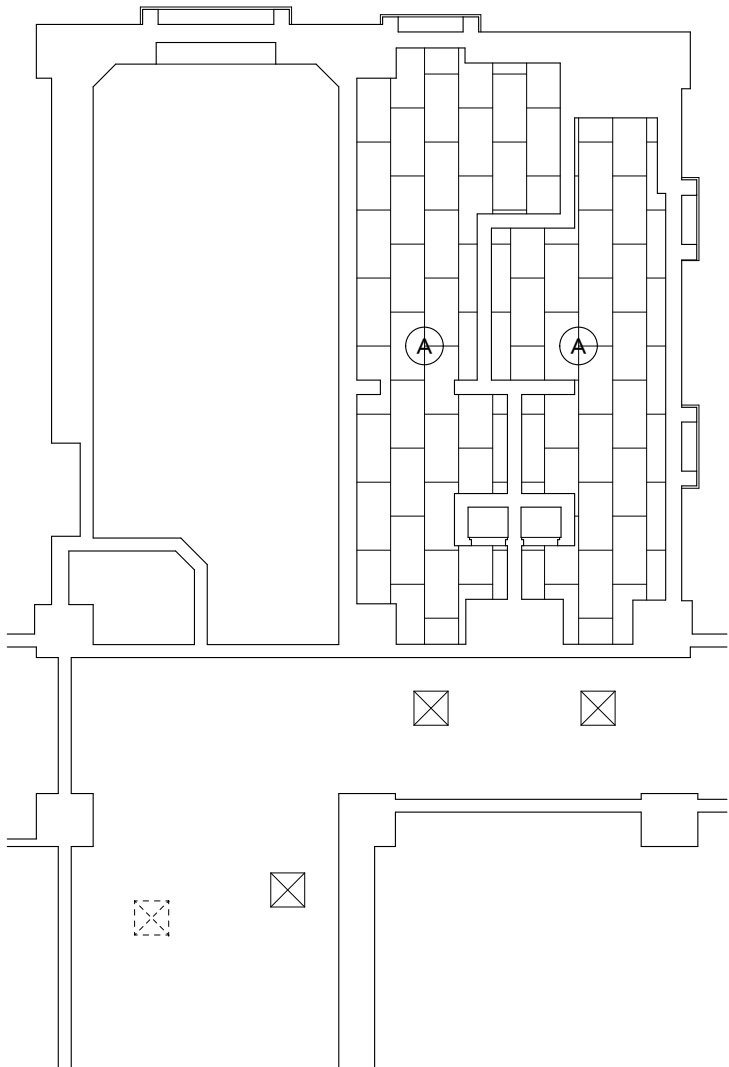
()内は廊下F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 凡 例
- 床端上げ部分を示す。
増打コンクリートt40~50
 - 和風便器撤去部分
スラブコンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
鉄筋D10@200S (差筋アンカーD10@200)

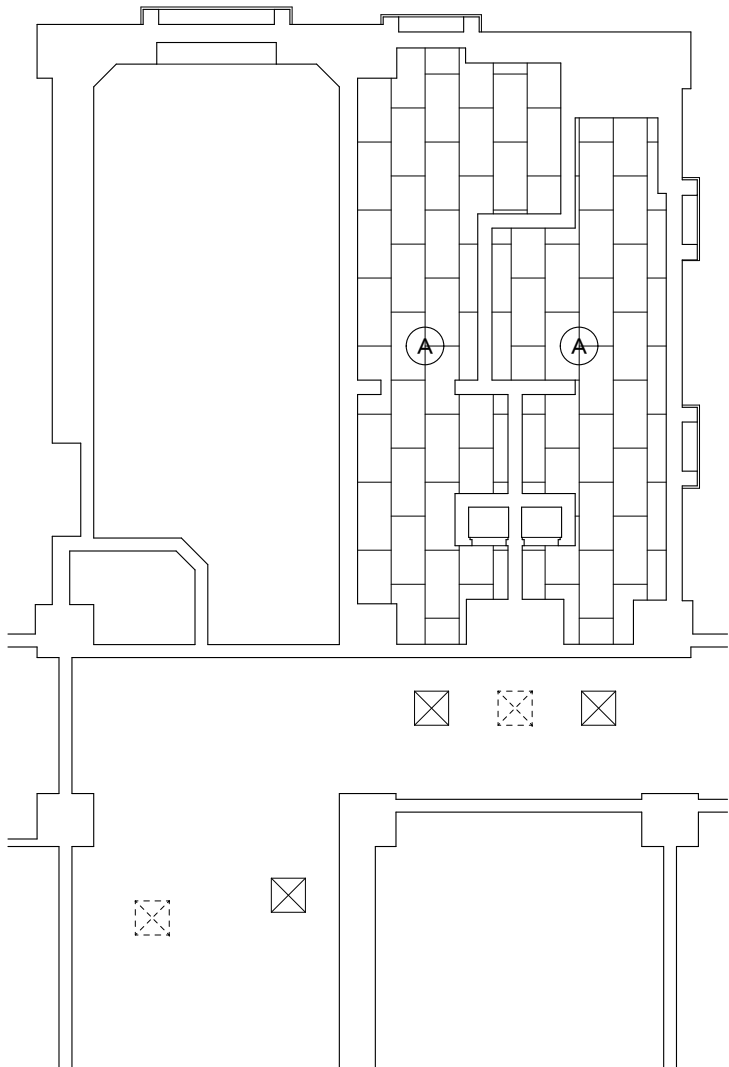
工事名	国府中学校トイレ改修工事（建築）		
図 名	特別教室棟 3 階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 5 枚の内 2 0 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



既設壁タイルについて
・既設衛生器具等の撤去により損傷が残るタイルは全て撤去新設とする。
・壁タイル撤去新設を行う面積は各トイレにつき1.0㎡程度とする。



2階天井伏図 1/100



3階天井伏図 1/100

天井仕上一覧表			
Ⓐ	改修前	珪酸カルシウム板t6(撤去) パーライト吹付(撤去)	
	改修後	軽量鋼製天井下地(撤去) GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	
ⓧ	改修後	天井点検口：アルミ製450角(天井仕上同材質)	

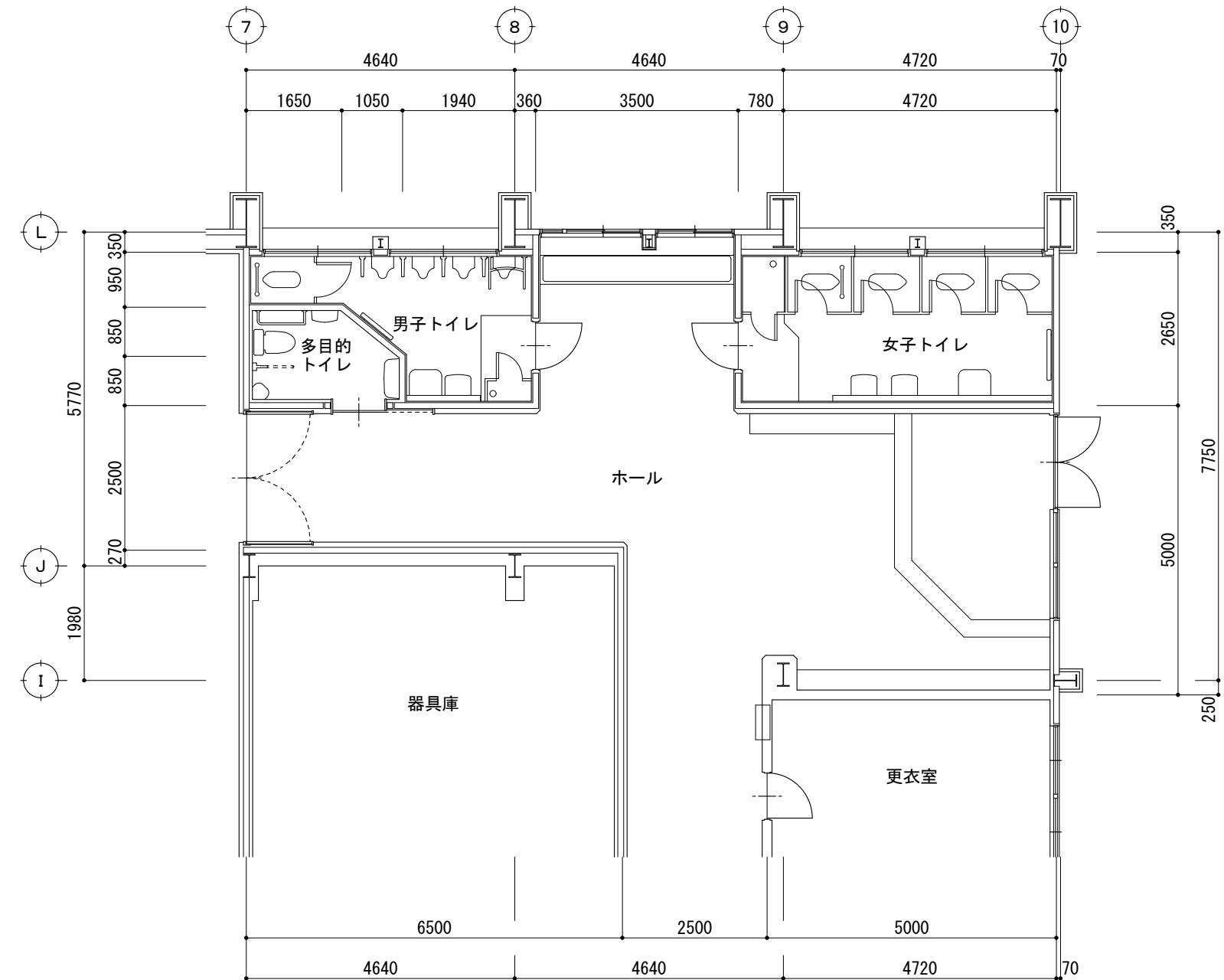
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	特別教室棟トイレ展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 2 1 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表											
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
屋 内 運 動 場	1 階	改 修 前	男 子 ト イ レ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(既設保持) ＣＢ・躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※１) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2380		木製トイレブース撤去
			女 子 ト イ レ	モザイク床用タイル(撤去) タイル下地モルタル(部分撤去) 土間コンクリート下地(部分撤去)	—	100角屋内壁用タイル(部分撤去) タイル下地モルタル(部分撤去) ＣＢ・躯体コンクリート下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※１) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2380	木製トイレブース撤去 面台(タイル仕上・ＣＢ下地)撤去	
			踏 込	ビニル床シート(撤去) 張物下地モルタル(既設保持) 土間コンクリート下地(既設保持)	—	100角屋内壁用タイル(既設保持) タイル下地モルタル(既設保持) ＣＢ下地(既設保持)	珪酸カルシウム板t6(撤去※１) 軽量鋼製天井下地(撤去)	塩ビ廻り縁(撤去)	CH2300	木製扉撤去(枠残し)	
		改 修 後	男 子 ト イ レ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt90～100金ゴテ仕上	—	面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 ＋ ＧＢ-Ｓt12.5 100角屋内壁用タイル(部分新設) 軽量鋼製壁下地(LGS50)	ＧＢ-Ｄ(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2300	ＳＯＰ塗 (サッシ枠)	木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W150 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
			女 子 ト イ レ	複層ビニル床シートt2.0 増打コンクリートt90～100金ゴテ仕上 土間コンクリート下地(部分新設)	—	100角屋内壁用タイル・タイル下地モルタル(部分新設) 面台腰部：化粧珪酸カルシウム板t6 ＋ ＧＢ-Ｓt12.5 軽量鋼製壁下地(LGS50)	ＧＢ-Ｄ(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2300	ＳＯＰ塗 (サッシ枠)	木製トイレブース(製作品) 面台：ポストフォームt20×W150
			踏 込	複層ビニル床シートt2.0	—	100角屋内壁用タイル(部分新設)	ＧＢ-Ｄ(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	塩ビ廻り縁(突付型)	CH2300	ＳＯＰ塗 (建具枠)	木製用具入ブース(製作品) 木製出入口扉(製作品)

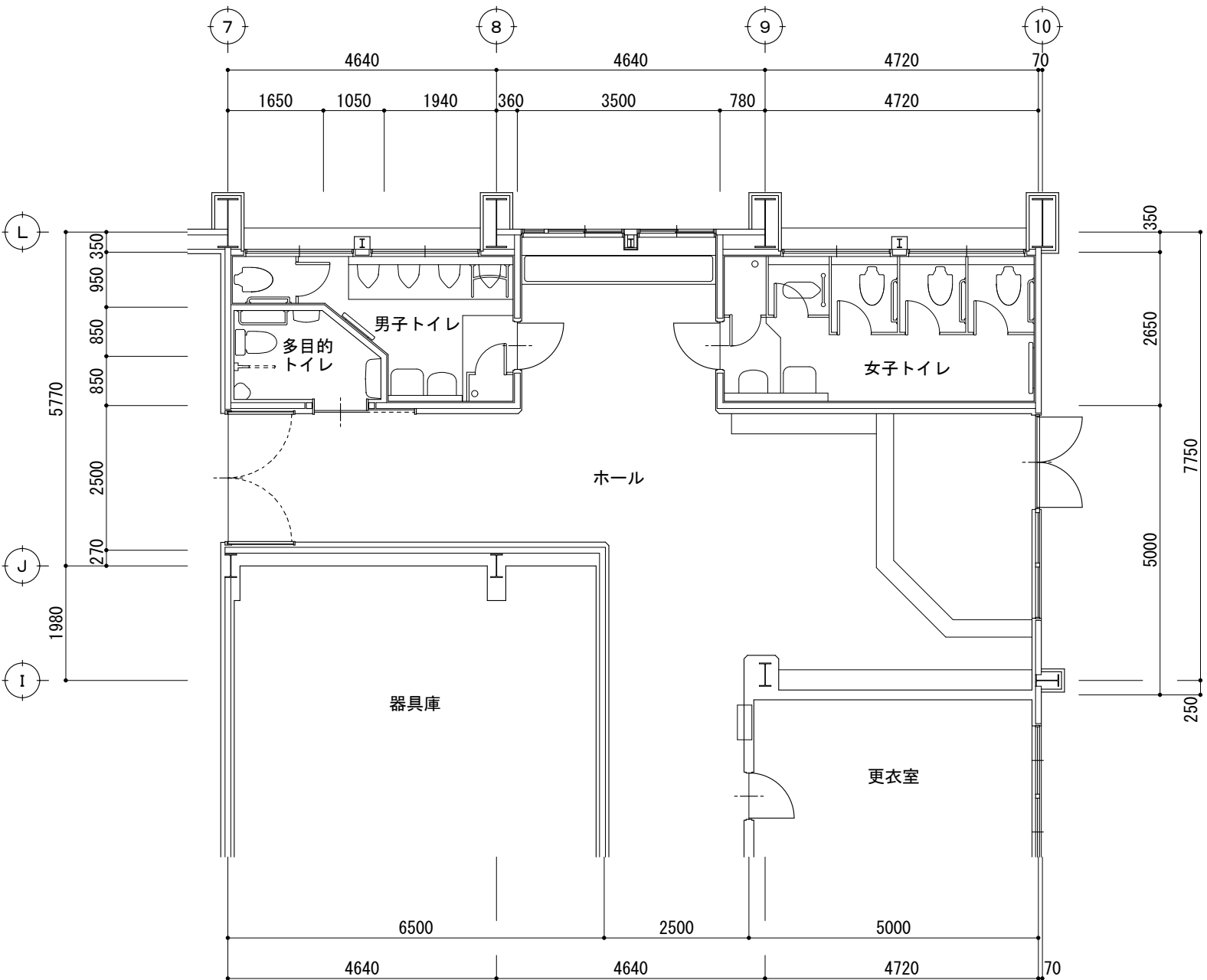
凡 例	
ＧＢ-S	：シージング(防水)石膏ボード
ＧＢ-D	：化粧石膏ボード
ＳＵＳ	：ステンレス SUS304(HL)
ＣＢ	：コンクリートブロック(Ｃ種)
ＳＯＰ	：合成樹脂ペイント(２回塗)
ＥＰ	：艶消合成樹脂エマルションペイント(２回塗)

特記事項
(１) 本建築物に使用されているアスベスト含有建材は次とする。
・内装天井仕上材(珪酸カルシウム板) ※見なし判定
(２) アスベスト含有建材の除去方法は次とする。
・非破砕除去工法(非飛散性アスベスト含有成形板) ※レベル３
(３) 建築物解体に先立ちアスベスト含有建材に指定しているもの以外が存在しないか事前調査を行うこと。なお、設計時は見なし判定としている建材は改めて事前調査を行い含有の無いことが確認できれば普通廃棄物として処分できる。

表中凡例
(※１) 非破砕除去工法によるアスベスト除去を行う建材を示す。

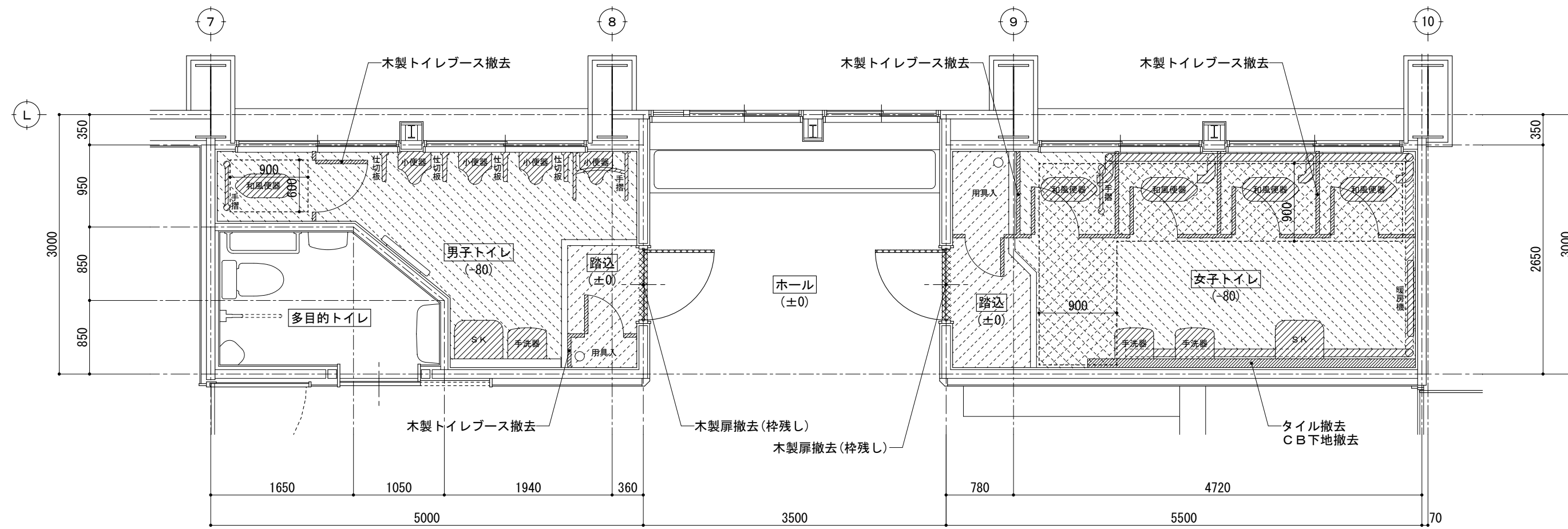


改修前 1 階平面図 1/100



改修後 1 階平面図 1/100

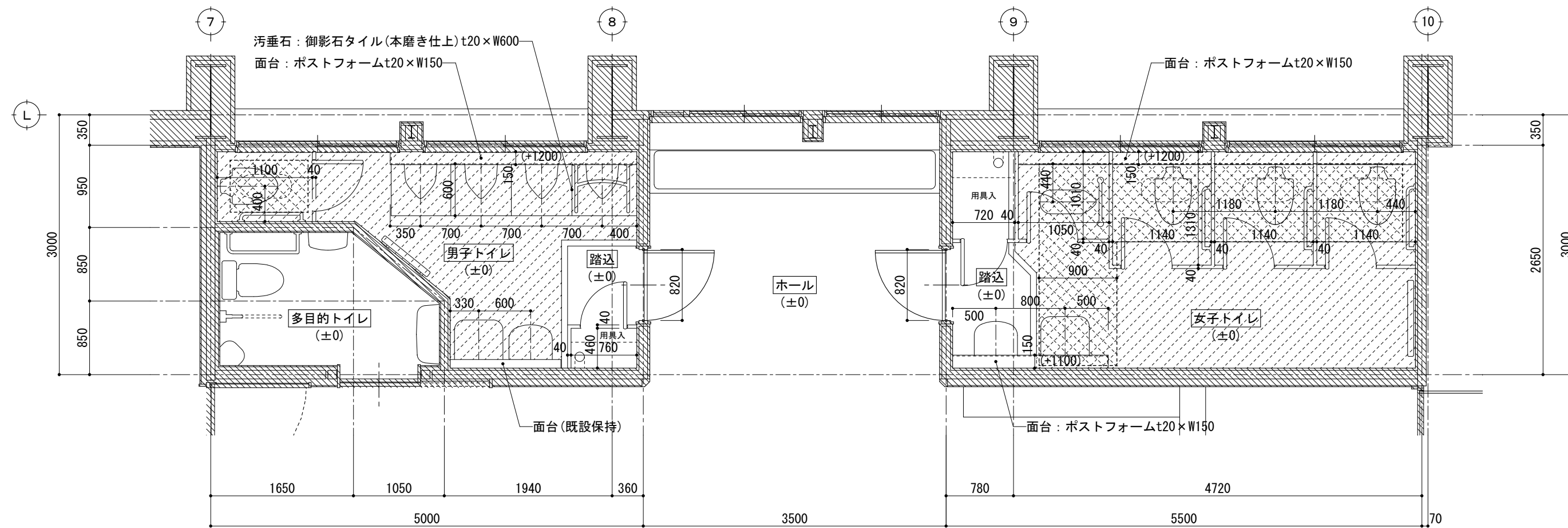
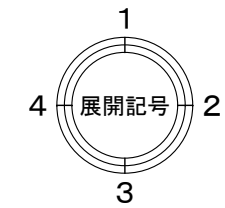
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	屋内運動場 1 階平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 2 3 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



- 凡 例
- 床仕上撤去 (床用タイル)
 - 床仕上撤去 (ビニル床シート)
 - 土間コンクリート撤去
※周囲カッター入れ
 - 分離発注工事 (機械設備)
衛生器具等撤去 (付属品・配管撤去を含む)

改修前 平面詳細図 1/50

()内はホールF.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

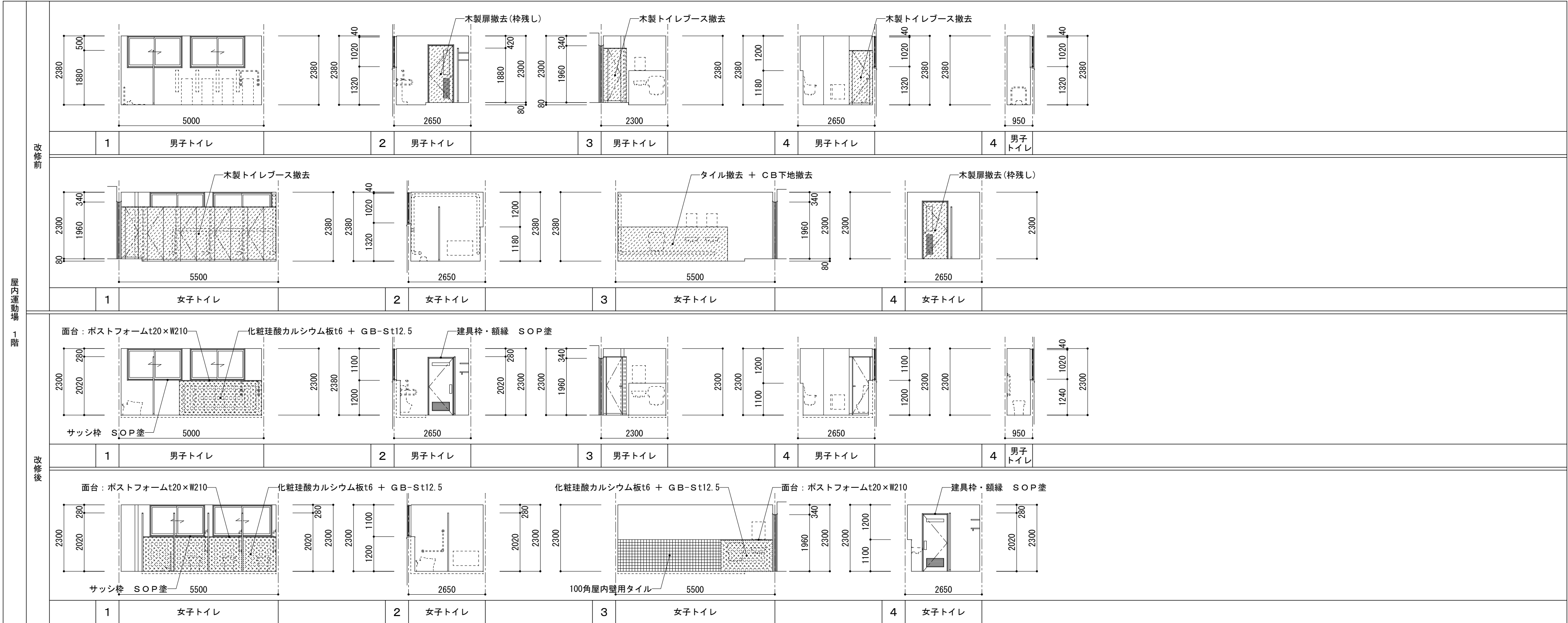


- 凡 例
- 床嵩上げ部分を示す。
増打コンクリートt90~100
 - 土間コンクリートt120 (Fc18-18-25 (N))
鉄筋D10@200S (差筋アンカーD10@200)
防湿シートt0.15
砕石t150 (RC-40)

改修後 平面詳細図 1/50

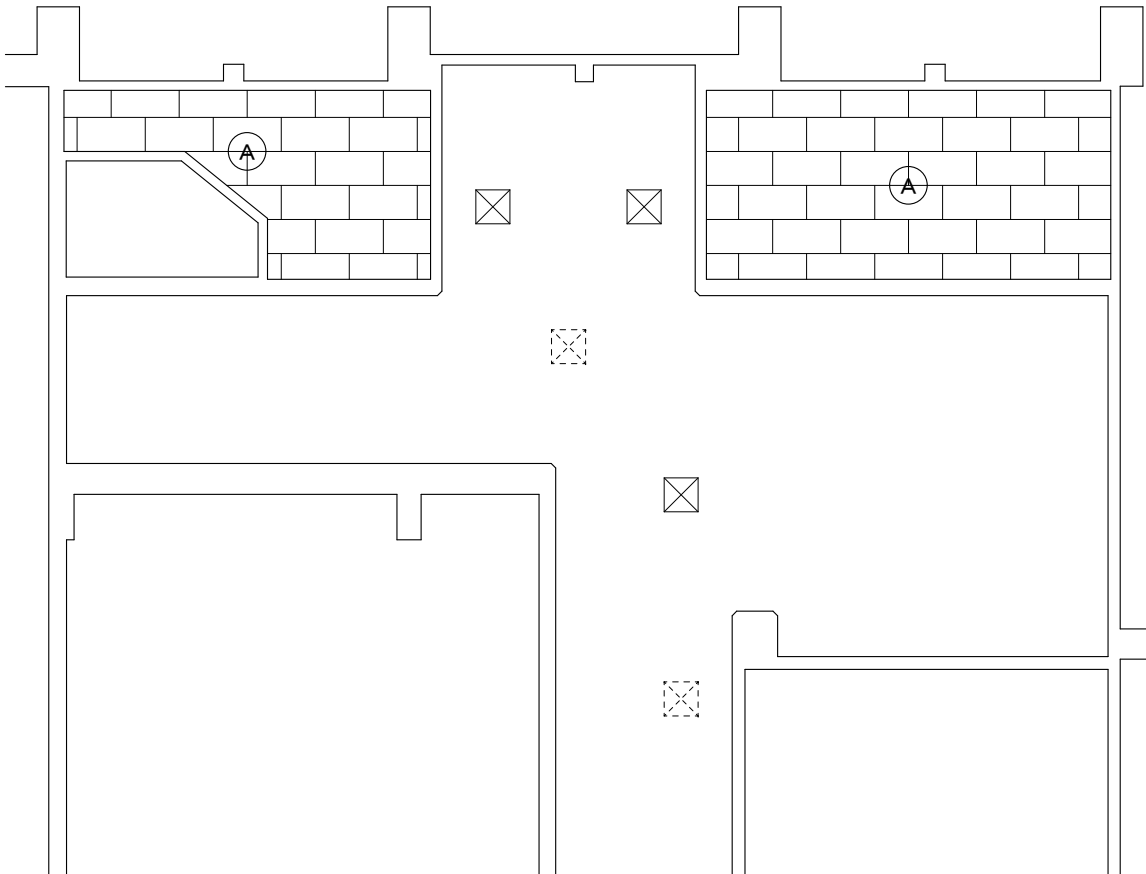
()内はホールF.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	屋内運動場 1階トイレ平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 5 枚の内 2 4 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



既設壁タイルについて

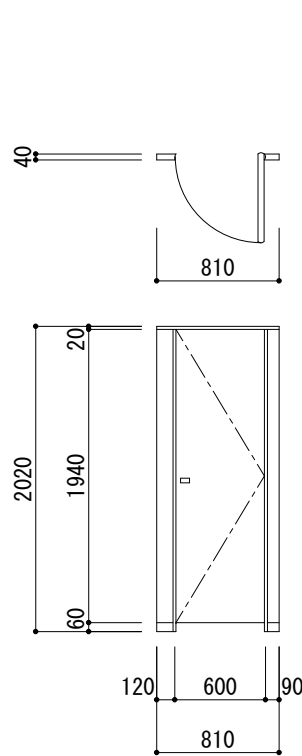
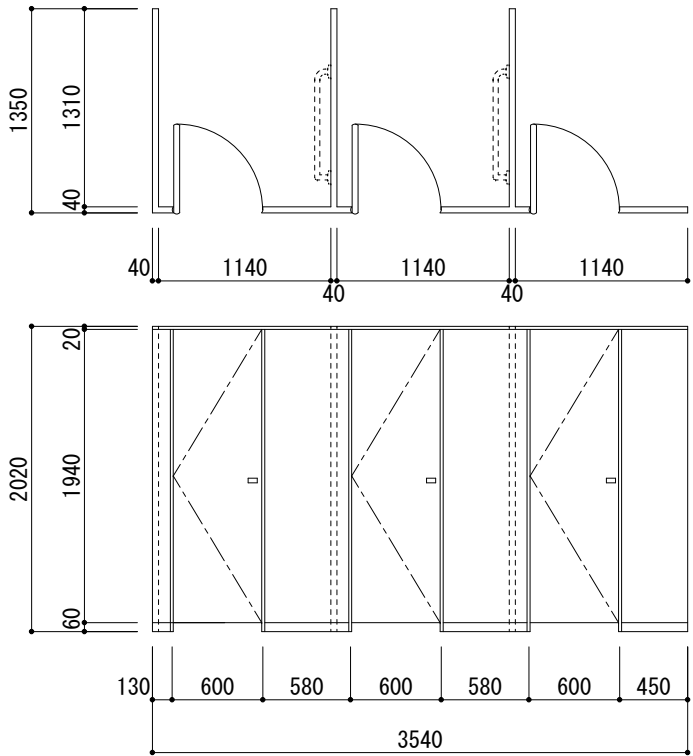
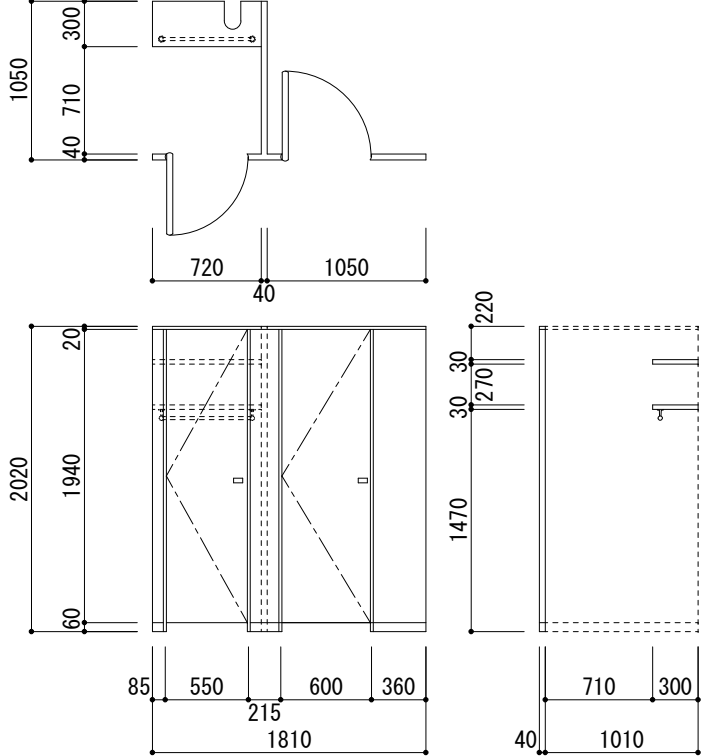
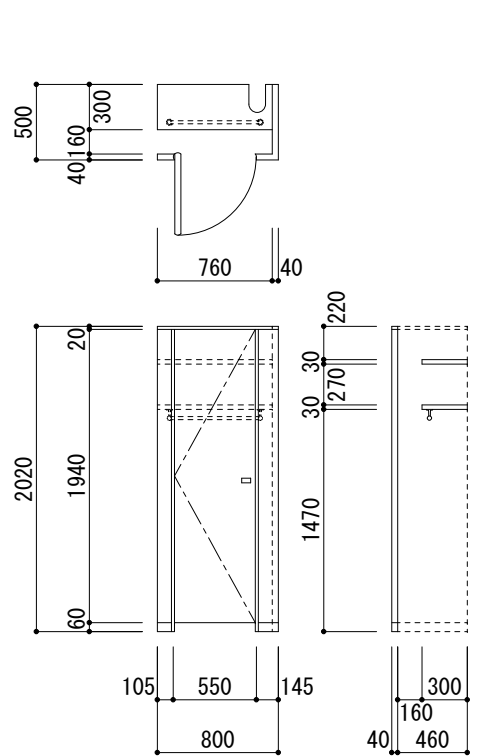
- ・既設衛生器具等の撤去により損傷が残るタイルは全て撤去新設とする。
- ・壁タイル撤去新設を行う面積は各トイレにつき1.0㎡程度とする。

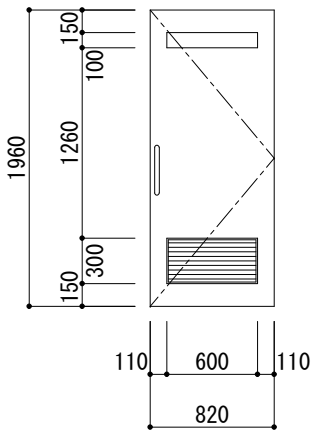


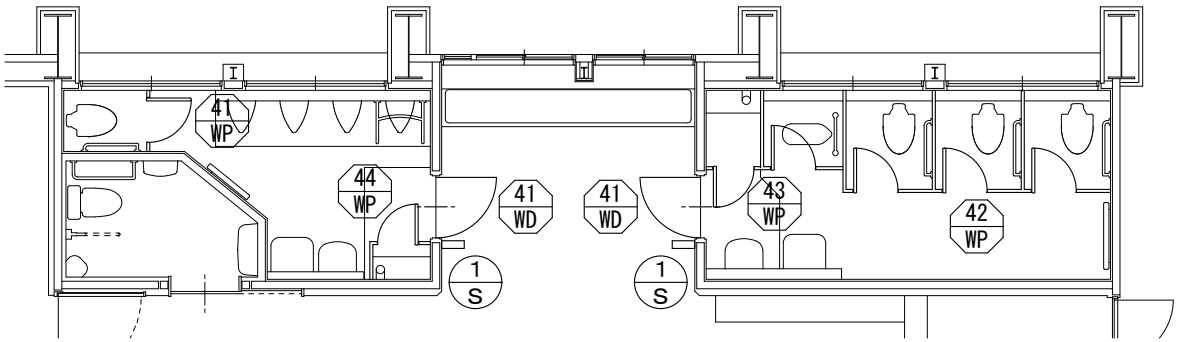
1階天井伏図 1/100

天井仕上一覧表			
Ⓐ	改修前	珪酸カルシウム板t6(撤去) パーライト吹付(撤去)	
	改修後	軽量鋼製天井下地(撤去) GB-D(ジブトーン)t9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	
ⓧ	改修後	天井点検口：アルミ製450角(天井仕上同材質)	

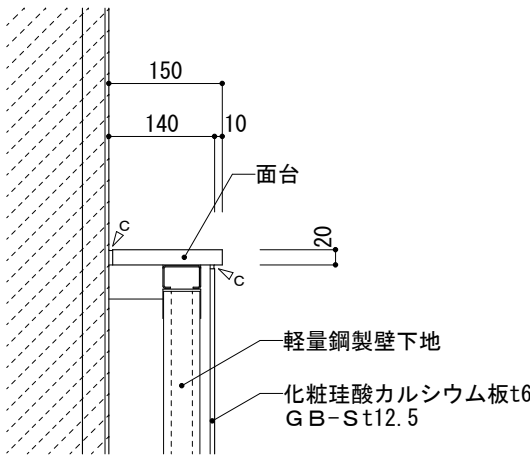
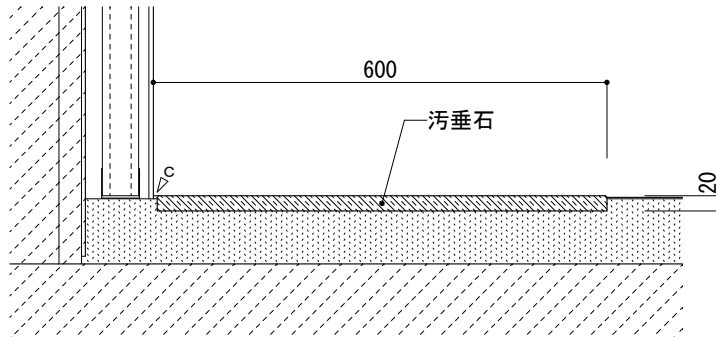
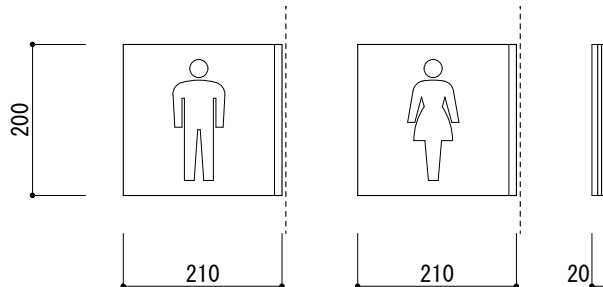
工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	屋内運動場トイレ展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 2 5 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	WP-4 1	片開き戸ブース	WP-4 2	3連片開き戸ブース	WP-4 3	2連片開き戸ブース	WP-4 4	片開き戸ブース		
数量・室名	1台	男子トイレ	1台	女子トイレ	1台	女子トイレ(用具入)	1台	男子トイレ(用具入)		
姿 図										
仕 上	メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、笠木：アルミ製H20、巾木：SUS製H60			
ガ ラ ス	—		—		—		—			
金 物	スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当、取手 モップ掛：SUS製φ19×L600(Sカン×5ヶ)		グレビティヒンジ、取手 モップ掛：SUS製φ19×L600(Sカン×5ヶ)			
備 考	常時開放式		常時開放式 ※手摺下地は建具工事とする。		常時開放式(トイレ)、常時閉鎖式(用具入)		常時閉鎖式			

符号・名称	WD-4 1	片開き戸
数量・室名	右勝手：1台 左勝手：1台	踏込
姿 図		
仕 上	ポリ合板t2.5フラッシュ 小口・ガラス縁：ムク材t5 SOP塗	
ガ ラ ス	型板ガラスt4	
金 物	ドアハンドル：SUS製H300、押板：SUS製 丁番、ドアチェック、ドアガリ：アルミ製W600×H200	
備 考	既設ラッチ穴埋め	



屋内運動場トイレ キープラン

名 称	面台詳細図 1/10		汚垂石詳細図 1/10	
姿 図				
仕 様	面台：ポストフォーム(耐水MDF芯)t20×W150 軽量鋼製壁下地(LGS50)		汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600	
符号・名称	S－1	案内サイン(突出型)		
数量・室名	2台	ホール(トイレ前)		
姿 図				
仕 様	プレート：亚克力板製 UV印刷 枠：SUS製 壁面ビス留め			

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	屋内運動場トイレ建具表・部分詳細図		
縮 尺	1/50・1/10	番 号	35枚の内 26号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

電気設備工事仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

国府中学校トイレ改修工事 (建築)

2. 工事場所

高山市国府町三日町地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考		
普通教室棟	R C	3階	5046.28	7項 ()	改修		
管理棟		4階					
特別教室棟	R C	2階	2046.75				
屋内運動場							

4. 工事項目

工事項目

建物名称

普通教室棟

管理棟

特別教室棟

屋内運動場棟

棟

棟

屋外その他

☐ 高圧受変電設備

☐ 自家発電設備

①

幹線設備

動力設備

②

電灯設備

☐ 照明設備

☐ コンセント設備

☐ 電気暖房設備

☐ 放送、電気時計設備

・館内放送 設備

・ 設備

☐ 電気時計設備

・電話用配線設備

・LAN用配線設備

☐ 表示、警報設備

・トイレ呼出表示設備

・警備保障会社用配管設備

・I T V設備

☐ インターホン設備

テレビ共聴設備

防災設備

自動火災報知設備

自動閉鎖装置設備

ガス漏れ警報設備

誘導灯設備

非常用照明設備

非常警報設備

漏電火災警報設備

☐ 避雷針設備

☐ 構内配電線路 (強電)

☐ 構内配電線路 (弱電)

☐ 太陽光発電設備

5. 別途工事

・建築工事

☐ 機械設備工事

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

☐ 印のみ適用する

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

☐ 工事請負契約書

☐ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)

最新版

(国土交通大臣官庁営繕部監修)

☐ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)

最新版

(国土交通大臣官庁営繕部監修)

☐ 公共建築改修工事標準仕様書

最新版

(国土交通大臣官庁営繕部監修)

☐ 内線規程

最新版

(電気技術基準調査委員会編纂)

☐ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様

(項目は番号に ☐ 印記入のもの、選択式の特記事項は ☐ 印のみ適用する)

	項目	特記事項													
留意事項	① 適用範囲 (1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書 (質疑応答書を含む) に記載されていない事項は全て国土交通大臣官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (最新版) による。設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 <div>1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書 (添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書</div>													
	② 適用範囲 (2)														
	③ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。 使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意して資材の選定を行うこと。 厚生労働省における「厚生労働省指針」に従いホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の基準値を定める。 <table><thead><tr><th>測定対象化学物質</th><th>厚生労働省の指針値 (25℃の場合)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ホルムアルデヒド</td><td>0.08ppm (100μg/m³) 以下</td></tr><tr><td>トルエン</td><td>0.07ppm (260μg/m³) 以下</td></tr><tr><td>キシレン</td><td>0.05ppm (200μg/m³) 以下</td></tr><tr><td>エチルベンゼン</td><td>0.88ppm (3800μg/m³) 以下</td></tr><tr><td>ステレン</td><td>0.05ppm (220μg/m³) 以下</td></tr><tr><td>パラジクロロベンゼン</td><td>0.04ppm (240μg/m³) 以下</td></tr></tbody></table>	測定対象化学物質	厚生労働省の指針値 (25℃の場合)	ホルムアルデヒド	0.08ppm (100μg/m ³) 以下	トルエン	0.07ppm (260μg/m ³) 以下	キシレン	0.05ppm (200μg/m ³) 以下	エチルベンゼン	0.88ppm (3800μg/m ³) 以下	ステレン	0.05ppm (220μg/m ³) 以下	パラジクロロベンゼン
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値 (25℃の場合)														
ホルムアルデヒド	0.08ppm (100μg/m ³) 以下														
トルエン	0.07ppm (260μg/m ³) 以下														
キシレン	0.05ppm (200μg/m ³) 以下														
エチルベンゼン	0.88ppm (3800μg/m ³) 以下														
ステレン	0.05ppm (220μg/m ³) 以下														
パラジクロロベンゼン	0.04ppm (240μg/m ³) 以下														
④ 使用資材															
⑤ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物															
⑥ 発生材処理	受注者は産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類を提出及び確認する。また、処理施設の現地確認及び建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。なお、廃棄物マニフェストE票の写しを監督員に提出すること。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理すること。 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了後には同計画書の実施報告書を監督員に提出すること。 工事に伴い発生する建設廃棄物の内で次のものは再資源化施設へ搬出すること。 <div><div><input type="radio"/> コンクリート塊</div><div>・アスファルトコンクリート塊</div><div>・木屑</div><div>・石膏ボード屑</div><div><input type="radio"/> 鉄・アルミ・ステンレス屑</div><div>・ガラス・陶磁器屑</div><div>・繊維屑</div><div><input type="radio"/> プラスチック屑類</div></div> 下記の資材については再生資材を使用すること。 <table><thead><tr><th>資材名</th><th>規格</th><th>使用場所</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	資材名	規格	使用場所											
資材名	規格	使用場所													
一般事項	⑦ 再生資源の利用計画														
	⑧ 再資源化施設への搬出														
	9 再生資材の利用														
	① 工事着手前協議	受注者は契約後2週間以内に設計書内容について監督員と工事着手前協議を行うこと。 協議にあたっては、施工打合せ記録簿に協議事項を記入し打合せに持参すること。尚、協議日の設定については、受注者が事前に監督員と連絡をとり設定すること。 協議には、発注者側より監督員及び係長又は課長が、受注者側より現場代理人及び主任技術者が出席する。 協議時において施工打合せ記録簿の回答欄は監督員が記入し、最後に監督員及び係長又は課長の確認印を押印する。また、その写しは現場代理人 (主任技術者) が受け取ること。 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り及び取合いの変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議しその指示に従うこと。 工事内容に変更が生じる時は、協議書予め提出して承認を受けた後に変更工事に着手すること。尚、この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、工術上必要な微細な工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工すること。 受注者は監督員から建築士事務所等に委託した工事監理者等が通知された場合には下記に従う。 <div>1) 工事監理者等が現場で立会い等の臨場をする場合にはその業務に協力する。又、書類 (工事関係図書、施工図等) の提出に関し説明を求められた場合にはこれに応じる。</div> <div>2) 監督員から受注者に対する指示又は通知等を工事監理者等を通じて行う場合があるため、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等として取扱う。</div> <div>3) 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知等は工事監理者等を通じて行うことができるものとする。</div> 下記の項目については監督員の立会検査を受ける。尚、検査立会記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。 <div><input type="radio"/> 各種製品検査 <input type="radio"/> 各種仕上検査 <input type="radio"/> 段階確認 <input type="radio"/> 完成前検査</div>													
	② 設計図書との差異														
	③ 変更														
一般事項	④ 工事監理者等														
	⑤ 立会検査														
一般事項	⑥ 電子メールの利用														
	⑦ 工事書類の簡素化														
	⑧ 提出書類														
	⑨ 施工計画書等														
	⑩ 材料試験														
一般事項	⑪ 指定材料の承認														
	⑫ 施工図														
	⑬ 完成図														
	⑭ 工事写真														
	⑮ 手続き														
	⑯ 建設工事保険														
一般事項	⑰ 工事保証														
	⑱ 工事実績データ														
	⑲ 下請負契約														
	⑳ 重点監督対象工事														
	㉑ 実施状況の提出														
	22 適正燃料の使用														
電気設備工事	23 週休二日制工事の実施														
	1 工事方法	<div><input type="radio"/> 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。</div> <div><input type="radio"/> 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。</div> <div><input type="radio"/> 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はP F 2.2を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合はC-2.5とする)</div> <div><input type="radio"/> 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線 (1.2m/㎡ビニル被覆鉄線) を挿入する。</div> <div><input type="radio"/> 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗る)</div> <div><input type="radio"/> 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。</div> <div><input type="radio"/> 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。</div> <div><input type="radio"/> 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。</div>													

電気設備工事

② 改修工事注意事項

④ 工事中の既設設備

⑤ 配線器具

⑥ フラッシュプレート

⑦ はつり

⑧ 耐震施工

工事名

国府中学校トイレ改修工事 (建築)

図名

電気設備工事仕様書

縮尺

N/S

番号

35枚の内 27号

設計年月日

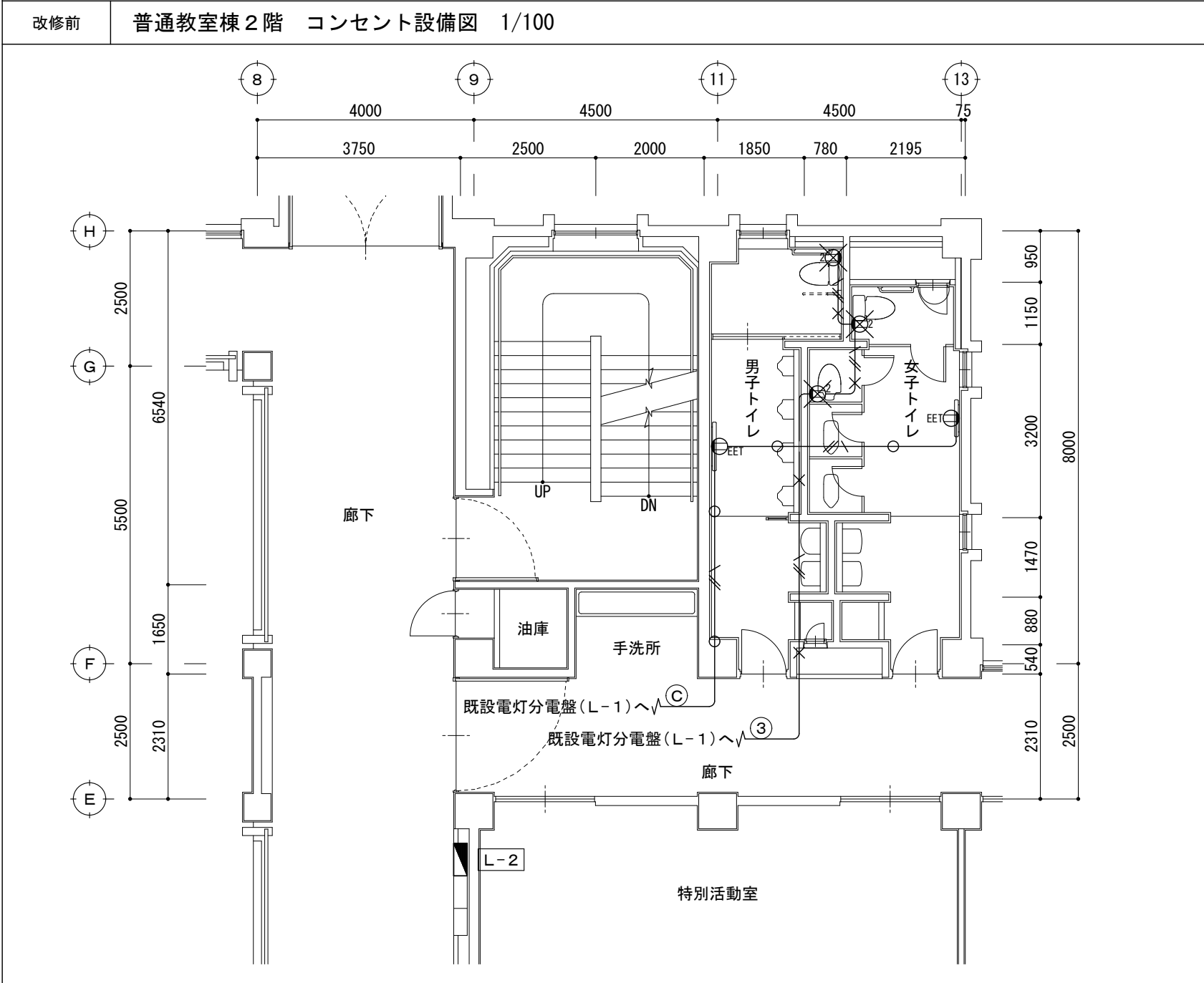
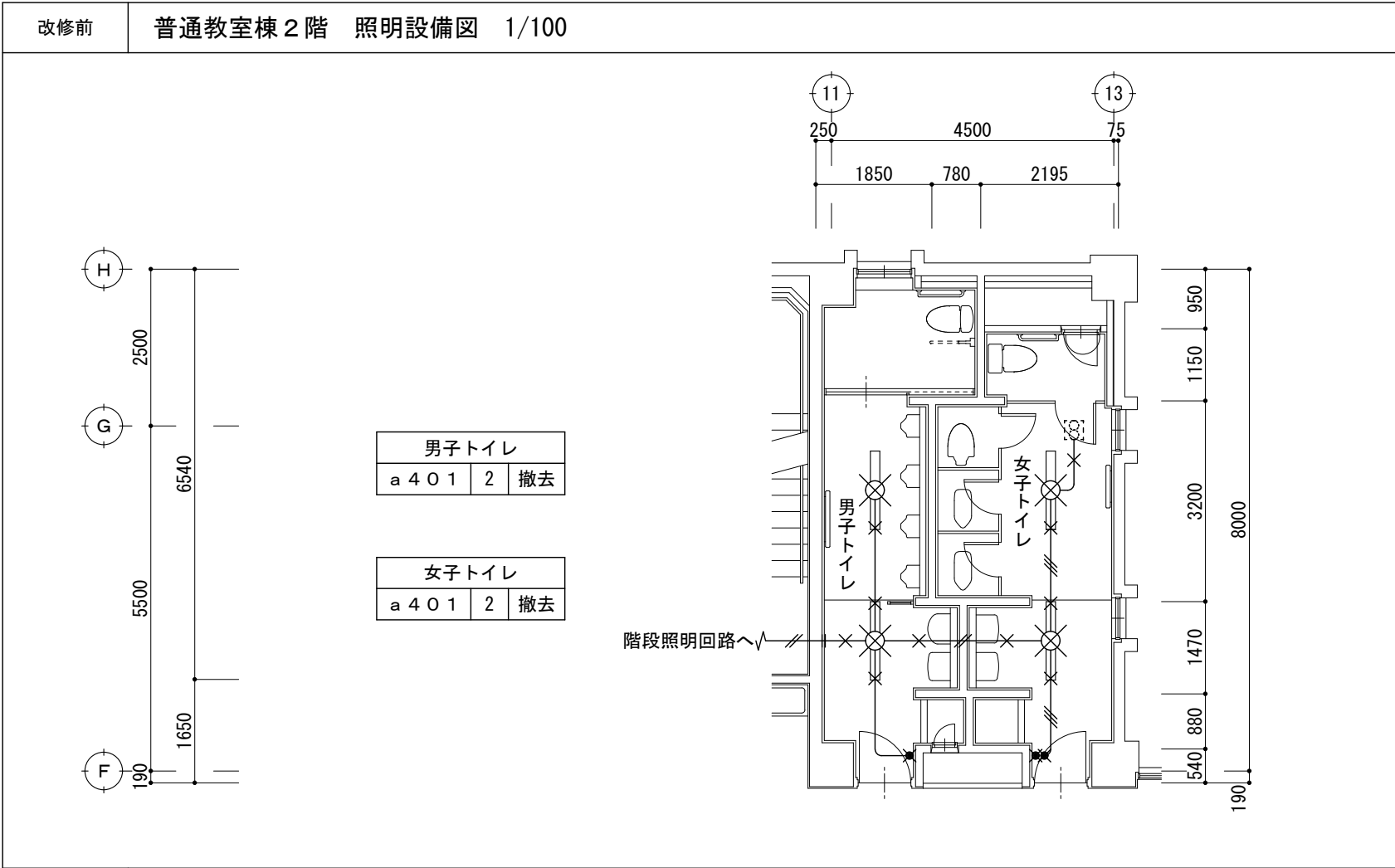
令和7年 3月

設計

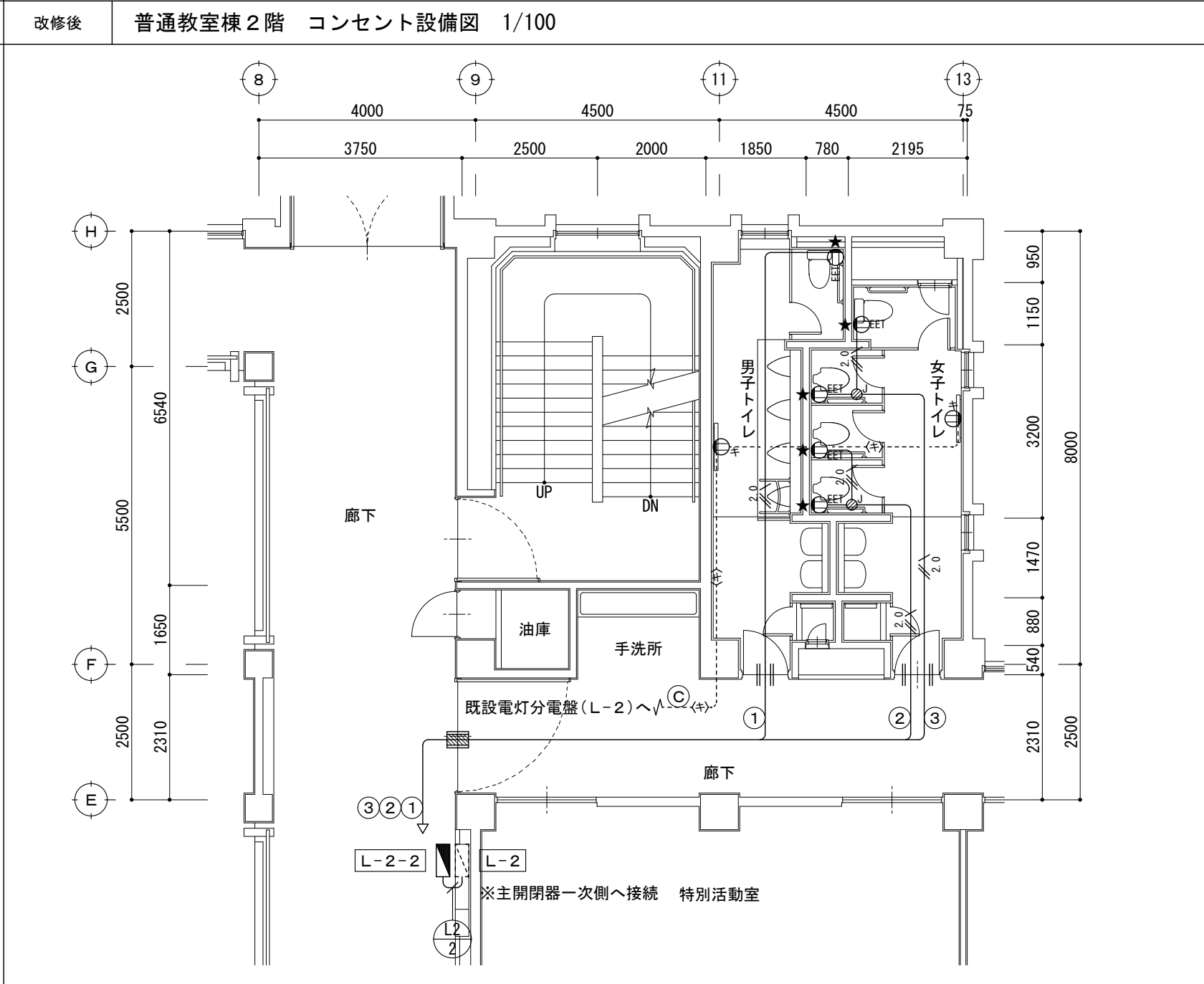
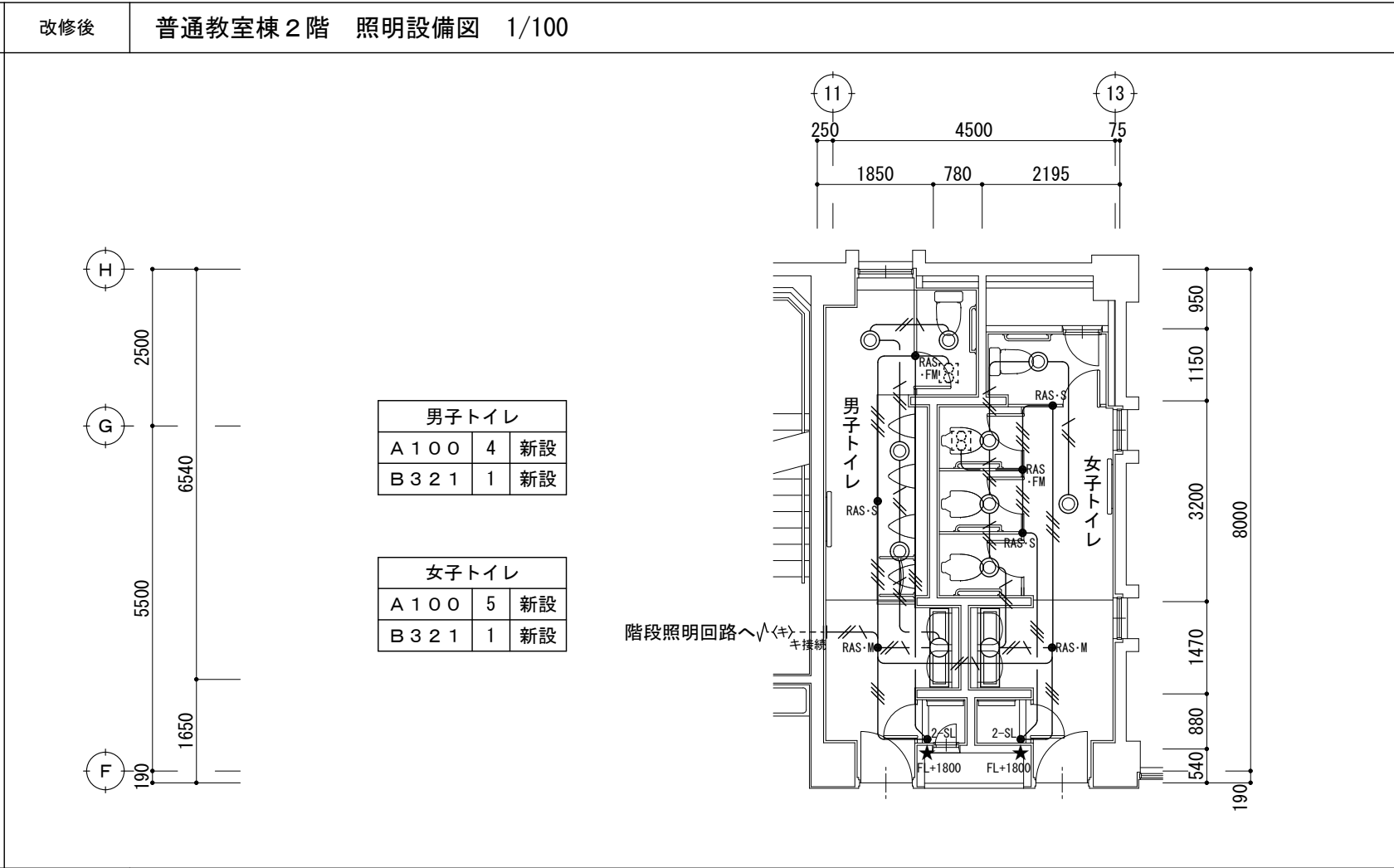
有限会社アブデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀

高山市

新設 電灯分電盤結線図																																					
名 称 ・ 仕 様		結 線 図	分 岐 回 路												備 考	名 称 ・ 仕 様		結 線 図	分 岐 回 路												備 考						
			回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器				リモコンリレー		負 荷 名 称	負荷容量 (KW-VA)							回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器				リモコンリレー		負 荷 名 称	負荷容量 (KW-VA)									
			①	②	③	④	○	○	P	AF	AT	1P20A	2P20A			電灯	コンセント	空調機	その他		①	②	③	④	○	○	P	AF	AT	1P20A	2P20A			電灯	コンセント	空調機	その他
分電盤名称	L-1-1	1φ3W 200/100V -----X	①	100		○	2P1E	30	20																												
キャビネット形式	露出・埋込両用型		②	100		○	2P1E	30	20																												
	銅板製 焼付塗装		③	100		○	2P1E	30	20																												
	市販品 鍵付		④	100		○	2P1E	30	20																												
電気方式	相線		○	100-200			2P E	30																													
	電圧		○	100-200			2P E	30																													
負荷容量																																					
主幹器具	種類																																				
	中性線欠相保護付																																				
	定格電流																																				
幹線	種別																																				
	入線方向																																				
備考																																					
W:350、H320、D:95		MODEL) HMD3N4-42 ※分岐開閉器は 全てELCBに組替																																			
キー付平面ハンドル																																					
取付高：盤上面＝天井面																																					
分電盤名称	L-2-2	1φ3W 200/100V -----X	①	100		○	2P1E	30	20																												
キャビネット形式	露出・埋込両用型		②	100		○	2P1E	30	20																												
	銅板製 焼付塗装		③	100		○	2P1E	30	20																												
	市販品 鍵付		④	100		○	2P1E	30	20																												
電気方式	相線		○	100-200			2P E	30																													
	電圧		○	100-200			2P E	30																													
負荷容量																																					
主幹器具	種類																																				
	中性線欠相保護付																																				
	定格電流																																				
幹線	種別																																				
	入線方向																																				
備考																																					
W:350、H320、D:95		MODEL) HMD3N4-42 ※分岐開閉器は 全てELCBに組替																																			
キー付平面ハンドル																																					
取付高：盤上面＝天井面																																					
分電盤名称	L-3-1	1φ3W 200/100V -----X	①	100		○	2P1E	30	20																												
キャビネット形式	露出・埋込両用型		②	100		○	2P1E	30	20																												
	銅板製 焼付塗装		③	100		○	2P1E	30	20																												
	市販品 鍵付		④	100		○	2P1E	30	20																												
電気方式	相線		○	100-200			2P E	30																													
	電圧		○	100-200			2P E	30																													
負荷容量																																					
主幹器具	種類																																				
	中性線欠相保護付																																				
	定格電流																																				
幹線	種別																																				
	入線方向																																				
備考																																					
W:350、H320、D:95		MODEL) HMD3N4-42 ※分岐開閉器は 全てELCBに組替																																			
キー付平面ハンドル																																					
取付高：盤上面＝天井面																																					
分電盤名称	L-2-3	1φ3W 200/100V -----X	①	100		○	2P1E	30	20																												
キャビネット形式	露出・埋込両用型		②	100		○	2P1E	30	20																												
	銅板製 焼付塗装		③	100		○	2P1E	30	20																												
	市販品 鍵付		④	100		○	2P1E	30	20																												
電気方式	相線		○	100-200			2P E	30																													
	電圧		○	100-200			2P E	30																													
負荷容量																																					
主幹器具	種類																																				
	中性線欠相保護付																																				
	定格電流																																				
幹線	種別																																				
	入線方向																													</							



注記 1) 撤去工事概要	今回工事 配線・配管を示す。
・事前に施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工する。	既設 配線・配管を示す。
・機器撤去に伴い不要となる配線・配管は原則として全て撤去する。	今回工事 機器を示す。
・取外再取付する機器は清掃及び絶縁測定を行い再利用する。	既設 機器を示す。
・既設を現状のまま再利用する機器及び配線は絶縁測定を行う。	既設配線に接続を示す。
	既設機器に新設配線接続を示す。
配線：撤去 配管：撤去又は既設保持を示す。	防火区画貫通部を示す。 ※RC壁部のコア抜きを行う。
配線・配管：既設保持を示す。	金属製電線管で保護 又は 国土交通大臣認定工法による措置
撤去 機器を示す。	コア抜き部を示す。
取外(再取付) 機器を示す。	ダクト換気扇 納入・取付：機械設備工事
	換気扇 納入・取付：機械設備工事



① 露出コンセント (2P15A x 1)	線種記入なきは下記とする。	配 管
② 露出コンセント (2P15A x 2)	記 号	RC打込部 屋内露出部 屋外露出部
③ EET 露出コンセント (2P15A x 1) E 極・E T 付	EM-EEF 1.6-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
④ ジョイントボックス QB102x54(ブランクカバー付)	EM-EEF 1.6-3C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
⑤ 埋込スイッチ (1P15A x 1)	EM-EEF 1.6-2C x 2	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
⑥ 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親機 明るさセンサ付 広角検知	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
⑦ 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 子機 広角検知	EM-EEF 2.0-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
⑧ 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 子機 換気扇連動端子付 開欠運転型	EM-EEF 1.6-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
⑨ 同上(自・切・手)切替スイッチ 1回路型 ガードプレート H:FL+1800	EM-EEF 2.0-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
⑩ 同上(自・切・手)切替スイッチ 2回路型 ガードプレート H:FL+1800	注記 2) 機器及び器具の取付位置、高さ等については施工時に打合せすること。	
★ ケーブル引下げ部の保護(1種金属線び(MM1-A))を示す。	注記 3) RC壁部に貫通配線が必要な場合は鉄筋探索の上でコア抜きとする。	

新設 照明器具一覧表

A 1 0 0	L E D × 1 (7.0W) (昼白色) 1020lm (FDL27W×1相当)
埋込穴：100φ 光源：拡散型	
MODEL) XLD1039SN LE9	
反射板(上部)	プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)	銅板(ホワイトつや消し仕上)
枠	銅板(ホワイトつや消し仕上)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)
B 3 2 1	L E D × 1 (20.6W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1相当)
埋込穴：W100	
MODEL) XLX430MENT LE9	
反射板	銅板(高反射白色粉体塗装)
ライトカバー	ポリカーボネート(乳白)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)

撤去・取外再取付 照明器具一覧表

記号	名 称	形 状	撤去内容	
			撤去	再利用
a 4 0 1	FL40W×1	直付型 逆富士型	○	

線路内訳表(幹線)					
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電圧	用 途	送り元
		壁隠ぺい部 壁露出部			(接続箇所)
① ②	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sqx2	PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	L-2-2	L-2

工 事 名	国府中学校トイレ改修工事(建築)				
図 名	普通教室棟 2 階照明・コンセント設備図				
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 3 0 号		
設 計 年月日	令和 7 年 3 月				
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀				
高 山 市					

改修前

普通教室棟3階 照明設備図 1/100

男子トイレ

a 4 0 1 2 撤去

女子トイレ

a 4 0 1 2 撤去

改修後

普通教室棟3階 照明設備図 1/100

男子トイレ

A 1 0 0 4 新設

B 3 2 1 1 新設

女子トイレ

A 1 0 0 5 新設

B 3 2 1 1 新設

改修前

普通教室棟3階 コンセント設備図 1/100

既設電灯分電盤(L-3)へ

既設電灯分電盤(L-3)へ

既設電灯分電盤(L-3)へ

油庫

手洗所

廊下

普通教室

改修後

普通教室棟3階 コンセント設備図 1/100

既設電灯分電盤(L-3)へ

既設電灯分電盤(L-3)へ

既設電灯分電盤(L-3)へ

油庫

手洗所

廊下

普通教室

新設 照明器具一覧表

A 1 0 0	L E D × 1 (7.0W) (昼白色) 1020lm (FDL27W×1相当)
埋込穴: 100φ 光源: 拡散型	
MODEL) XLD1039SN LE9	
反射板(上部)	プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)	銅板(ホワイトつや消し仕上)
枠	銅板(ホワイトつや消し仕上)
	ボルトフリー(100~242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)
B 3 2 1	L E D × 1 (20.6W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1相当)
埋込穴: W100	
MODEL) XLX430MENT LE9	
反射板	銅板(高反射白色粉体塗装)
ライトカバー	ポリカーボネート(乳白)
	ボルトフリー(100~242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)

撤去・取外再取付 照明器具一覧表

記号	名 称	形 状	撤去内容	
			撤去	再利用
a 4 0 1	FL40W×1	直付型 逆富士型	○	

線路内訳表(幹線)

番号	ケーブル・電線	配 管		相 電 圧	用 途	送り元 (接続箇所)
		壁隠べい部	壁露出部			
L3 1	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sqx2	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	L-3-1	L-3

工事名

国府中学校トイレ改修工事(建築)

図 名

普通教室棟3階照明・コンセント設備図

縮 尺

1/100

番 号

3 5 枚の内 3 1 号

設 計
年月日

令和7年 3月

設 計

有限会社アブデザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀

高 山 市

注記1) 撤去工事概要

・ 事前に施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工する。

・ 機器撤去に伴い不要となる配線・配管は原則として全て撤去する。

・ 取外再取付する機器は清掃及び絶縁測定を行い再利用する。

・ 既設を現状のまま再利用する機器及び配線は絶縁測定を行う。

今回工事 配線・配管を示す。

既設 配線・配管を示す。

今回工事 機器を示す。

既設 機器を示す。

既設配線に接続を示す。

既設機器に新設配線接続を示す。

防火区画貫通部を示す。 ※RC壁部のコア抜きを行う。

金属製電線管で保護 又は 国土交通大臣認定工法による措置

コア抜き部を示す。

ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事

換気扇 納入・取付: 機械設備工事

線種記入なきは下記とする。

記 号

ケーブル・電線

EM-EEF 1.6-2C

EM-EEF 1.6-3C

EM-EEF 1.6-2C x 2

EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C

EM-EEF 2.0-2C

EM-EEF 1.6-3C (1C:E)

EM-EEF 2.0-3C (1C:E)

注記2) 機器及び器具の取付位置、高さ等については施工時に打合せすること。

注記3) RC壁部に貫通配線が必要な場合は鉄筋探索の上でコア抜きとする。

配 管

RC打込部

壁内保護管

PF-S16

PF-S22

PF-S22

PF-S22

PF-S16

PF-S22

PF-S22

PF-S22

壁内露出部

MM1-A

MM1-A

MM1-A

MM1-A

MM1-A

MM1-A

屋外露出部

E-19

E-25

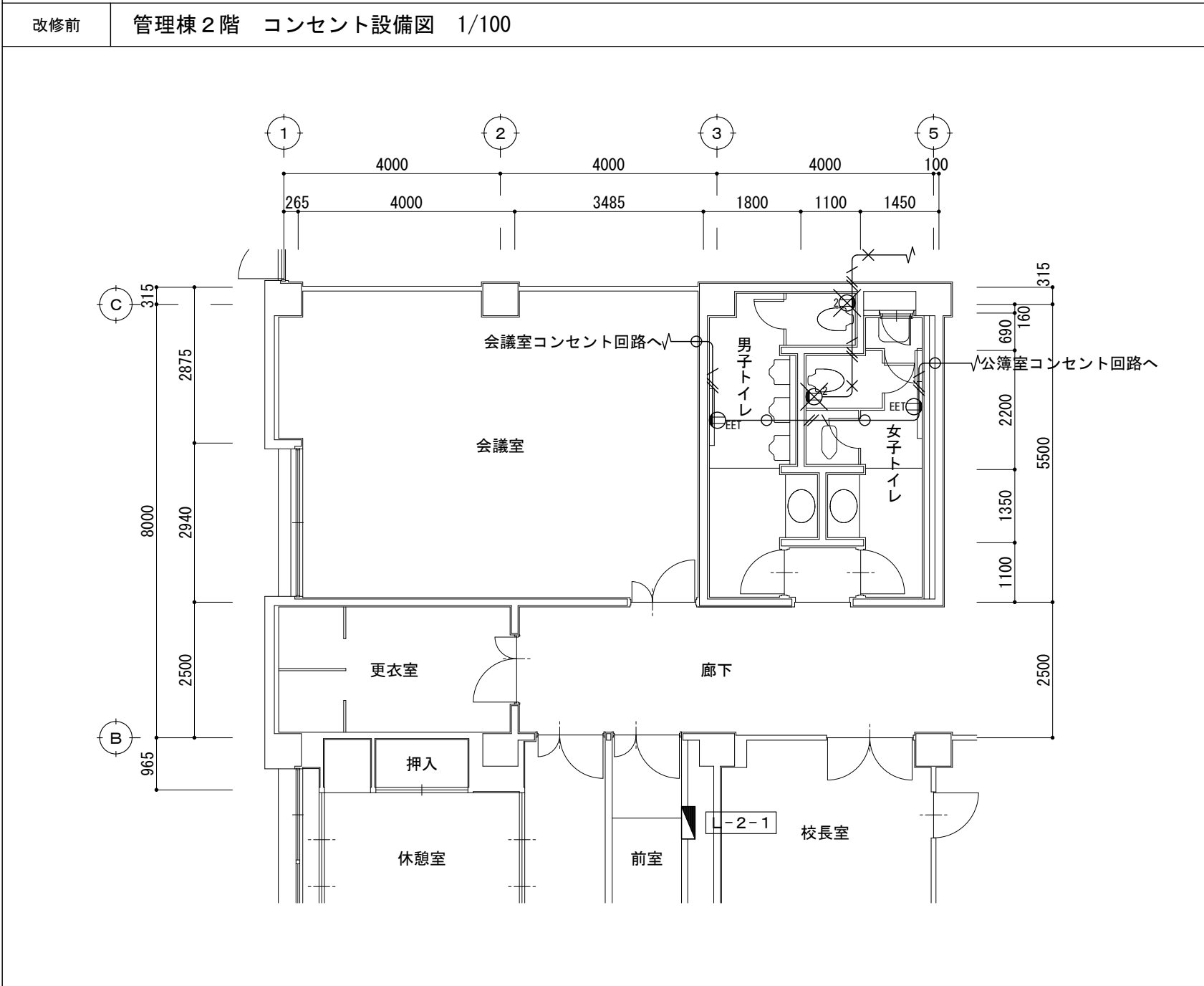
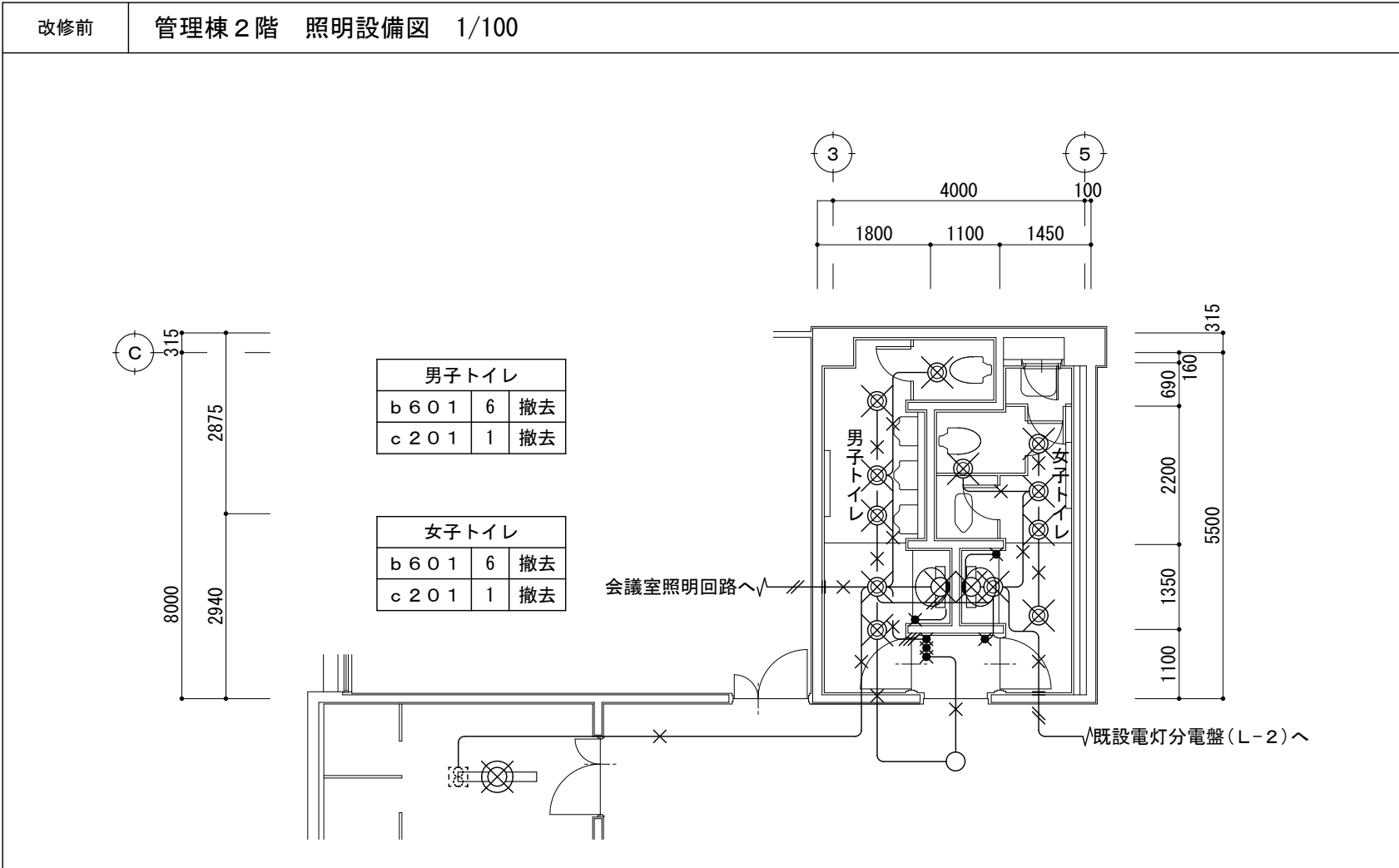
E-25

E-25

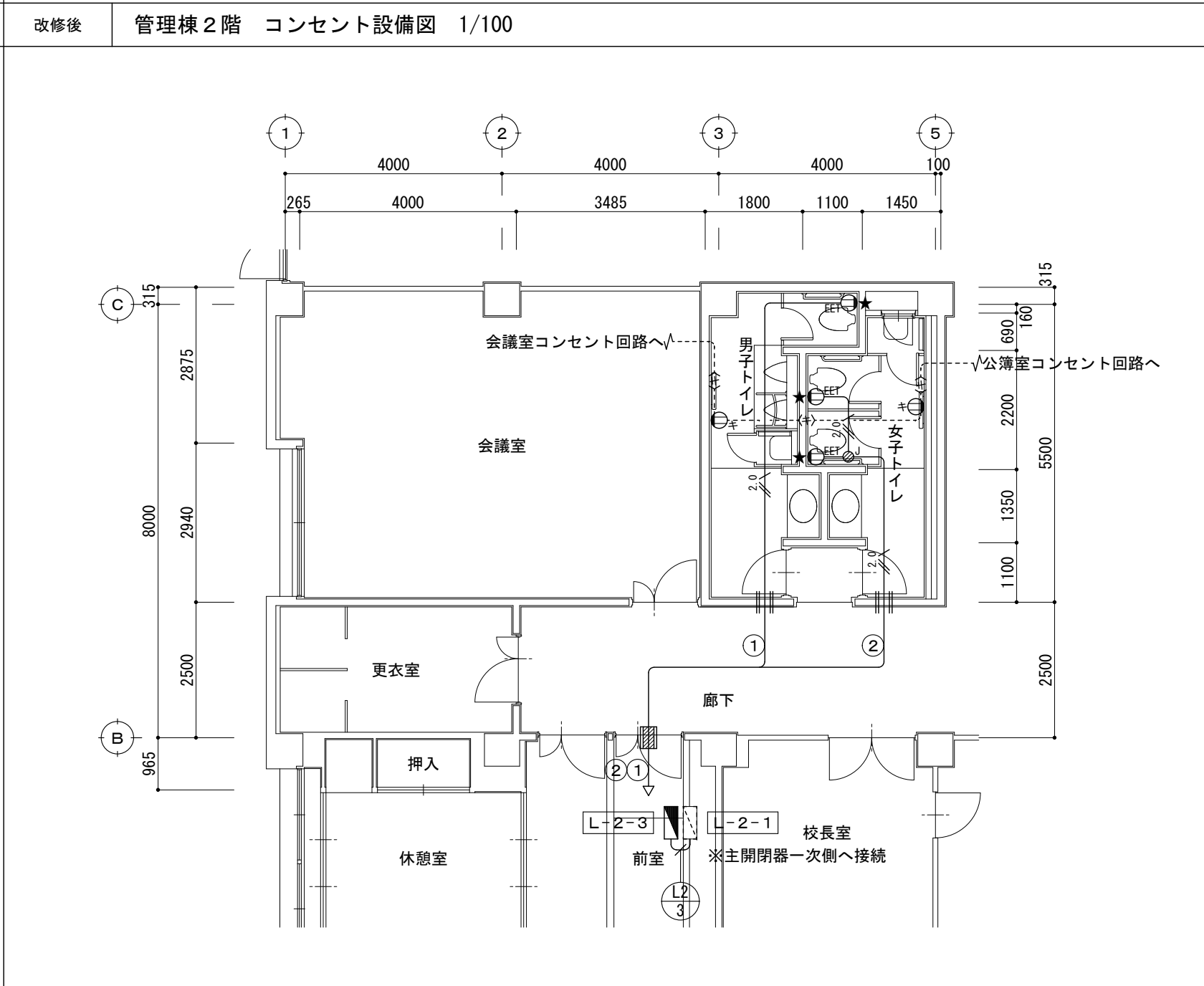
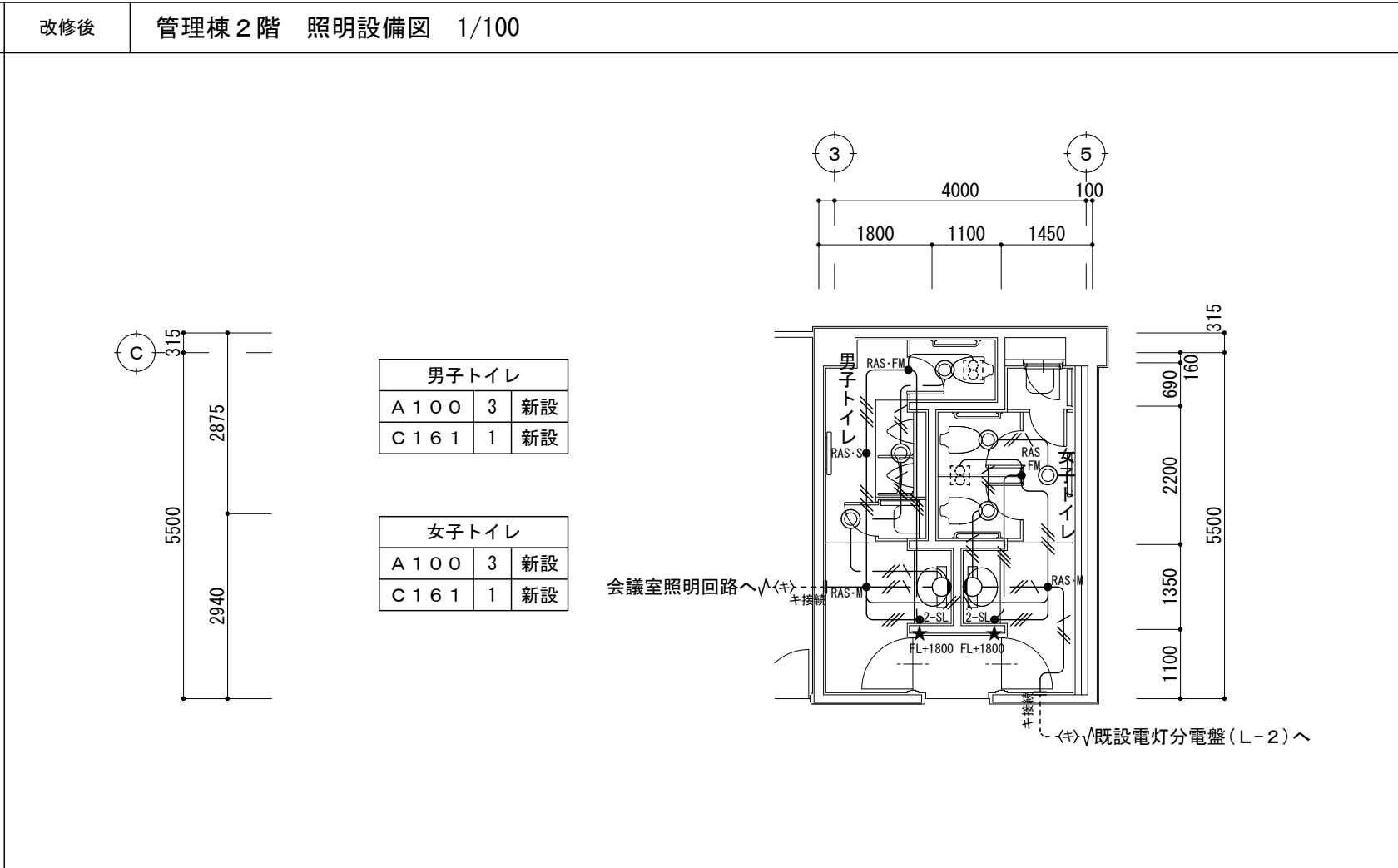
E-19

E-25

E-25



注記 1) 撤去工事概要	今回工事 配線・配管を示す。
・事前に施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工する。	既設 配線・配管を示す。
・機器撤去に伴い不要となる配線・配管は原則として全て撤去する。	今回工事 機器を示す。
・取外再取付する機器は清掃及び絶縁測定を行い再利用する。	既設 機器を示す。
・既設を現状のまま再利用する機器及び配線は絶縁測定を行う。	既設配線に接続を示す。
	既設機器に新設配線接続を示す。
配線：撤去 配管：撤去又は既設保持を示す。	防火区画貫通部を示す。 ※RC壁部のコア抜きを行う。
配線・配管：既設保持を示す。	金属製電線管で保護 又は 国土交通大臣認定工法による措置
撤去 機器を示す。	コア抜き部を示す。
取外(再取付) 機器を示す。	ダクト換気扇 納入・取付：機械設備工事
	換気扇 納入・取付：機械設備工事



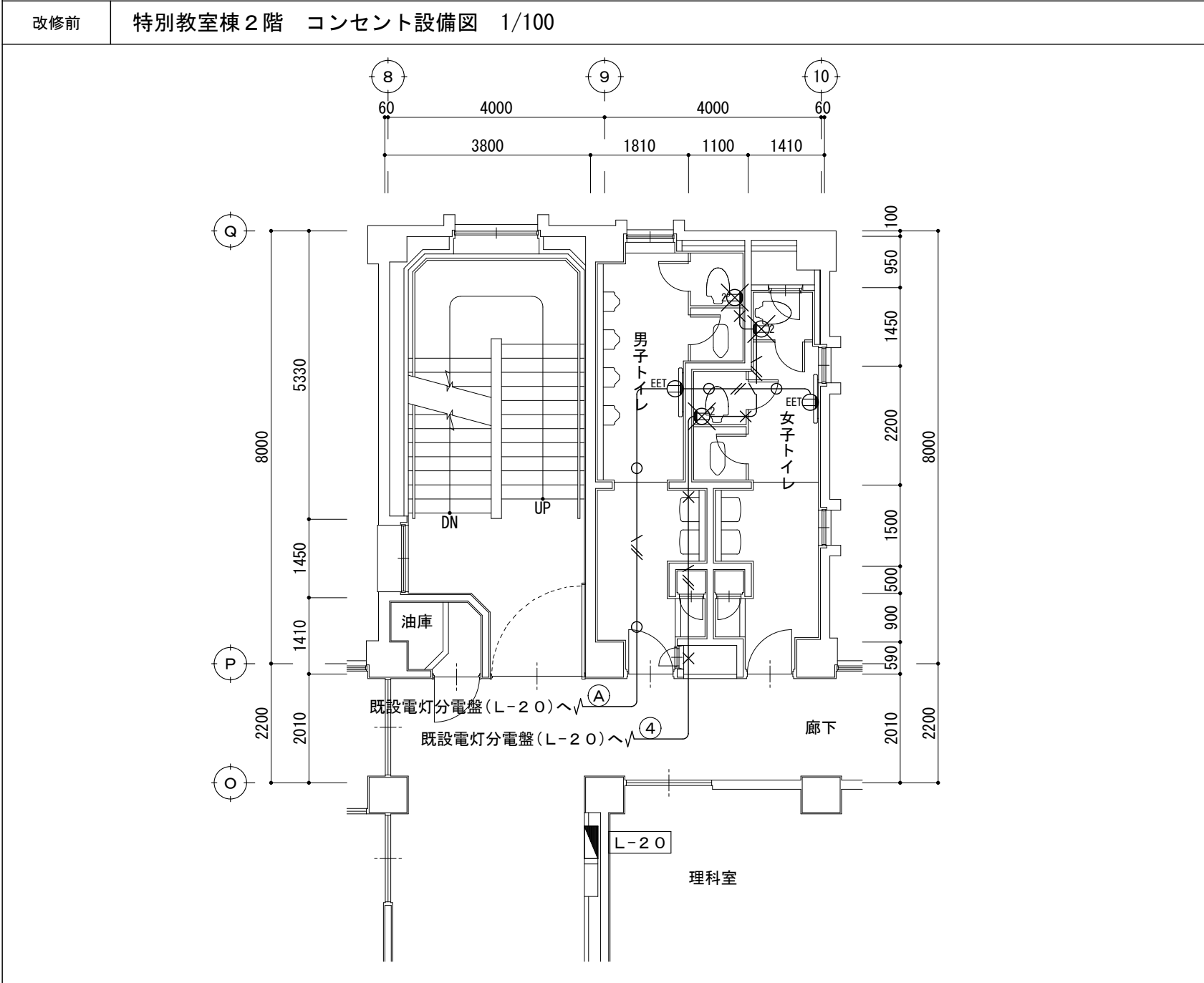
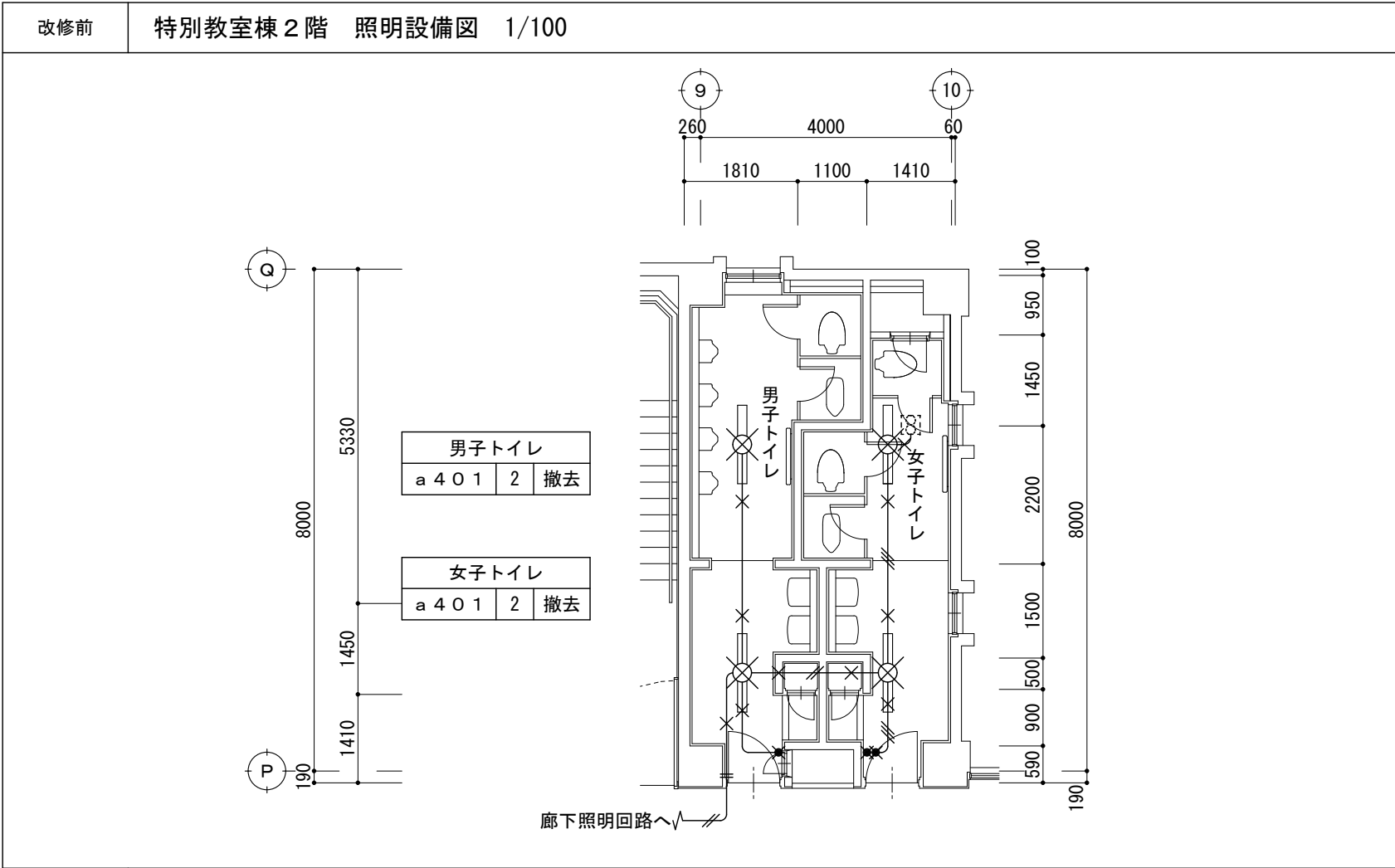
露出コンセント (2P15A x 1)	線種記入なきは下記とする。	配 管
露出コンセント (2P15A x 2)	記 号	RC打込部 屋内露出部 屋外露出部
露出コンセント (2P15A x 1) E 極・E T 付	EM-EEF 1.6-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
ジョイントボックス QB102x54(ブランクカバー付)	EM-EEF 1.6-3C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
埋込スイッチ (1P15A x 1)	EM-EEF 1.6-2C x 2	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親機 明るさセンサ付 広角検知	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 子機 広角検知	EM-EEF 2.0-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 子機 換気扇連動端子付 開欠運転型	EM-EEF 1.6-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 1回路型 ガードプレート H:FL+1800	EM-EEF 2.0-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 2回路型 ガードプレート H:FL+1800	注記 2) 機器及び器具の取付位置、高さ等については施工時に打合せすること。	
ケーブル引下げ部の保護(1種金属線び(MM1-A))を示す。	注記 3) RC壁部に貫通配線が必要な場合は鉄筋探索の上でコア抜きとする。	

新設 照明器具一覧表	
A 1 0 0	L E D x 1 (7.0W) (昼白色) 1020lm (FDL27W x 1相当)
埋込穴：100φ 光源：拡散型	
MODEL) XLD1039SN LE9	
反射板(上部)	プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)	銅板(ホワイトつや消し仕上)
枠	銅板(ホワイトつや消し仕上)
	ボルトフリー(100~242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)
C 1 6 1	L E D x 1 (14.9W) (昼白色) 1480lm (FHF16W x 1相当)
MODEL) NNF21810C LE9 (LBF3MP/RP-2-13)	
本体	ステンレス
ライトカバー	ポリカーボネート(乳白)
	ボルトフリー(100~242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)

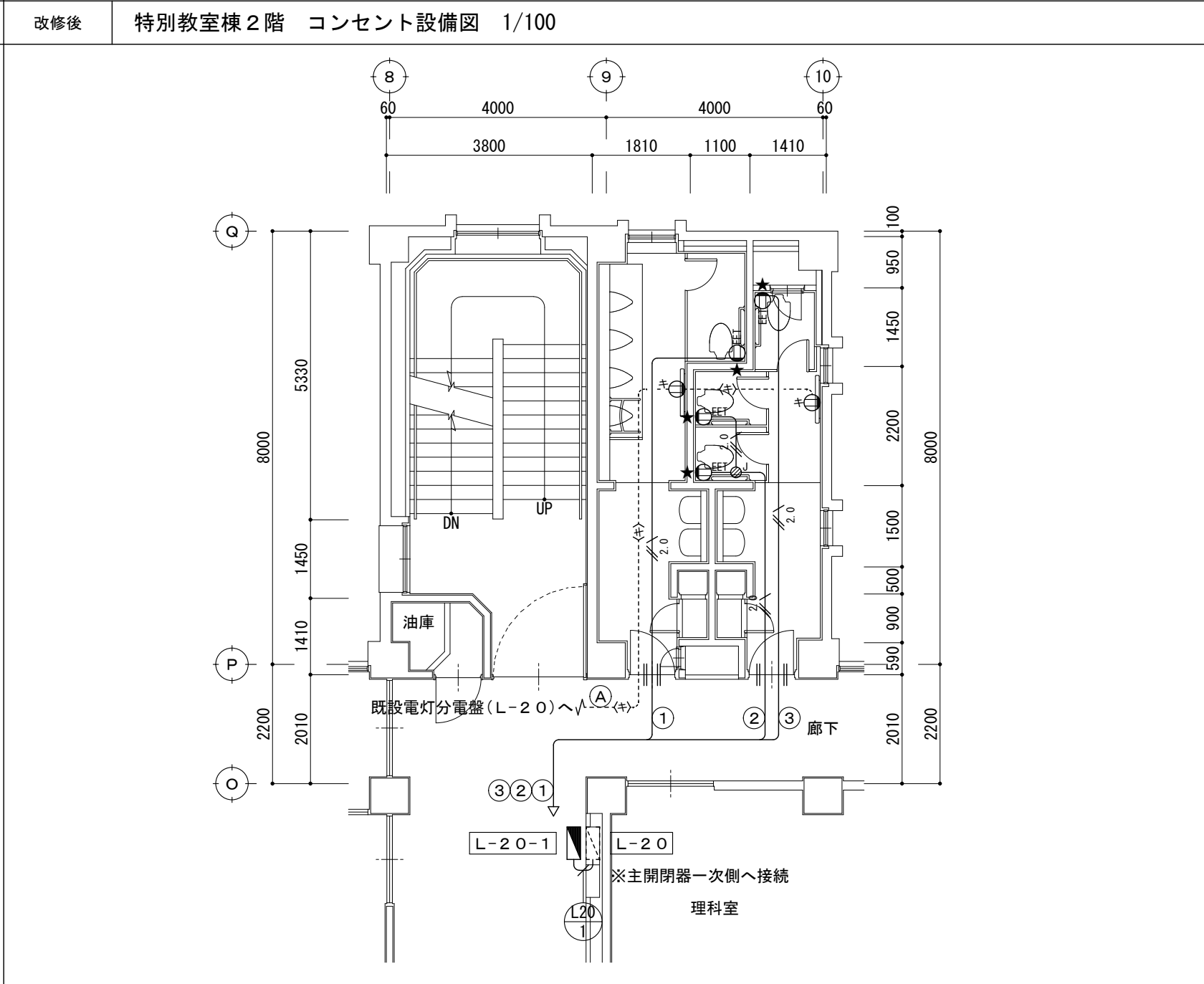
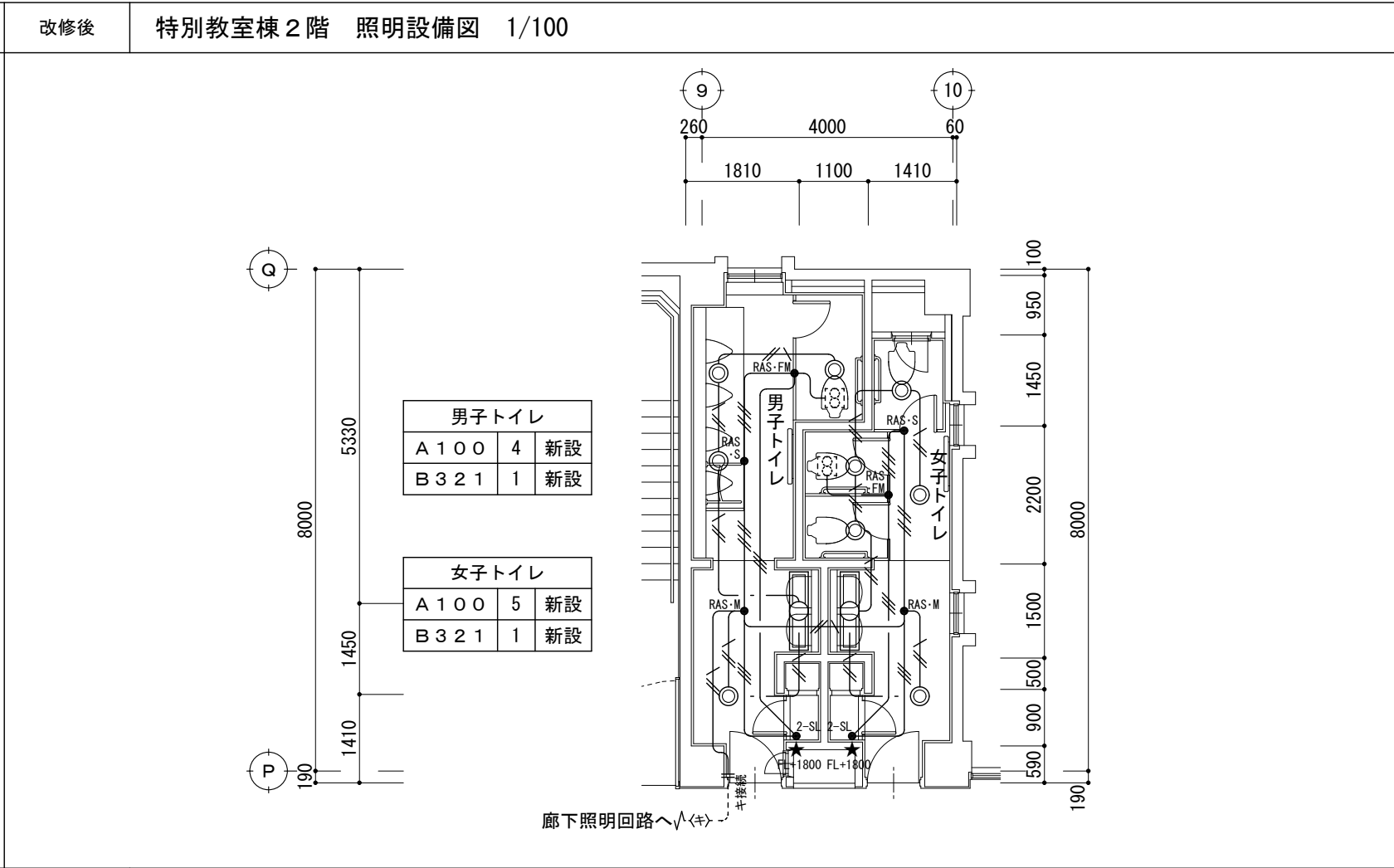
撤去・取外再取付 照明器具一覧表				
記号	名 称	形 状	撤去内容	
			撤去	再利用
a 4 0 1	FL40W x 1	直付型 逆富士型	○	
b 6 0 1	IL60W x 1	埋込型	○	
c 2 0 1	FL20W x 1	壁付型	○	

線路内訳表(幹線)					
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電圧	用 途	送り元(接続箇所)
L2 3	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sqx2	PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	L-2-3	L-2-1

工 事 名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	管理棟 2 階照明・コンセント設備図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 3 2 号
設 計 年月日	令和 7 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

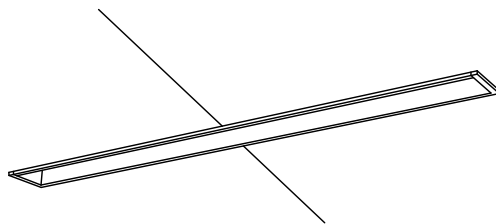


注記 1) 撤去工事概要	今回工事 配線・配管を示す。
・事前に施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工する。	既設 配線・配管を示す。
・機器撤去に伴い不要となる配線・配管は原則として全て撤去する。	今回工事 機器を示す。
・取外再取付する機器は清掃及び絶縁測定を行い再利用する。	既設 機器を示す。
・既設を現状のまま再利用する機器及び配線は絶縁測定を行う。	既設配線に接続を示す。
	既設機器に新設配線接続を示す。
配線：撤去 配管：撤去又は既設保持を示す。	防火区画貫通部を示す。 ※RC壁部のコア抜きを行う。
配線・配管：既設保持を示す。	金属製電線管で保護 又は 国土交通大臣認定工法による措置
撤去 機器を示す。	コア抜き部を示す。
取外(再取付) 機器を示す。	ダクト換気扇 納入・取付：機械設備工事
	換気扇 納入・取付：機械設備工事



露出コンセント (2P15A x 1)	線種記入なきは下記とする。	配 管
露出コンセント (2P15A x 2)	記 号	ケーブル・電線
露出コンセント (2P15A x 1) E極・E T付	EM-EEF 1.6-2C	壁内保護管 R C打込部 屋内露出部 屋外露出部
ジョイントボックス QB102x54(ブランクカバー付)	EM-EEF 1.6-3C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
埋込スイッチ (1P15A x 1)	EM-EEF 1.6-2C x 2	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 親機 明るさセンサー付 広角検知	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 子機 広角検知	EM-EEF 2.0-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 子機 換気扇連動端子付 開欠運転型	EM-EEF 1.6-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 1回路型 ガードプレート H:FL+1800	EM-EEF 2.0-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 2回路型 ガードプレート H:FL+1800	注記 2) 機器及び器具の取付位置、高さ等については施工時に打合せすること。	
ケーブル引下げ部の保護(1種金属線び(MM1-A))を示す。	注記 3) RC壁部に貫通配線が必要な場合は鉄筋探索の上でコア抜きとする。	

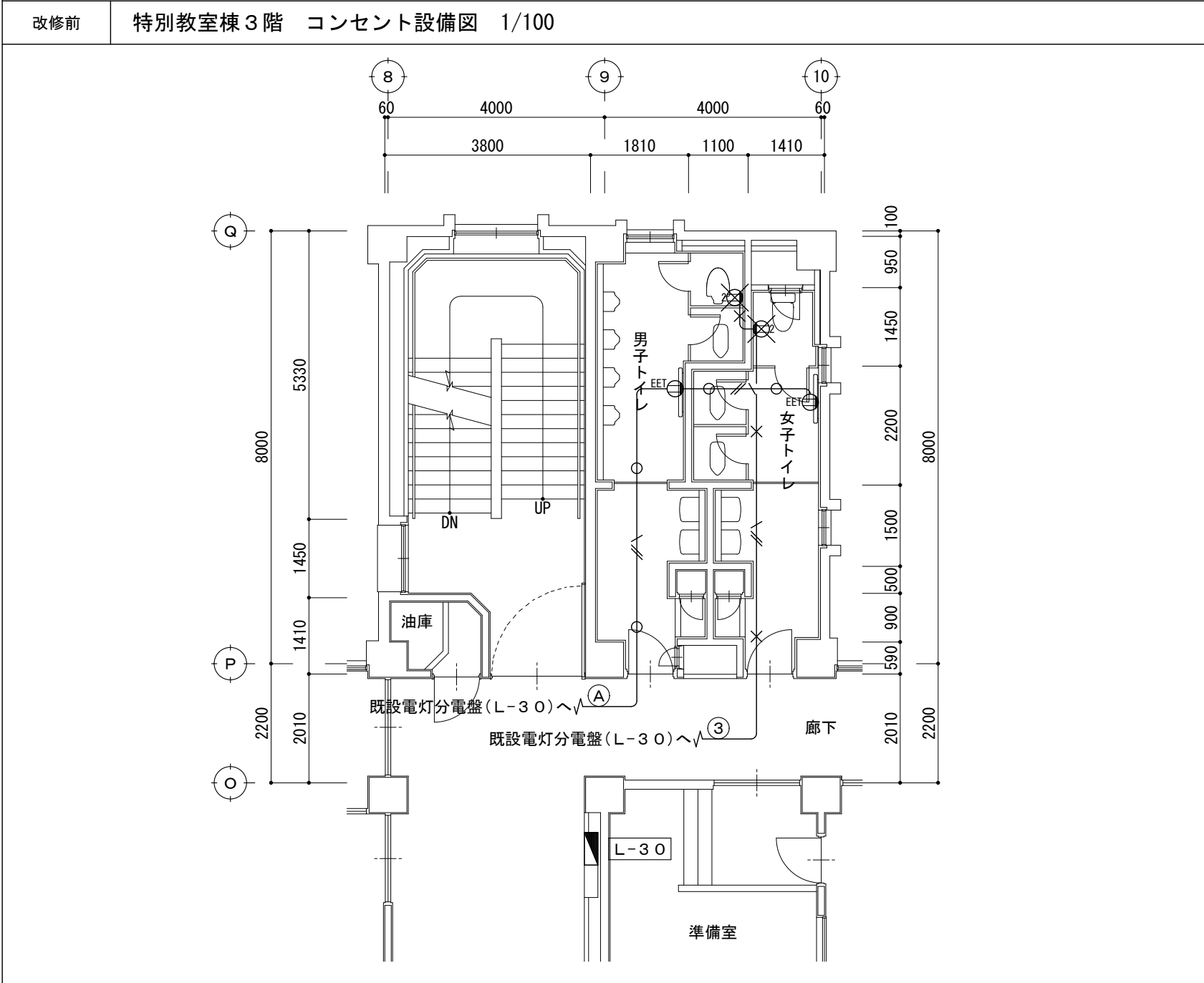
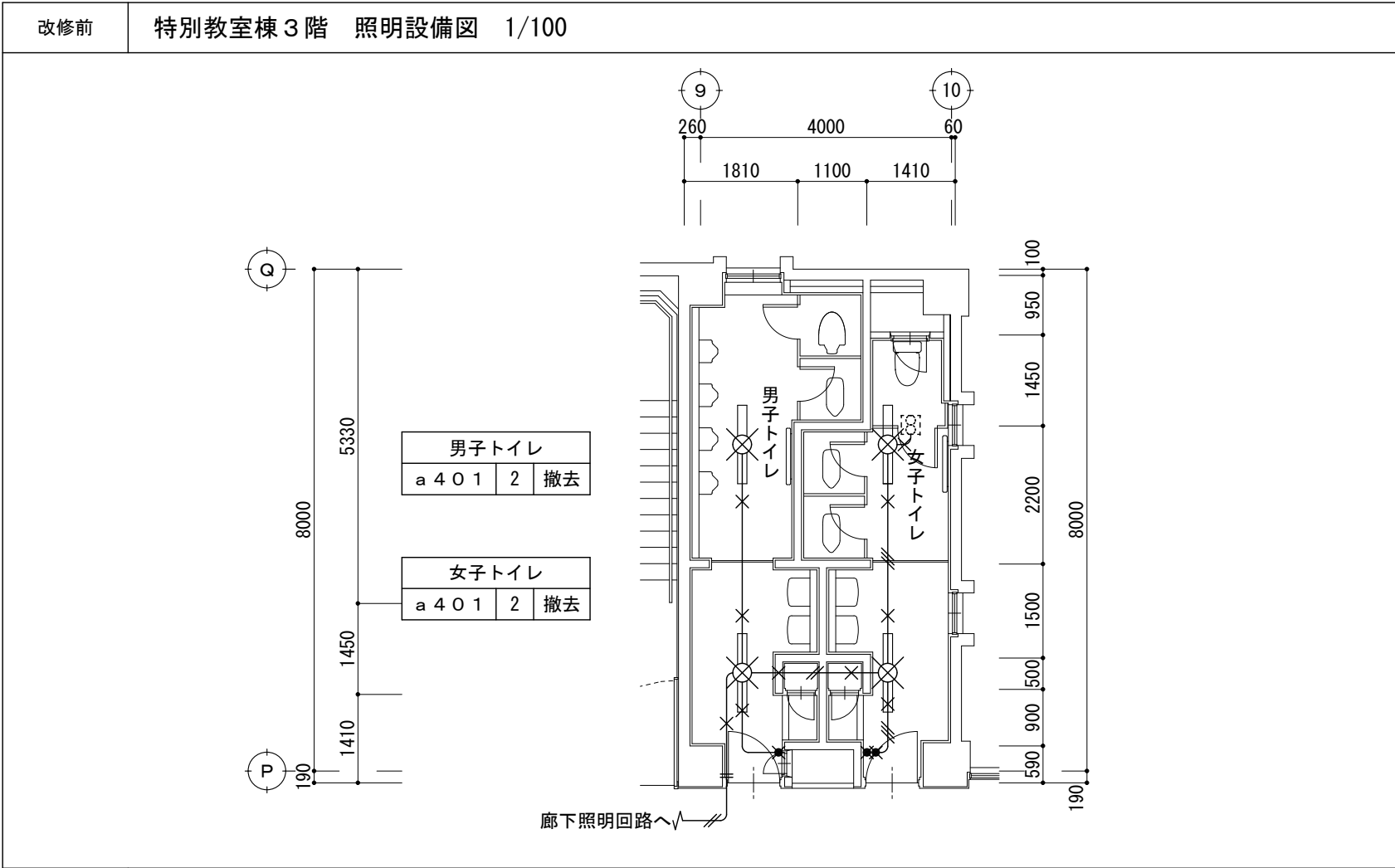
新設 照明器具一覧表

A 1 0 0	L E D × 1 (7.0W) (昼白色) 1020lm (FDL27W×1相当)
埋込穴：100φ 光源：拡散型	
	
MODEL) XLD1039SN LE9	
反射板(上部)	プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)	銅板(ホワイトつや消し仕上)
枠	銅板(ホワイトつや消し仕上)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)
B 3 2 1	L E D × 1 (20.6W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1相当)
埋込穴：W100	
	
MODEL) XLX430MENT LE9	
反射板	銅板(高反射白色粉体塗装)
ライトカバー	ポリカーボネート(乳白)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)

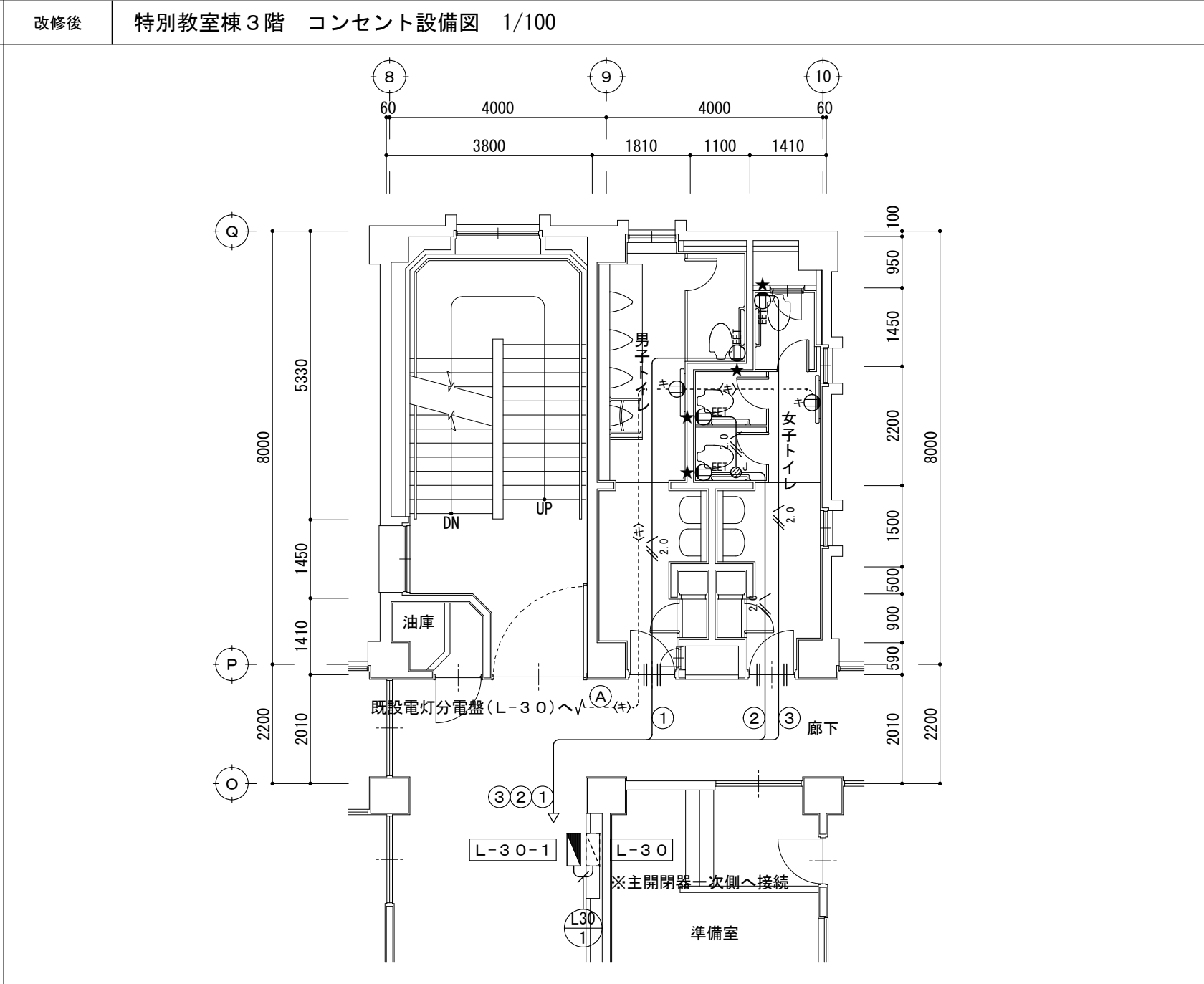
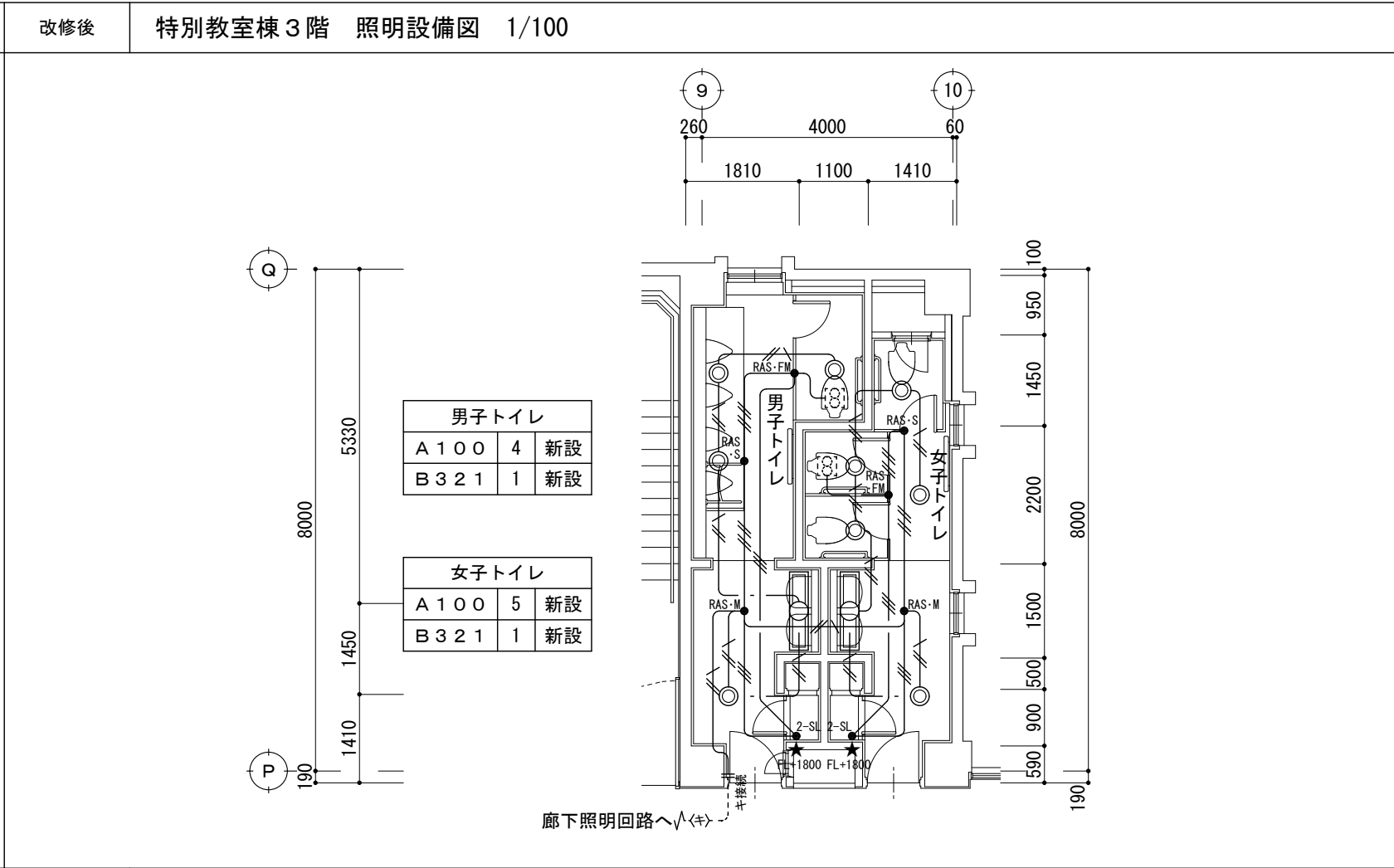
撤去・取外再取付 照明器具一覧表				
記号	名 称	形 状	撤去内容	
			撤去	再利用
a 4 0 1	FL40W x 1	直付型 逆富士型	○	

線路内訳表(幹線)					
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電圧	用 途	送り元
		壁内保護部 壁露出部			(接続箇所)
①	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sqx2	PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	L-20-1	L-20

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	特別教室棟２階照明・コンセント設備図		
縮 尺	1/100	番 号	３５枚の内 ３３号
設 計 年月日	令和 7 年 ３月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

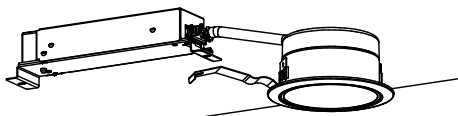
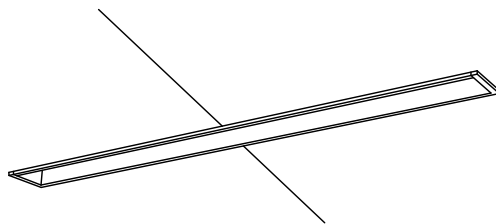


注記1) 撤去工事概要	今回工事 配線・配管を示す。
・事前に施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工する。	既設 配線・配管を示す。
・機器撤去に伴い不要となる配線・配管は原則として全て撤去する。	今回工事 機器を示す。
・取外再取付する機器は清掃及び絶縁測定を行い再利用する。	既設 機器を示す。
・既設を現状のまま再利用する機器及び配線は絶縁測定を行う。	既設配線に接続を示す。
	既設機器に新設配線接続を示す。
配線：撤去 配管：撤去又は既設保持を示す。	防火区画貫通部を示す。 ※RC壁部のコア抜きを行う。
配線・配管：既設保持を示す。	金属製電線管で保護 又は 国土交通大臣認定工法による措置
撤去 機器を示す。	コア抜き部を示す。
取外(再取付) 機器を示す。	ダクト換気扇 納入・取付：機械設備工事
	換気扇 納入・取付：機械設備工事



露出コンセント (2P15A x 1)	線種記入なきは下記とする。	配 管
露出コンセント (2P15A x 2)	記 号	ケーブル・電線
露出コンセント (2P15A x 1) E極・E T付	EM-EEF 1.6-2C	壁内保護管 R C打込部 屋内露出部 屋外露出部
ジョイントボックス QB102x54(ブランクカバー付)	EM-EEF 1.6-3C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
埋込スイッチ (1P15A x 1)	EM-EEF 1.6-2C x 2	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 親機 明るさセンサー付 広角検知	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 子機 広角検知	EM-EEF 2.0-2C	PF-S16 PF-S16 MM1-A E-19
熱線センサー付自動スイッチ 天井付型 子機 換気扇連動端子付 開欠運転型	EM-EEF 1.6-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 1回路型 ガードプレート H:FL+1800	EM-EEF 2.0-3C (1C:E)	PF-S22 PF-S22 MM1-A E-25
同上(自・切・手)切替スイッチ 2回路型 ガードプレート H:FL+1800	注記2) 機器及び器具の取付位置、高さ等については施工時に打合せすること。	
ケーブル引下げ部の保護(1種金属線び(MM1-A))を示す。	注記3) RC壁部に貫通配線が必要な場合は鉄筋探索の上でコア抜きとする。	

新設 照明器具一覧表

A 1 0 0	L E D × 1 (7. 0 W) (昼 白 色) 1020lm (FDL27W × 1 相当)
埋込穴：100 φ 光源：拡散型	
	
MODEL) XLD1039SN LE9	
反射板(上部)	プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)	銅板(ホワイトつや消し仕上)
枠	銅板(ホワイトつや消し仕上)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)
B 3 2 1	L E D × 1 (20. 6 W) (昼 白 色) 3200lm (FHF32W × 1 相当)
埋込穴：W100	
	
MODEL) XLX430MENT LE9	
反射板	銅板(高反射白色粉体塗装)
ライトカバー	ポリカーボネート(乳白)
	ボルトフリー(100～242V)
	光源寿命40000時間(光束維持率85%)

撤去・取外再取付 照明器具一覧表				
記号	名 称	形 状	撤去内容	
a401	FL40W x 1	直付型 逆富士型	撤去	再利用

線路内訳表(幹線)					
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電圧	用 途	送り元
	壁内保護管 壁内露出部 屋外露出部				
EM-CE 8sq-3C	PF-S36	MM1-B	1φ3W	L-30-1	L-30
EM-IE 5.5sqx2			200/100V		

工事名	国府中学校トイレ改修工事(建築)		
図 名	特別教室棟3階照明・コンセント設備図		
縮 尺	1/100	番 号	3 5 枚の内 3 4 号
設 計 年月日	令和7年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

